

社会福祉法人三宝会令和3年度事業報告

最初の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言から1年が経過し、前年度末には日本全土の緊急事態宣言が一旦解除されました。(大都市部のみ4月下旬から3回目の緊急事態宣言が発令。)

年度初日、開園52年目を迎えるルンビニ保育園が幼保連携型認定こども園に移行し、ルンビニこども園として幼稚園部10名を加えた定員100名で再スタートを切りました。同日に介護部門の新規事業であるグループホームひなたも運営を始めました。

介護部門では新型コロナウイルスのワクチン接種が医療従事者から優先的に開始され、入居施設の利用者、職員は早期に接種することができました。

6月には社会福祉法人制度改革後、初めての評議員改選がありました。

猛暑の中、無観客で開催された東京オリンピックが終わると8月中旬には袋井市にまん延防止等重点措置が適用され、日を置かず緊急事態宣言へ移行されました。法人の事業所でも感染者が確認されて対応に迫われましたが、この時は感染が拡がることなく単発の事象で済みました。9月末、県内の緊急事態宣言が解除されました。

グループホームひなたでは18室ある居室は順調に埋まったものの、開業から半年も経たずに新規採用した職員の退職が相次ぐことになり、ルンビニこども園では変形労働時間制における休日管理に不備があることが発覚するなど、労務管理に対するコンプライアンスへの取り組みが一段と求められるようになりました。

年明けに新たな変異株による第6波を受けて県内全域にまん延防止等重点措置が適用されました。法人内では保育部門の園児たちを中心に感染が拡がり学級閉鎖や一時休園することもありました。3月初旬には介護部門でもひなたがサービスの縮小を余儀なくされました。年度末にまん延防止等重点措置が解除されましたが、令和3年度を通しての法人の職員・利用者の感染者数のうち96%はこの3ヶ月間に集中したものでした。

また、この冬には感染症への対応が緩和された欧米で復興需要が一気に高まったことによりエネルギー価格が高騰し、さらにウクライナ紛争による供給不安がそれに拍車をかけました。これにより今後の経営にあたっては物価上昇によるコスト増にも目配りしなくてはならないようになりました。

<職員>

職員数 224名 (月平均) 新入職員 29名 退職者 27名

資格取得者 介護福祉士 1名

育児休業取得者 6名

<施設整備>

紫雲の園

ガス給湯器入替、与薬カート、応接室内装改修

浅羽デイサービスセンター

サーキュレーター設置、玄関ポーチスロープ補修

ひなた

防災倉庫設置

グループホームひなた

入浴用リフトキャリア

さというボトルネックがなくなったことで黒字が恒常化し、預金の減少に歯止めのかかることが期待できます。

ルンビニ第二保育園では、収支は堅調に推移し、積立金を積み増すことができました。

ルンビニあゆみ園は、開設3年目となり年度末には園児数が定員まであと10名を切るところまでできました。定員に達するまでもなく収支はすでに黒字化し、資金繰りの面でも自立できており、経営は安定している状況です。

花びらは定員割れで年度当初スタートし、受け入れ上限数に達したのは年度末の3月でした。稼働率が15%下がったことにより前年度までと比べて大幅な減収になり、かろうじて黒字を保ったような状況になりました。花びらのような小規模事業所は、市内の待機児童数や施設整備など需給関係の動向によって影響を受けやすいことが顕著になりました。

以下、実施した事業について個別に報告します。

なお、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の付属明細書は作成していません。

法人本部

1 理事会の開催

開催年月日	出席者数	決議事項
令和3年5月31日	みなし	令和2年度事業報告について 令和2年度決算報告について 理事及び監事候補者について 補欠理事候補者について 定款の一部改正について 定時評議員会決議の省略について 評議員候補者の推薦について 評議員選任・解任委員会の招集について 介護保険事業に属する職員への令和3年6月支給の賞与の額について 公印管理規程の一部改正について 文書取扱規程の一部改正について 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 紫雲の園運営規程の一部改正について 紫雲の園短期入所運営規程の一部改正について 浅羽デイサービスセンター運営規程の一部改正について 浅羽ケアマネジメントセンター運営規程の一部改正について ひなた運営規程の一部改正について

令和3年6月18日	6/6名	理事長の選定について
令和3年7月12日	6/6名	評議員選任・解任委員会の委員選任について 紫雲の園の土地賃貸借契約の更新について 令和3年度資金収支補正予算の承認について 施設職員就業規則の一部改正について 非常勤職員就業規則の一部改正について 嘱託職員就業規則の一部改正について シニア嘱託職員就業規則の一部改正について
令和3年11月19日	6/6名	介護事業と法人本部に属する職員への令和3年12月支給の賞与の額について 資金収支補正予算の承認について 紫雲の園看護課長の選任について 妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント及びセクシャルハラスメントの防止に関する規程の一部改正について 正規職員就業規則の一部改正について 非正規職員就業規則の一部改正について 嘱託職員就業規則の一部改正について シニア嘱託職員就業規則の一部改正について
令和4年3月23日	6/6名	令和3年度資金収支補正予算の承認について ルンビニ第二保育園拠点区分の前期末支払資金残高の取り崩しについて 浅羽地域包括支援センター管理者の交代について 令和4年度事業計画の承認について 令和4年度資金収支予算の承認について 経理規程の一部改正について 正規職員就業規則の一部改正について 「介護職員処遇改善加算」に基づく改善手当の支給対象、支給方法、支給額等を定める細則の一部改正について 保育事業に属する職員の賃金規程の一部改正について 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 職員健康管理費助成金支給規程の制定について マイカー通勤規程の制定について マイカー業務上使用規程の制定について 個人情報にかかる開示申請等に関する規則の一部改正について

		役員等賠償責任保険契約の締結について
--	--	--------------------

2 評議員会の開催

開催年月日	出席者数	決議事項
令和3年6月18日	みなし	令和2年度決算報告について 理事及び監事の選任について 補欠理事の選任について 定款の一部改正について

3 評議員選任・解任委員会の開催

開催年月日	出席者数	決議事項
令和3年6月18日	3/3名	評議員の選任について

4 監査・実地指導の実施

(1) 法人監事による監査

令和3年5月26日 事業運営、決算

(2) 静岡県、袋井市他

令和3年9月29日 雇用管理状況等報告徴収（紫雲の園） 静岡労働局

令和3年10月12日 社会福祉施設指導監査（ルンビニ第二保育園） 静岡県

令和3年11月1日 労働条件管理等状況調査（ルンビニこども園） 磐田労基署

令和3年11月4日 労働条件管理等状況調査（グループホームひなた） 磐田労基署

令和3年11月10日 居宅介護支援事業所（浅羽ケアマネジメントセンター）の実地指導 袋井市

令和3年11月12日 介護保険事業所（小多機ひなた）の実地指導 袋井市

令和3年11月30日 幼保連携型認定こども園指導監査（ルンビニこども園、ルンビニあゆみ園） 静岡県

令和4年3月4日 教育・保育施設等の確認監査（ルンビニあゆみ園） 袋井市

5 登記事項等

資産の総額の変更（令和3年3月31日現在）

令和3年6月23日登記

理事長の重任

令和3年6月23日登記

6 寄付金品の受領

寄付件数7件 寄付金額253,929円（物品で頂いたものについての相当額を含む）

7 その他

(1) 令和3年度事業計画の重点目標の達成状況

感染症等発生時の事業継続計画の策定	○	各事業所で策定済み
中長期事業計画の策定	×	次年度に持越し
給与計算システムの刷新	△	令和4年6月移行予定
セキュリティ対策の強化とバックアップ方法の見直し	○	UTMの配置 NASの2重化
ファイル共有の運用見直し。ペーパーレス化による施設外部への情報の持ち出し手段の検討	○	モバイルルータの利用 クラウドストレージの利用
公休日数の引き上げを検討	○	令和3年4月～ 公休+3日

(2) 地域における公益的な取り組み

ア 社会福祉法人等による利用者負担軽減事業の実施

軽減対象者	15名(月平均)
利用者負担軽減額	2,647,806円
市町補助金	941,743円
法人負担額	1,706,063円

イ 静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT)への職員派遣

静岡DWATの要請に応じて熱海市伊豆山土砂災害の被災地に職員(社会福祉士・精神保健福祉士)1名を派遣

第1回 令和4年7月27日～7月30日

第2回 令和4年8月20日～8月23日

≪紫雲の園利用状況について≫

令和3年度の紫雲の園入退所状況は、入所者17名、退所者15名であり、退所者の内11名(前年度18人)は施設での看取りであった。年間延べ利用者数は32,364人(前年度32,497人)で稼働率は98.5%(前年度98.9%)であり、目標としていた98%を達成した。

入所者の平均要介護度は4.17で、昨年度の3.93から更に重度化が進んでいる。

体調変化や検査による入院は、上半期延べ197日と例年に比べて大変多かったが、下半期には延べ94日と例年並みに落ち着いた。年間では延べ291日(前年度151日)で、年間空床486床のうち6割は入院による空床であった。

年間定員32,850人から延べ利用者、入院者及び外泊を差し引いた195人(床)が空床であり(前年度201床)、利用者が退所をしてから次の利用者が入所するまでに要した期間は平均12.1日であった。(前年度10.3日)。

令和3年度は、4月～5月の2か月間の入院による空床が129床という状況から始まり、年間の稼働率が大きく下がることが懸念されたが、6月以降は入院者数も落ち着き、退所者数が例年に比べ少なかったことも助けとなり、最終的に年間稼働率目標を達成することが出来た。

(参考資料：別表1)

資料1：保険者別入所者数

保険者	男	女	計
袋井市	15	68	83
磐田市	0	2	2
掛川市	1	2	3
静岡市	1	0	1
大垣市	0	1	1
計	17	73	90

資料2：年齢別入所者数

才	男	女	計
～65	0	0	0
～70	1	0	1
～75	5	3	8
～80	5	3	8
～85	2	15	17
～90	4	15	19
～95	0	24	24
～99	0	10	10
100～	0	3	3
計	17	73	90
平均年齢			
男性 78.7歳			
女性 89.5歳			
全体 87.5歳			

資料3：身元引受人の状況

続柄	人数
配偶者	6
子供(子の配偶者)	66
孫	2
(義)兄弟姉妹	6
親戚	2
後見人	6
その他	2
計	90

資料4：在所期間別入所者数

年	男	女	計
1年未満	2	5	7
～2	4	15	19
～3	3	14	17
～4	3	7	10
～5	1	8	9
～6	0	3	3
～7	0	5	5
～8	1	4	5
～9	0	3	3
～10	0	2	2
～11	2	4	6
～12	0	1	1
～13	0	0	0
～14	0	1	1
～15	0	0	0
15年以上	1	1	2
計	17	73	90
平均入所期間	4年1カ月		

資料5：退所者の状況

年齢	性別	退所理由	在籍日数
72	男	他介護施設	622
88	女	看取り	1947
90	男	医療機関	563
92	女	看取り	1429
92	女	看取り	2123
95	女	看取り	1527
91	男	看取り	1596
82	女	看取り	950
91	女	医療機関	875
97	女	看取り	3365
92	女	看取り	94
88	女	看取り	1096
97	女	看取り	4228
73	男	医療機関	1401
89	女	看取り	5080
退所者15名の内 施設での看取りは11名 (令和2年度は18名)			

令和4年3月31日現在

≪紫雲の園短期入所利用状況について≫

短期入所の稼働率については、長期利用の申し入れを積極的に受け入れて、更なる稼働率向上を目指したが、特養への待機期間に利用するケースが多いことから、特養の空き状況に大きく左右され、年間の利用率は66.3%(前年度75.4%)となり、目標としていた72%を達成できなかった。

しかし、前年までと同様に特養の空床期間を短縮して、入所稼働率の維持に大きく貢献しているうえ、ご利用者は大きな環境の変化を受ける事無く、安心して入所を迎える事が出来るため、今後も短期入所の長期利用については、積極的にPRして有効に活用していきたい。

(参考資料：別表2)

<<事業計画の進捗状況>>

〈ご利用者の視点〉コロナ禍においてもご利用者様に楽しい時間を過ごしていただくために、
花の家、森の家それぞれにおいて新たなイベントを開催する。

担 当	取 り 組 み	結 果(評 価)	
全 体	相談員が主幹となり各家年間3回のイベントを企画し、各家の行事担当者と連携して、4ヶ月に1回程度の間隔で実施していく	仕出し弁当を取り寄せての食事会、移動スーパーを依頼して買い物、フロアでの足湯を実行し、それぞれご利用者からは好評であった。なかでも足湯は実施が比較的容易であるため、今後も定期的の実施していく。	
相 談	5月、11月、2月のイベントを各棟で実行するために、各部署との連絡調整を遅延なく行っていく	各部署の月行事担当者と連携して、準備や当日の運営を滞りなく実施することができた。	
医 務	施設内のいイベントや行事に積極的に参加する	可能な限り7割以上の行事に参加することを目指し、目標以上の参加を達成できた。	
介 護	花北	利用者1人1人の満足度を高めるために、個人を主体とした関わり合い(行事)を半年に2名のペースで実施する。	利用者とのコミュニケーションはとれているが、そこから目標とした回数の行事を企画するまでには至らなかった。職員一人一人が率先して目標に取り組む風土を醸成する必要がある。
	花南	新たな体操、余暇イベント、レク、食レク等を企画実行し、ご利用者に季節感や新鮮さを感じていただき、SNSで発信する。	1月には定例の行事が多いため新たなイベントは行えなかったが、それ以外の時期には様々なイベントを考案し、その様子をSNSで発信することができた。
	森北	職員全員が参加して、ご利用者に喜んでいただけるレクリエーションを年間3回実施する	お化け屋敷や駄菓子屋、室内でのいちご狩りなど、新たなイベントを企画して実施できた。
	森南	毎日、居室担当ご利用者とあいさつ以外のコミュニケーションを図り、毎月の棟会議で、居室担当のご利用者に関する議題を1つ以上出す	ご利用者の要望や体調の変化などを毎月の棟会議で議題として取り上げることにより、対応を周知徹底することが出来た。
給 食	半期に1度、ご利用者の要望を取り入れた新しい食事イベントを実施するとともに、毎月1つ以上の新メニューを提供する。	毎月のイベント献立として日本味めぐり、世界味めぐりと題した日本各地、世界各国の料理を提供した。また食事イベントとしてデザートバイキングや寿司バイキングを実施した。	

〈財務の視点〉質の高い福祉サービスを永続的に提供し続けるために、高水準なサービス
利用率の維持を目指します。

担 当	取 り 組 み	結 果(評 価)
全 体	営業活動、情報発信、サービス向上等、利用率向上に繋がる行動目標を各部署が立案し、入所稼働率98%、短期入所稼働率72%を達成する。	入所稼働は4月を除いて目標を達成し、年間の稼働率も目標を達成できた。 短期入所について、5月6月以外は目標稼働率に届かず、年間目標には大きく届かなかった。

相談	入所稼働率の目標を達成するために、適切な営業活動を実施し、入所申込が毎月3件以上あることを目指す。	1年間の入所申込件数は49件で目標は達成出来ているが、現在の待機者数が減少傾向であることから、毎月の目標件数を5件程度に設定する必要があった。
花北	備品を大切に扱い、修理が必要な場合にはすぐに対応できるよう、チェック表を作成し、毎月1回確認する。	備品チェック、必要な修理の依頼ともに迅速に対応することができた。
花南	短期入所稼働率の維持とクレーム防止を目指して、荷物チェック方法の見直し等、業務手順を再検討する。	短期入所に関する荷物チェックのミス無くす取り組みを実施したが、記入漏れなどのミスは0件にすることはできなかった。業務手順の更なる見直しを行う必要がある。
森北	記録システムやICT機器の導入を費用対効果の高いものとするため、施設の導入スケジュールを遵守するとともに、情報の入力漏れが0件であることを目指す。	手書き記録から介護記録システムへの移行は計画通り進捗したが、情報の入力ミス0件はかなり高い目標であった。限りなく0件を目指す方向性は維持しつつ、職員のITスキルを高めていきたい。
森南	備品やご利用者の私物を丁寧に扱い、修理修繕が必要な個所は迅速に報告する事によって、人為的なミスによる備品や私物の破損が無いことを目指す。	年間通して備品の適切な管理ができた。
給食	栄養に関する情報やイベント献立の内容、日時等のお便りを3ヶ月に1回発行し、食事に関する情報をご家族に発信する。	給食に関するお便りを予定通り3ヶ月に1回発行し、ご家族に発信することができた。コロナ禍にあって、ご家族との交流が減少するなか、施設内の情報を発信する貴重なツールとなった。

〈業務の視点〉業務の効率を高めるために、導入された機器やシステムの使用方法を

職員全体でマスターする。

担当	取り組み	結果(評価)
全体	職員の習熟度を測るための進捗管理表を作成して、各部署で毎月チェックしていくことによって、年度末までに介護記録、日誌、報告書などの書類の70%以上が電子化されていることを目指す。	介護記録、看護記録、日誌、報告書など、ほとんどの記録を電子化することができたが、記入漏れや記入内容の間違いが一部に見られているため、今後は記録の精度を高める取り組みを継続的に行っていく必要がある。
相談	ICT化への取り組みによって、業務が効率化され、サービス担当者会議が月に10回以上開催されることを目指す。	サービス担当者会議は例年に比べて実施回数が増えたが、月あたり10回の開催には至らなかった。更なる業務の効率化を推進し、個別サービスの提供を目指していく。
医務	日々の業務、アセスメント、評価等が電子化され、情報収集に充てる時間を短縮することによって、業務の効率化を目指す。	業務日誌、アセスメント、評価など全ての記録を電子化することができた。更なる業務改善を目指して、与薬管理の見直しを進めていく。
医務	状態異常を早期に発見し、適切な看護に努めるとともに、毎月の医務会議で達成状況を評価していく。	ご利用者の状態異常に対し、早期発見、早期対応が徹底できた。相談員との連携により、緊急受診などの対応もスムーズに実施することができた。

介護	花南	介助業務の標準化を行い、新入職員入職時の研修で活用するために、毎月の棟会議でテーマを決め、1か月後の会議まで実践し、その結果を評価していく。	職員の勤務状況が不安定な月には棟会議を実施することが困難であったため、取り組みが徹底できない時期があった。職員研修マニュアルの完成を目指して、継続して取り組んでいく。
	森南	介護記録システムへの入力漏れやミスをリーダーがチェックすることによって、職員全員がケアカルテの使用方法を習得し、ゆとりをもって業務に取り組めるようにする。	手書き記録から介護記録システムへの移行は計画通り進捗したが、情報の入力ミス0件入力漏れ0件は達成できなかった。介護記録システムの習熟度は高まりつつあるため、より高いレベルで活用できるよう継続して学んでいく。
給食		食事変更や体重、BM等、食事に関する記録を電子化し共有するとともに、ケアカルテを使用して栄養ケア計画書を作成し共有する。	栄養に関する全ての記録の電子化が完了し、栄養ケア計画書の作成も電子化が完了した。職員からの情報収集は、システムを通じて効率的に運用できている。
事務		ケアカルテの作業方法の新しい部分を覚えていくために、eラーニングを視聴して覚えた事を表に記入して進捗管理をしていく。	請求業務に関わる記録の管理や申請システムに関わる操作など、習得しなくてはいけない内容は多岐にわたるものであったが、これを確実にマスターし、遅延なく事務処理することができた。

〈人材の視点〉施設の業務を円滑に進めていくために、職員間の報連相を徹底する。

担当	取り組み	結果(評価)	
全体	事例の要因をリスク事例検討委員会で分析し、その結果を受けた該当部署が早急に改善策を立てて実行に移すことによって、報連相が足りていないために起こる事例がなくなっていることを目指す。	事例の件数自体は前年度に比べて減少傾向であるが、そのほとんどが報連相不足により発生しているケースであるため、目標達成には程遠い。特にヒヤリハットの取り組みについては未だ不十分と言わざるを得ない。これに関しては継続課題であるため、次年度以降も引き続き啓発活動を行っていく。	
相談	相談業務のスキルを高めるために、2ヶ月に1回(奇数月)以上、相談員会議を実施する。	予定通りの間隔で相談員会議を実施し、さまざまな問題を解決に導くことができた。	
訓練能	ケアカルテを活用して、各部署主任との報連相を徹底していく。	機能訓練に関する情報の電子化により、各部署責任者との情報共有を効率的に行うことができた。	
介護	花北	気付きの強化、発信、共有の徹底により、職員1人1人が棟内全体の現状を把握出来ていることを目指して、全員が1週間に1枚以上、ヒヤリハットを提出する。	職員の取り組む姿勢にムラがあり、初期の段階では意識も高く取り組んでいたが、後半に差し掛かると失速しているように見えた。監督者自身が見本となり、積極的にヒヤリハットを提出する姿勢を見せていかなくてはならない。
	森北	新入職員育成マニュアルを作成し、職員教育に活用する。	4月に入職した新入職員をモデルとしてマニュアル作成に取り組んだが、途中予定通りに進まない時期があり、計画通りとはいかなかった。最終的にモデル職員の進捗とは離れたが、マニュアルを完成させることはできた。

<<新型コロナウイルスの影響による面会制限の状況>>

期 間	制 限 理 由
2020年 2月29日～6月30日	厚生労働省からの助言事項を受けて、初の面会制限を実施
2020年 8月 1日～9月22日	全国的な感染拡大、県内の感染状況から2回目の実施
2020年11月 9日～2021年12月5日	静岡県新型コロナウイルス警戒レベル4を受け3回目の実施
2022年 1月 3日～現在	静岡県新型コロナウイルス感染拡大第6波を受け4回目の実施

<<外出・外泊等の状況>>

施設イベント外出件数：0件0名 家族外出実施件数：0件 外泊実施件数：0件

<<苦情対応・事例報告等の状況>>

外部から		内部報告		外部へ	
苦情受付	0	ヒヤリハット	239	(保険者へ)事故報告	9
ご意見・ご提言	0	事例・アクシデント	231		

<<防災訓練の実施状況>>

実施月	4月・5月・10月・3月	6月・9月・11月・2月	7月・12月	8月・1月
訓練内容	設備、マニュアル等の周知	地震及び地震からの火災	火災	風水害

<<食事の提供状況>>

(1) 年平均1日あたり摂取栄養量

	熱量	蛋白質	脂肪	カルシウム	鉄分	ビタミンC	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2
	k c a l	g	g	mg	mg	mg	μg	mg	mg
基準量	1497	56.2	33～50	521	5.2	80	474	0.85	0.97
摂取量	1549	56.4	42.9	454	8.4	64.1	580	1.0	0.86

レチノール当量

(2) 一日あたり1名平均給食材料費 585円

(3) 調理内容(入所利用者の食数)

主食	米飯	軟飯	粥	ミキサー粥	ゼリー	経管栄養	計
	20	22	29	12	6	1	90
副食	常食	一口大	刻み	超刻み	ソフト	ゼリー 経管栄養	計
	11	11	24	23	14	7	90

<<内部研修への参加状況>>

参加研修名	日程・方法	主催	参加人数
喀痰吸引研修	4月より有資格、無資格の介護職員全員が研修DVDを視聴して感想文提出	看介護連携委員会	31
衛生研修会(食中毒)	資料配布とアンケート形式で5月に実施	衛生委員会	62
事故防止のための研修	6月全国老人福祉施設協議会が実施した安全対策担当者養成研修を受講	全国老施協	4
身体拘束廃止研修会	9月8日身体拘束廃止ゼロ再宣言をするにあたりチェックリストを配布し周知研修とした	身体拘束委員会	62
身体拘束廃止研修会 虐待防止研修会	9月身体拘束具を用意し、各棟の会議の際に職員が体験する形式で研修を実施	身体拘束委員会	43
喀痰吸引研修	10～11月にかけて有資格者に対し、業務手順を確認する実技研修を実施	看介護連携委員会	15
衛生研修会(新型コロナ)	経験が浅い職員に対し看護課長がウォーキングスタディ形式で実施	衛生委員会	43
事故防止のための研修	誤嚥事故を防ぐための資料を全介護職員に配布し、周知訓練とした	介護課長	43
身体拘束廃止研修会 虐待防止研修会	身体拘束廃止フォーラム2月21～3月14日 動画配信を全職員が視聴する	静岡県	62
合計			334
職員1人あたり			5.4

<<外部研修への参加状況>>

参加研修名	日程	主催	参加人数
認知症介護実践者研修	7月30日～6日間	静岡県社会福祉人材センター	2
ケアマネ、相談員研修	4月22日	白寿園研修センター	1
一般社団法人タスカル専門家向け説明会	7月21日	一般社団法人タスカル	1
ひきこもり～その「こころ」を知る～	8月6日	中遠地区精神保健福祉会	1
普通救命講習会	10月20日	袋井保安全管理協会	2
介護福祉士実務者研修	10月19日～7日間	日本教育クリエイト	3
車いすメンテナンスセミナー	12月3日	静岡県社会福祉人材センター	1
中東遠地区職種別研究会(短期入所)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(医務)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(介護)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(給食)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(ケアマネ)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(事務)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(相談員)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(防災)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
合計			19
職員1人あたり			0.3

≪身体拘束廃止への取り組み状況≫

存在拘束数	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
対象人数	1	2	1	0	0	0
拘束件数	1	2	1	0	0	0

≪ボランティアの受け入れ状況≫

慰問	団体(個人)数	0	団体	実施回数	0	回
作業	団体(個人)数	0	団体	実施回数	0	回

≪実習・体験学習等の受け入れ状況≫

(1) 実習の受け入れ

0	件	0	名	0	延日
・新型コロナウイルス感染対策により全て中止					

(2) 体験学習等

2	件	4	名	8	延日
・ハローワーク磐田主催中学生インターンシップ ・サマーショートボランティア					

≪被災地支援への取り組み状況≫

派遣先	期間	派遣内容	人数
静岡県熱海市	7月27日～7月30日	熱海市豪雨災害に係る静岡DMAT派遣	1
静岡県熱海市	8月20日～8月23日	熱海市豪雨災害に係る静岡DMAT派遣	1

別表2

令和3年度 紫雲の園短期入所 利用実績

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	
要支援1	1	3	0	0	1	8	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3
要介護1	3	13	5	21	3	19	2	29	3	36	4	26	3	14	2	6	2	9	3	35	4	39	4	42	289
要介護2	12	102	12	108	11	97	9	68	7	61	5	35	8	77	7	46	8	55	9	57	7	54	8	82	842
要介護3	4	18	4	44	5	47	4	47	5	58	5	39	4	34	6	41	5	33	5	37	4	34	4	18	450
要介護4	4	43	2	52	1	29	1	30	2	43	2	31	1	30	4	44	3	63	3	21	2	5	3	7	398
要介護5	2	8	1	2	2	3	2	5	1	1	2	32	2	32	2	10	1	14	3	50	2	17	2	4	178
計	26	187	24	227	23	203	19	187	18	199	18	163	18	187	21	147	19	174	23	200	19	149	22	156	2179
加算																									
サ提併加算 I(12)	187		227		203		187		199		163		187		147		174		200		149		156		2179
夜勤配置 (13)	184		227		195		179		199		163		187		147		174		200		149		153		2157
送迎 /(184)	66		62		49		55		52		50		43		53		38		51		52		60		631
稼働率	69.3%		81.4%		75.2%		67.0%		71.3%		60.4%		67.0%		54.4%		62.4%		71.7%		59.1%		55.9%		66.3%
平均介護度	2.58		2.59		2.39		2.41		2.56		3.05		2.94		3.04		3.10		2.97		2.38		1.97		2.66

令和3年度 浅羽デイサービスセンター 事業実績報告

1. 事業の概要

◆通所介護（含 現行相当サービス）

①所在地：〒437-1101 静岡県袋井市浅羽 4140 番地

②名称：浅羽デイサービスセンター

③営業日：月～土曜日(含 祝日)営業。(休業日：日曜日、年末年始(12月30日～1月3日))

④営業時間：8時～17時

内サービス提供時間：通所介護… 9時20分～16時30分(基本利用時間7～8時間)

現行相当サービス…10時30分～15時00分(指定なし)

⑤加算：通所介護 …………… 入浴介助加算Ⅰ、個別機能訓練加算Ⅰ（イ）、個別機能訓練加算Ⅰ（ロ）、個別機能訓練加算Ⅱ、科学的介護推進体制加算、サービス提供体制強化加算Ⅰ、介護職員処遇改善加算Ⅰ、特定処遇改善加算Ⅰ

現行相当サービス … 口腔機能向上加算、運動器機能向上加算、生活機能向上グループ活動加算、科学的介護推進体制加算、サービス提供体制強化加算Ⅰイ、介護職員処遇改善加算Ⅰ、特定処遇改善加算Ⅰ

⑥対象者：概ね65歳以上の高齢者であり、

通所介護 …………… 要介護1から5までの認定を受けた者

現行相当サービス … 要支援1または2・事業対象者の認定を受けた者

⑦定員：50名/日

⑧実施区域：旧浅羽町、袋井市岡崎・山崎、及び袋井市内の松袋井・新池地区の一部・柳原・南町・砂本町・清水町・青木町・小川町・上田町・大門二丁目・大門三丁目・豊沢、磐田市豊浜・南御厨地区。

◆通所型サービスA（基準緩和サービス）

①所在地：〒437-1101 静岡県袋井市浅羽 4140 番地

②名称：浅羽デイサービスセンター 通称：茶ろん

③営業日：月～金曜日(含 祝日)営業。(休業日：土・日曜日、年末年始(12月30日～1月3日))

④営業時間：8時～17時

内サービス提供時間：10時20分～15時30分

⑤対象者：65歳以上の高齢者 …要支援1または2・事業対象者の認定を受けた者

⑥定員：15名/日

⑦実施区域：袋井市立浅羽中学校区内（旧浅羽町、袋井市岡崎・山崎）

※職員の入退職職、異動は次の通り。

10月	運転手（非常勤）	1名退職
12月	運転手（非常勤）	1名入職
3月	介護職員（非常勤）	1名異動（包括へ）

…以上 入職者1名、退職者1名、異動1名

2. 稼働状況

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底に明け暮れた1年となった。慰問やボランティア講師の受け入れを中止するなど、サービス内容に大きな影響を与える事になったが、職員がご利用者様に喜んでいただけることを考え、サービスの質を低下させないよう努めた。また、ご利用者様やご家族様等には行動制限にご協力いただくなど、不便を強いる事になってしまった。

延べ利用者数は、11,265名と過去5年間の中で一番低い数値であった。過去の実績では、上半期は好調な稼働状況を維持していたが、予想通りには伸びず、また8月末にご利用者様の中に新型コロナウイルス感染者が1名おられた影響を受け、9月の稼働を大きく下げる事になってしまった。下半期は新規利用もあったが、それ以上に利用終了になる方が多くおられ、稼働率を回復する事ができなかった。実利用者数は前年度より6名少ない117名で、この数値も最低の数値であった。通所介護の実利用者数は109名あり、外部居宅からの紹介は7事業所、利用者数は16名と全体の14%に留まり、ほぼ自法人の居宅に頼っている状況である。継続して他事業所の紹介を増やす方策を考えていきたい。

新規利用者数は22名と前年度より7名少なかった。利用終了者数は33名と例年と比較して大きな変化はなかった。終了の理由は、入院が17名と一番多く、次いで死亡が6名、特別養護老人ホーム・グループホームと続く。

延べ利用者数、実利用者数は次の通り。

(表-1)

	延べ利用者数 (名)	実利用者数 (名)
平成29年度	12,133	132
平成30年度	12,048	147
令和元年度	11,820	135
令和2年度	12,141	123
令和3年度	11,265	117
前年度比	- 876	- 6

新規利用者数、終了者数は次の通りである。

(表-2)

	新規利用者数	再利用者数	終了者数
平成29年度	延べ31名、実28名	3名	33名
平成30年度	延べ50名 実47名	3名	44名
令和元年度	延べ35名 実34名	1名	44名
令和2年度	延べ30名 実29名	1名	29名
令和3年度	延べ22名 実22名	0名	33名

終了者の理由

(表-3)

理由		理由	
入院	17名	ロングショートステイ	1名
死亡	6名	他事業所デイ	1名
特別養護老人ホーム	2名	小規模多機能型居宅介護	1名
グループホーム	2名	看護小規模多機能型居宅介護	1名
サービス利用なし	2名		

実利用者117名の男女比は、男性35名(30%)、女性82名(70%)、圧倒的に女性が多い。令和4年3月時点、在籍ベース(通所介護)での一人当たりの平均利用回数は2.8回と前年度と大きな差はなかった。また、ご利用者様の平均年齢は87.6歳と、昨年と比較し0.5歳上回った。

総合事業（現行相当サービス）のみの利用状況と平成 29 年度以降の推移は次の通りである。昨年度と比較すると、延べ利用者数は 489 名減、実利用者数は 9 名減となる。これは、要支援の方が要介護状態になった、

(表-4)

総合事業 (現行相当)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	66	58	49	48	53	38	47	43	40	35	33	38	548名
実利用者数	10	10	7	7	7	6	6	6	6	5	5	5	10名

(表-5)

	延べ利用者数(名)	実利用者数(名)
平成 29 年度	1,432	29
平成 30 年度	1,729	25
令和元年度	1,402	24
令和 2 年度	1,037	19
令和 3 年度	548	10
前年度比	- 489	- 9

延べ利用者数を要介護度別にみると次の通りである。要介護 1 が 46.7%と圧倒的に多いが 3 年ぶりに半数以下であった。要介護 3・4・5 の中重度は 15.3%と昨年度より 5.7%上回った。令和 3 年度における平均要介護度は 1.82 で昨年より 0.24 上がり、過去 5 年間で一番高い数値となった。

(表-6)

介護度別		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
平成 29 年度	名	363	1,069	5,604	2,490	1,478	678	451
	%	3.0	8.8	46.2	20.5	12.2	5.6	3.7
平成 30 年度	名	258	1,471	5,675	2,142	1,816	581	105
	%	2.1	12.2	47.1	17.8	15.1	4.8	0.9
令和元年度	名	287	1,115	6,111	1,684	1,287	778	558
	%	2.4	9.5	51.7	14.3	10.9	6.5	4.7
令和 2 年度	名	140	897	6,758	2,492	852	459	542
	%	1.1	7.4	55.7	20.5	7.0	3.8	4.5
令和 3 年度	名	78	470	5,258	3,087	1,192	872	308
	%	0.7	4.2	46.7	27.4	10.6	7.7	2.7

加算サービスの延べ利用者数は次の通りである。入浴は通所介護のご利用者様の 75.7%が実施している。個別機能訓練加算については、令和 3 年度介護報酬改定があり、算定要件が変更になったため比較できないが、個別機能訓練加算Ⅰ（イ）・（ロ）を合わせて 84.4%算定した。認知症加算及び中重度者ケア体制加算は算定要件を満たす事ができず算定できなかった。新たな加算として、個別機能訓練加算Ⅱは 95.6%、科学的介護推進体制加算は 100%算定した。

総合事業（現行相当サービス）については、運動器の機能向上加算は 100%算定するが、口腔機能向上加算、生活機能向上グループ活動加算の実績はなかった。

～令和 2 年度

(表-7)

加算	通所介護				介護予防通所介護		
	入浴	個別機能訓練 Ⅰ	個別機能訓練 Ⅱ	認知症	運動器の 機能向上	生活機能向上	アクティビ ィティ
平成 29 年度	9,314 名			2,471 名			
平成 30 年度	9,365 名	8,194 名	7,570 名	2,251 名	201 名		

令和元年度	9,112名	9,631名	9,055名	3,060名	215名		
令和2年度	8,982名	10,390名	9,858名	2,193名	149名		

令和3年度～

	通所介護					介護予防通所介護		
	入浴	個別機能訓練 I (イ)	個別機能訓練 I (ロ)	個別機能 訓練II	認知症	運動器の 機能向上	生活機能 向上	アクティビ イティ
令和3年度	8,112名	130名	8,914名	954名		80名		

給付以外のサービスの利用状況は、減免対象者は実利用者数0名（延べ0名）、生活保護受給者は実利用者数1名（延べ12名）であった。

利用者の介護度の変動については次の通りである。介護度が軽くなった方は7名、重くなった方は15名と重度化する傾向にある。

(表-8)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
要支援1							
要支援2			2	1			
要介護1				8	1		
要介護2			4		1	1	
要介護3				2		1	
要介護4					1		
要介護5							

実績内訳の詳細は 表-11 を参照。

通所型サービスA（基準緩和サービス）の実利用者数は32名、延べ利用者数は953名と開設して初めて数字を落とすことになる。新規利用者数は4名、除籍者は7名であった。知名度を上げるため、地域の茶ろんやでん伝体操などの地域住民が集まる場所にPR活動へ出向きたいところではあったが、感染拡大防止のため、営業活動ができなかった。

茶ろんから浅羽デイサービスセンター通所型へ移行された方は3名であった。

(表-9)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	23	24	23	20	19	18	19	19	20	21	17	20	32
延べ利用者数	98	89	89	77	74	69	76	81	79	74	65	82	953

(表-10)

	延べ利用者数 (名)	実利用者数 (名)
平成29年度	398	19
平成30年度	787	29
令和元年	998	29
令和3年	1,048	32
令和2年	953	32
前年度比	- 95	± 0

3. 計画の実施状況

(1) ご利用者様の視点

■自立支援を目標とした統一したケアの実施

ケース会議で各ご利用者様の介護方法は話し合いをしたが、職員が統一した自立支援に向けた取り組みに繋げることが出来なかった。機能訓練指導員を中心に、職員の意識を高く持ち、インセンティブ加算が算定できるよう今後、取り組んでいく。

■日課の見直し

個別機能訓練の算定要件の変更があり、それに基づいた日課の見直しを行った。また、自立支援の取り組みとして、湯呑み洗いや拭き上げ、洗濯物を干す作業を取り入れた。

(2) 財務の視点

■稼働率 90% (利用者 1 日平均 41 名) を達成する。

今年度は目標とする 100 名の登録者数も徐々に下がっていき、3 月の実利用者数は 84 名まで落ち込んでしまった。稼働率は 4 月の 86.2% が最高で、9 月は感染症の影響があり、76.0% と過去 5 年間の中でも最低を記録してしまう。結果、平均稼働率は 81.0% (利用者 1 日平均 36.5 名) であった。

○営業活動の継続。

報告書を届けながら月初めに営業訪問を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、月 2 回の営業訪問はほとんど行えなかった。年末にご利用者様が作成したお正月飾りを各居宅介護事業所にお渡しした際は大変喜んでいただいた。また、ご利用者様の活動写真を居宅介護事業所とご家族様に配布した際は好評をいただいたため、今後も継続していく。

○ホームページを毎月更新し、内容を充実させる。

毎月、通信紙を掲載した。また、インスタグラムにも日々のご利用者様の様子を投稿した。

○リーフレット配布

見学に来られたお客様や年始のご挨拶に各居宅介護事業所へお渡ししたのみであった。

■コスト削減

日用品で削減できるものは行った。

■新たな加算に挑戦

科学的介護推進体制加算は算定したが、算定目的である PDCA サイクルの推進とケアの質の向上を図る取り組みは実施できていない。現段階では有用なフィードバックがないため、活用できていない。

ADL 維持等加算は挑戦したが、算定要件を満たす事ができず。今後も挑戦していく。

(3) 業務の視点

■事例、ヒヤリ・ハット報告書を基にリスクマネジメントを行う。

○ヒヤリ・ハット報告啓発活動

毎月 1 回、ケース会議の時間を利用し、再発防止策を検討した。

■ケース会議の見直し

ズーム研修も検討したが、実施に至らず。その他に、職員の負担が増えないように、検討課題がある場合はケース会議の時間を充てて対応した。

■営業方法の見直し

(2) の営業活動の継続にも記載したが、お正月飾りを近隣居宅に配布し喜んでいただいた。また、年度末にご利用者様の活動写真のプリントをケアマネジャー及びご家族に配布し、好評であった。

(4) 人材の視点

■接遇をテーマに QC 活動を行う。

評価期間 : 令和 4 年 1 月 4 日～1 月 31 日 (1 ヶ月)

実施方法 : 評価項目 5 項目。

業務終了後、個人の評価をチェックシートに記入する。

結果 : 短い期間ではあるが、取り組むことにより、自分を振り返る事ができる。今後も継続して取り組んでいく。

■研修参加

○内部研修

2回/月のケース会議の他、防災や緊急時の対応・感染症などの研修を8回実施した。

○外部研修

ズーム研修を中心に10講座9名の職員が参加した。

4. 日 課

浅羽デイサービスセンターの1日の流れは次の通りである。

事業 時間	通所介護	総合事業（現行相当サービス）
	サービス提供時間：9：20～16：30	
8:00	送迎	
9:00	手洗い・うがい	
9:20	湯茶サービス バイタルチェック	
10:00	↓ 午前の活動（脳トレーニング、レクリエーション、機能訓練等）	送迎
10:30	入浴 湯茶サービス ↓	↓ 手洗い・うがい 湯茶サービス バイタルチェック
11:00	手洗い・うがい 嚥下体操	午前活動（脳トレーニング、レクリエーション、生活機能向上グループ活動等） 入浴 湯茶サービス
12:15	昼食 口腔ケア	昼食 口腔ケア
13:30	午後の活動（機能訓練、でん伝体操、趣味活動、季節の行事等）	運動器機能向上 ドリンクサービス
14:00	ドリンクサービス	午後の活動（レクリエーション、季節の行事等）
14:30	機能訓練、集団体操、レクリエーション等	
15:00		手洗い・うがい おやつ
15:15	手洗い・うがい	送迎 ↓
15:30	おやつ	
16:00	カラオケ	
16:30	帰りの挨拶 送迎	
18:00	↓	

(1)送 迎

リフト付車両(ハイエース)3台、普通自動車(シエンタ)1台、スロープ付自動車(ノア)1台、スロープ付軽自動車(タント)1台、計6台の車両使用。

朝は8時00分、帰りは16時30分に出発した。可能な限りご利用者様ならびにご家族様の状態やご要

望に応じて送迎車両や送迎時間を融通した。また、7時間未満でのご利用者様にも対応した。ご利用者様のその時々体調や身体状況に配慮して、個別送迎やベッドからベッドまでの送迎、職員2人体制での送迎、利用拒否の場合の対応等、必要に応じて随時変更し、柔軟に対応した。

大きな事故もなく、安全に送迎を行うことができた。

(2)入浴

ご利用者様の身体状況に応じて、適した入浴方法(一般浴・中間浴・特殊浴・個浴)を選択し、安全に配慮して実施した。入浴ができない場合には、ご要望や必要に応じて足浴・陰部洗浄や清拭等を行なった。

洗身及び洗髪の際には、皮膚の観察を充分に行い、皮膚炎や褥瘡等のトラブルの予防に努めるとともに、異常や変化を発見した場合はご家族様に速やかにお伝えし、必要に応じて受診をお勧めした。

ご利用者様のペースでゆっくりと入浴していただくと同時に、自立支援の見地からご自分でできることはできるだけ行っていただくよう援助した。

また、毎月26日は入浴の日とし、季節に合わせた入浴剤を使用し、季節の香りを楽しんでいただいた。5月の端午の節句には菖蒲湯、12月の冬至には柚子湯を実施した。

(3)食事

栄養バランスのとれた食事をご利用者様の希望や身体的状況に合わせた形態で提供した。嗜好についても調査し、召し上がれない食材や献立の際には代替食をご用意した。

流し素麺やバイキング、調理はコロナ禍のため中止した。お鍋は方法を変えて実施した。

食事前には嚥下体操を行い、摂食時には常に見守り、必要があれば声かけや介助をし、誤嚥による事故の防止に努め安全に召し上がっていただけるように援助した。摂取量の少ないご利用者様には、補助食品の使用等の働きかけも行った。

(4)口腔ケア

ほぼ全員のご利用者様に食後の歯磨きを行っていただいている。ご自分で磨いていただいているから職員が確認し、汚れが落ちていない部分は綺麗に洗っていただくよう助言をしたり、仕上げ磨きをさせていただいた。必要に応じて歯間ブラシや舌ブラシ、スポンジブラシを使用し、口腔内の清潔に努めた。

歯科受診が必要なご利用者様にはご家族様やケアマネジャーに働きかけ、受診に繋げることができた。

(5)ドリンクサービス

到着時、入浴後、昼食時、おやつ時の水分補給以外に、食後の14時以降に、ドリンクサービスを実施し、水分補給を兼ねながらお茶のひとつを楽しんでいただくようにしている。

水分摂取量が少ないご利用者様には、脱水等に留意し、水分補給時にお好きな飲み物を提供し、摂取量を多くするよう努めた。また、誤嚥等で水分が摂取できにくい方にはとろみ剤を使用して補給していただいた。

(6)おやつ

季節や行事に合わせたおやつ、誕生会にはお祝いのケーキを提供した。昼食のバイキングが中止になってしまったため、代替えとしておやつバイキングを実施した。おやつ作りは状況を見ながら実施した。

※手作りおやつについては5.(2)に記載。

(7)排泄

ご利用者様の排尿・排便の時間的パターンを探り、必要な方へのみ、必要なタイミングで、声かけや誘導、身体状況や生活状況に合わせた介助を行うよう努めた。個々のご利用者様の可能性を職員が検証し、能力を最大限活かせるよう、可能な限り排泄動作の自立を促す支援をした。

ご家庭での排泄状況をできるだけ把握し、排便コントロールが必要なご利用者様には介護連絡ノートに『排便チェック表』を貼付しご家族様に助言した。

(8) 健康管理

ご利用の際は、予めご自宅で体温を測定していただき、異常がないことを確認してからご利用ください。また、乗車前にはアルコール消毒をし、マスク着用を徹底、走行中は窓を開け、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。

看護職員が中心となってバイタルチェックを行い、ご利用者様のその日の体調を確認させていただいてから、入浴実施の可否の決定、活動内容や静養の必要等、過ごし方を調整した。熱発等の異常があればご家族様に連絡し、早期受診をお勧めし早期治療に努めた。

また、感染症予防の為、センター到着時、昼食前、おやつ前に手洗いとうがいを行っていただいた。毎日、フロア内の温度や湿度を定時にチェック、常時換気し、手すり等の消毒も2回実施した。

緊急事態宣言発令の際は、ご家族様にも協力していただき、ご家族様が県を跨ぐ移動をされた場合や他県の方と接触した場合は、10日間、利用を控えて頂くなどの対応をした。ご利用者様が新型コロナウイルス感染症の陽性が判明した時は、利用が重なっていたご利用者様全員に抗原検査を実施し、職員はPCR検査を行い、感染症拡大防止に努めた。幸い、感染者はいなかった。

(9) レクリエーション

※季節の行事、慰問、趣味教室の内容については5. に記載。

(10) 機能訓練の取り組み

機能訓練指導員または相談員が居宅を訪問し、生活状況（起居動作、ADL、IADL等の状況）を確認し生活機能チェックシートを作成。興味・関心チェックシートで意向確認し、身体機能及び生活機能の向上を目的とする機能訓練項目を設定し、個別機能訓練計画を作成した。5人程度以下の小集団または個別で機能訓練を実施した。3月毎に機能訓練指導員または相談員、介護職等がご利用者様の居宅を訪問し、ご自宅での状況をご家族様に聞き取り、評価し、個別機能訓練計画書の見直しを行った。

5. 行事

年間計画にもとづいて、以下の行事を行った。

<通所介護・現行相当サービス>

	内 容			
	季節の行事	慰問・訪問・交流会	趣味教室	その他
4月	散らし寿司とデザートバイキング、誕生会・誕生日ケーキ	中止	エコバッグ作り、壁画、フラワーアレンジメント、書道、ブロッコリー・トマト・ピーマンの植え付け、フルーツパフェ	通信紙 防災訓練（火災）
5月	端午の節句・特別おやつ、新茶サービス・特別おやつ、誕生会・誕生日ケーキ、菖蒲湯	中止	多肉植物の寄せ植え、壁画、フラワーアレンジメント、書道、フルーツあんみつ	通信紙
6月	誕生会・誕生日ケーキ	中止	お茶碗の絵つけ、壁画、書道、玉葱収穫、さつま芋・スイカの植え付け、プリンアラモード	通信紙 防災訓練（火災）
7月	七夕・特別おやつ 誕生会・誕生日ケーキ	中止	マスクストラップ作り、壁画、野菜の収穫、書道、牛乳寒天	通信紙 防災訓練（送迎中地震）
8月	ビンゴゲーム、誕生会・誕生日ケーキ	中止	敬老会用プレゼント制作、壁画、書道、ドーナツ・クリームソーダ	通信紙 防災訓練（送迎中地震）
9月	敬老会・特別おやつ、敬老の日お弁当 誕生会・誕生日ケーキ お彼岸・特別おやつ	中止	機能訓練用ズボン制作、壁画、書道 車椅子の解体、竹を使った工作、大根・白菜・葱の植え付け	通信紙 防災訓練（地震・火災）

10月	誕生会・誕生日ケーキ	中止	ペンダント作り、壁画	通信紙 防災訓練（地震）
11月	特別おやつ 誕生会・誕生日ケーキ	中止	クリスマス飾り制作、壁画、さつま芋収穫、ホットケーキ	通信紙、
12月	クリスマス会・クリスマスケーキ、誕生会・誕生日ケーキ、柚子湯	中止	焼き芋、門松作り、お正月飾り、壁画、クリスマスケーキ	通信紙 防災訓練（風水害）
1月	新年会・お祝い饅頭、誕生会・誕生日ケーキ	中止	壁画、フラワーアレンジメント	通信紙 防災訓練（入浴時地震）
2月	節分・特別おやつ、鍋昼食 誕生会・誕生日ケーキ	中止	メッセージスタンド制作、壁画、白菜・大根の収穫	通信紙 防災訓練（入浴時地震）
3月	雛祭り・特別おやつ、お彼岸・特別おやつ 誕生会・誕生日ケーキ	中止	カレンダー作成、壁画、	通信紙 防災訓練（風水害）

<通所型サービスA(基準緩和サービス) 通称：茶ろん>

	活動内容	
	内容（行事、趣味活動等）	外出
4月	ペーパーフラワー、ゴーヤ苗の植え付け、オリジナルエコバッグ制作、フラワーアレンジメント、おやつ作り、誕生会	桜（諸井河川）、菜の花（桶ヶ谷沼）、チューリップ畑（富里）
5月	フラワーアレンジメント、多肉植物寄せ植え、ゴーヤ棚制作、おやつ作り、花の苗植え付け、書道、誕生会	
6月	多肉植物寄せ植え、書道、おやつ作り	
7月	七夕祭り、編みかご制作、ストラップ付マスク制作、おやつ作り、誕生会	
8月	ストラップ付マスク制作、コースタ作り、おやつ作り、誕生会	
9月	コースター作り、絵手紙制作、書道、誕生会	
10月	コースター作り、アクセサリー制作、オンラインレク	コスモス（村松）
11月	おやつ作り、フラワーアレンジメント、ミニ門松作り	
12月	オンラインレク、ミニ門松作り、門松、おやつ作り	
1月	メッセージスタンド制作、和風ボックス制作、フラワーアレンジメント	初詣（三熊野神社）
2月	犬のマスコット作り、ちぎり絵、オンラインレク	
3月	オンラインレク、書道	桜（諸井河川）、チューリップ畑（富里）

(1) イベント昼食

感染対策をしながら、日々の食事に変化をもたせ食事の時間を楽しんでいただけるようにした。

- ・4月 … 散らし寿司とデザートバイキング
- ・9月 … お祝い膳（敬老の日）
- ・2月 … 鍋(鶏団子)、

(2)特別・手作りおやつ

誕生会にはグリーンハウスのケーキ、季節感のあるおやつ、行事に関連したおやつを提供した。おやつ作りは、感染状況を見ながら、また対策をしっかりとしながら、作る楽しみ、また、自信に繋がるように実施した。

- ◆特別おやつ： 4月 … 誕生日ケーキ
- 5月 … 新茶、練りきり、柏餅、誕生日ケーキ
- 6月 … 誕生日ケーキ
- 7月 … 七夕おやつ、誕生日ケーキ
- 8月 … 水まんじゅう、誕生日ケーキ
- 9月 … 練り切り（敬老会）、おはぎ、誕生日ケーキ
- 10月… 誕生日ケーキ
- 11月… 誕生日ケーキ
- 12月 … クリスマスケーキ、誕生日ケーキ
- 1月 … お祝い饅頭（新年会）、誕生日ケーキ
- 2月 … 卵ボーロ・甘酒（節分）、誕生日ケーキ
- 3月 … 練り切り（桃の節句）、牡丹餅、誕生日ケーキ

- ◆手作りおやつ：4月 … フルーツパフェ
- 5月 … フルーツあんみつ
- 6月 … プリンアラモード
- 7月 … 牛乳寒天
- 8月 … ドーナツ・クリームソーダー
- 11月 … ホットケーキ（モンブラン）
- 12月 … クリスマスケーキ

(3)慰 問

コロナウイルス感染症拡大防止のため受け入れなし。

(4)趣味の教室

ボランティアを講師に招く活動は実績がなかったが、職員が制作や書道、フラワーアレンジメント等を実施した。

6. 介護相談・介護支援

(1)介護者ふれあい広場

中止とした。

(2)通信紙『ぼっかぼか通信』発行

通信紙を毎月1日付で発行、ご利用者様ならびにご家族様、ケアマネジャーに送付し、センターでの活動の様子をお伝えした。文字よりも写真を多くし、より見やすく、わかりやすい紙面にし、皆様に見て読んで楽しんでいただきデイサービスの様子をご理解いただけるよう工夫した。

(3) 『デイサービスご利用アンケート』調査

新規利用の方を対象に、サービス利用から3ヶ月経過した時点でアンケート調査を実施した。ご記入いただいた皆様からは概ね良好との回答をいただいた。ご利用者様の個々の状況に応じた意見・感想・相談については、検討し、即座に実施できることは対応し、『介護計画書』及び日々の援助に反映させた。

- ・対象者：17名（令和3年1月から令和3年12月までの新規利用のご利用者様ならびにご家族様）
- ・回収率：94.1%

【回答結果】

- ・設問1『選んだ理由』：
※複数回答可
浅羽の施設だから…………… 10名
ケアマネジャーに紹介されて…………… 8名
家から近いから…………… 7名
見学やお試し利用をしてみて良さそうだったから…………… 5名
利用時間や料金、サービス内容等が希望にあっているから… 5名
近所の人や知り合いが利用しているから…………… 1名
知り合いからきいて良さそうだったから…………… 1名

- ・設問2『利用の感想』：「良かった」「大変良かった」…………… 14(87%)

- ・設問3『職員の対応』：「良い」「大変良い」…………… 16名(100%)

- ・設問4『入浴』：「良い」「大変良い」…………… 10名(62%)

- ・設問5『食事』：「おいしい」「大変おいしい」…………… 11名(68%)

※量については… 主食は適当が13名(81%)、多いが1名、少ないが1名。
副食は適当が13名(81%)、多いが1名、少ないが0名。

- ・設問6『おやつ』：「おいしい」「大変おいしい」…………… 11名(68%)

- ・設問7『送迎時間』：お迎え時間「適当」…………… 13名(81%)
お送り時間「適当」…………… 12名(75%)
利用時間の長さ「適当」…………… 12名(75%)
※変更の要望には、即対応。

- ・設問8『レクリエーション』：「楽しい」「大変楽しい」…………… 8名(50%)

※午前の脳トレで人気の高かった順に①ぬりえ6名、②計算問題5名、③パズル、漢字・言葉の問題1名であった。内容はどれも評価が低いため活動内容の検討が必要と思われる。

※午後の活動では①体操5名、②パワーリハビリ4名、③散歩、絵手紙、手芸3名、④園芸、制作、フラワーアレンジメント、カラオケ2名と特に人気のある活動もない。

※コロナ感染症拡大防止のため、ボランティアの受け入れは中止しており、活動内容も縮小してしまっている。現在、機能訓練を中心とした活動になっているため、コロナ禍でもご利用者様に楽しんでいただける活動を増やしていく必要がある。

7. 地域交流

コロナ禍のため、慰問や講師のボランティアの受け入れは中止した。

令和3年度介護報酬改定があり、災害への地域と連携した対応の強化が求められ、地域交流として今年度は岡山地区の草刈りに参加した。

(1) さわやかスタッフ(有償)

年間を通じて営業日の9時30分から11時30分の2時間、1日1名、入浴の着脱衣介助や整髪等の作業を行っていただいた。また、茶ろん補助職員として9時30分から16時00分の5.5時間、1日1名、

活動していただいた。他に、事務作業軽減のため1回3時間、1ヶ月に3日程度、お越しいただいている。

令和4年3月末現在 計：登録及び活動者 10名

(2) ボランティア

実績なし

8. 人材育成

福祉を学ぶ者にとって現場を知る事は大きな収穫である。要請に応じて状況の許す限り実習生の受け入れを行い、勉強の機会を提供したいとの姿勢は変わらないが、その時の状況により、ご利用者様の安全を第一に考え判断した。

(1) サマーショートボランティア

活動内容を直接ご利用者様と接する事がないように変更して募集したが、応募がなかった。

(2) 職場体験学習

例年は中学生が参加してくれるが、感染拡大防止のため受け入れなかった。

(3) 介護等体験(小・中学校教諭の普通免許状授与に関わる)

実績なし

(4) 実習

高校生の受け入れを行っているが、感染症が広がっていたため、受け入れを断る事になってしまった。

(5) 調べ学習

実績なし

(6) 職員研修

外部研修は、介護職員1名につき1講座参加することを目標に掲げたが、感染拡大の心配もあり参加を見合わせていた。研修方法に変化があり、ズーム研修が多くなってきたため、徐々に参加することができた。

内部研修は、年度計画・反省、感染症、防災動等の実施。ケースカンファレンスは毎月2回実施した。

- ・ 外部研修 …… 計：10 講座 延べ9名参加
- ・ 内部研修 …… 計：8回 実施
- ・ ケースカンファレンス …… 計：16回 実施

9. 防災管理

防災訓練は毎月実施し、火災や地震等の災害時に備えた。

訓練については、日課や業務の進行上、実施時間が午後の決まった時間にならざるを得なかった。事前に職員に計画を通知しているため、各職員が自ら判断して行動する場面が少なかったように思われる。引渡訓練は、感染症拡大防止のため、中止した。

- ・防災訓練 ご利用者様避難訓練 …………… 毎月 1 回実施
計： 10 回実施 (火災 3 回、地震 6 回、風水害 2 回) 延べ 380 名参加

10. 衛生管理

職員の就業前の検温及び体調の申告、ご利用者様の利用当日の検温及び体調の申告依頼、感染症等発生状況の報告、館内ならびに車両内の換気・消毒・清掃、手洗いとうがいの励行等を実施し、日々通常業務として、感染源が持ち込まれないよう努めるとともに、疑われる症状の早期発見、蔓延予防に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一層取り組みを強化し、マスク着用、手指アルコール消毒、換気、本人または家族が体調不良の時は出勤しない事を徹底した。緊急事態宣言発出されているときは、県を跨いだ移動をした場合は一定期間センターの出入りを禁止した。

11. 事故防止活動

ヒヤリ・ハッと報告書については、小さな気付きでも危険だと思ったことは報告書に記入し、他の職員に注意喚起することにより事故に繋がないように啓発活動に取り組んだ。その結果、153 件報告があった。内容については、確認不足や目配り不足が多いが、事前に気づき、大きな事故を防ぐことができた。

- ・ヒヤリ・ハッと報告 … 153 件
- ・事例報告 … 68 件 (内 ご利用者様関連 52 件、設備・物品関連 16 件)
- ・救急車要請報告 …………… 2 件
- ・業務改善書 …………… 0 件
- ・事故報告(行政提出) … 1 件

事例報告書については、1 日 40 名のご利用者様がおられる中で、確認不足・目配り不足での事例が多かった。相変わらず荷物の返却ミスが多く、落ち着いた対応が必要である。葉の確認不足の報告が続いたことがあり、ルールの徹底を行った。車両に関する報告は少なくなっており、安全装置がついた車両は 1 台のみであるが効果が出ているものと思われる。

【事例報告の主な内容】

- ・荷物の返却ミス …………… 20 件
- ・転倒、ずり落ち …………… 11 件
- ・持ち物の確認忘れ…………… 10 件
- ・物品に関する事 …………… 10 件
- ・車両 …………… 4 件

リスクマネジメントは、月 1 回、ケース会議の 30 分を充て、再発防止策について話し合った。今後も職員の意識を高く持ち、小さな気付きでも職員に周知することにより大きな事故を防いでいく。よって、サービスの質の向上に繋げる。

以 上

利用状況

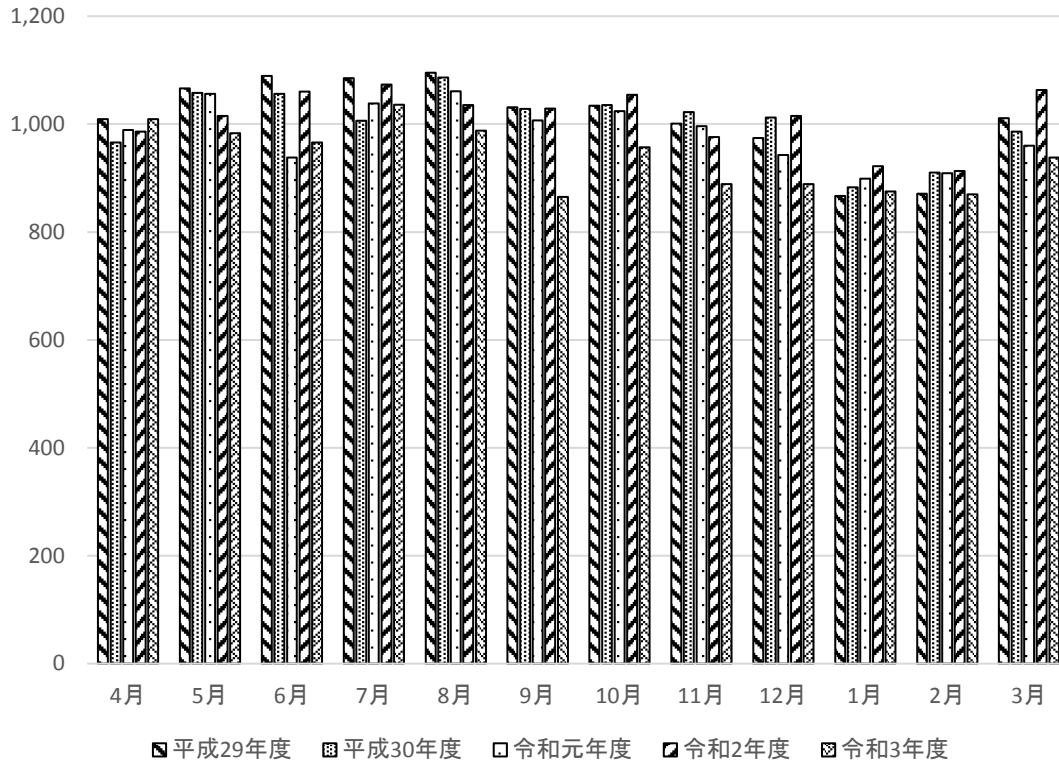
(表-11)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
開所日数		26	26	26	27	26	25	26	26	25	25	24	27	309		
実利用者数		96	94	91	96	94	88	90	86	86	87	86	84	112		
延利用者数		1,009	983	966	1,036	988	865	957	889	889	875	870	938	11,265		
1日平均利用者数		38.8	37.8	37.2	38.4	38.0	34.6	36.8	34.2	35.6	35.0	36.3	34.7	36.5		
定員達成率		86.2%	84.0%	82.6%	85.3%	84.4%	76.9%	81.8%	76.0%	79.0%	77.8%	80.6%	77.2%	81.0		
利用者	延べ														0	
	総合事業 (現行相当)	事業対象者														0
		要支援1	11	10	8	10	4	9	4	4	5	4	4	5	78	
		要支援2	55	48	41	38	49	29	43	39	35	31	29	33	470	
		要介護1	1												1	
		要介護2			2	1									3	
	2～3時間	要介護3													0	
		要介護4													0	
		要介護5													0	
		要介護1				1				1					2	
		要介護2				1		1				1			3	
	3～4時間	要介護3													0	
		要介護4													0	
		要介護5													0	
		要介護1	1	1	2	1	1	1		2	1	2	1	1	14	
		要介護2		1							1		1		3	
	4～5時間	要介護3							1			2		1	4	
		要介護4											1		1	
		要介護5													0	
		要介護1	11	11	19	17	26	28	25	10	21	14	13	15	210	
		要介護2				1		1				1	1		4	
	5～6時間	要介護3	13				1						1	1	16	
		要介護4	12	15	17	16	14	13	18	15	12	14	13	14	173	
		要介護5										1			1	
		要介護1	22	14	20	21	19	15	18	17	8	4	5	5	168	
		要介護2	2	1	1	4	1	1		1		13	11	16	51	
	6～7時間	要介護3			1						1	3	1	4	10	
		要介護4			2					1			1		4	
		要介護5													0	
		要介護1	452	448	402	439	421	356	402	413	412	387	357	374	4,863	
		要介護2	297	281	292	309	240	214	252	209	210	208	247	264	3,023	
	7～8時間	要介護3	66	74	98	103	113	106	98	87	96	102	104	115	1,162	
		要介護4	41	44	27	38	64	59	62	77	80	69	57	76	694	
		要介護5	25	35	34	36	35	32	34	13	7	19	23	14	307	
		生活機能向上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
運動器機能向上		10	10	7	7	7	6	6	6	6	5	5	5	80		
加算	通所介護	10	10	7	7	7	6	6	6	6	5	5	5	80		
	科学的介護推進	10	10	7	7	7	6	6	6	6	5	5	5	80		
	要支援1体制 I	3	3	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	19		
	要支援2体制 I	7	7	5	5	6	4	5	5	5	4	4	4	61		
	処遇改善 I	10	10	7	7	7	6	6	6	6	5	5	5	80		
減算	通所介護	744	723	705	759	712	618	676	635	631	632	615	662	8,112		
	入浴	0	53	0	0	14	27	22	0	0	14	0	0	130		
	個別機能訓練 I (イ)	382	804	805	899	828	694	740	743	736	714	768	801	8,914		
	個別機能訓練 I (ロ)	81	82	80	86	84	78	80	76	77	77	79	74	954		
	個別機能訓練 II	86	84	84	89	87	82	84	80	80	82	81	79	998		
	科学的介護推進	207	201	209	221	241	253	260	219	230	228	225	241	2,735		
	認知症	943	925	917	988	935	827	910	846	849	840	837	900	10,717		
	体制 I	86	84	84	89	87	82	84	80	80	82	81	79	998		
給付外	送迎	19	17	25	25	25	23	27	23	23	27	30	31	295		
	食事	1,009	983	964	1,036	988	865	958	889	889	875	870	938	11,264		
	おやつ	968	948	929	1,000	952	833	914	849	841	826	820	888	10,768		
	日用品	74	72	66	65	48	41	49	44	45	44	46	49	643		
	区外送迎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

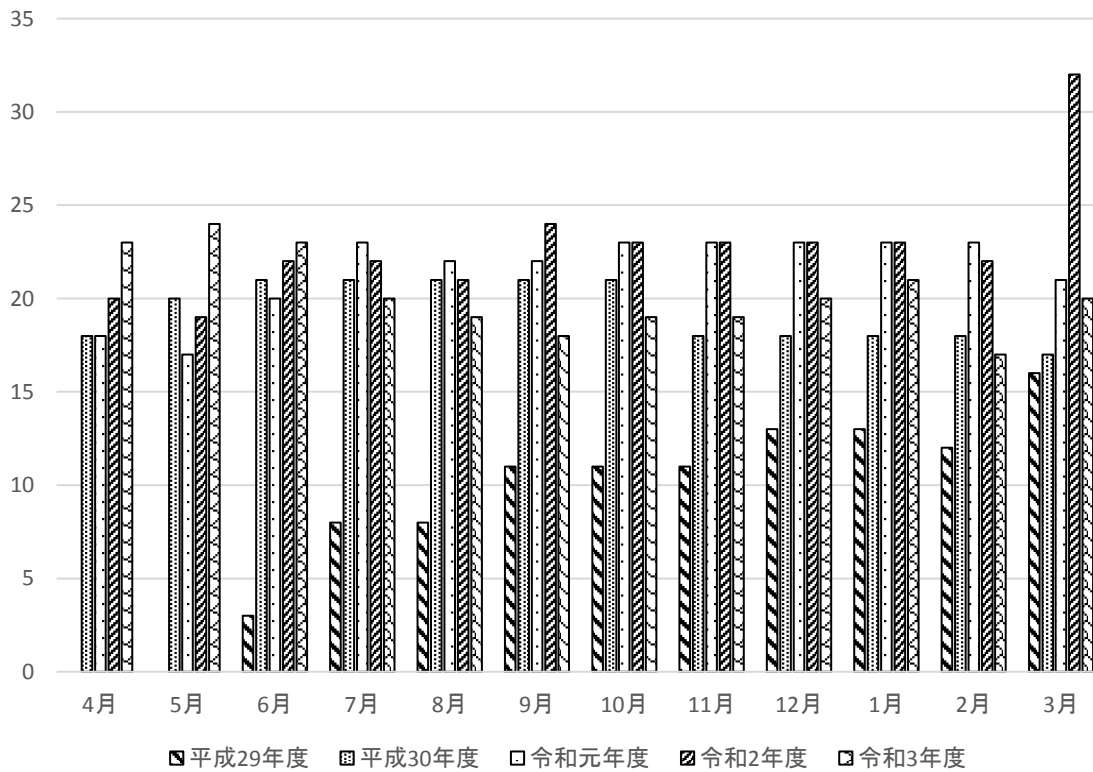
通所型サービスA

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		22	21	22	22	22	22	21	22	21	20	20	23	258
実利用者数		23	24	23	20	19	18	19	19	20	21	17	20	32
延利用者数		98	89	89	77	74	69	76	81	79	74	65	82	953
1日平均利用者数		4.5	4.2	4.0	3.5	3.4	3.1	3.6	3.7	3.8	3.7	3.3	3.6	3.7
定員達成率		29.7%	28.3%	27.0%	23.3%	22.4%	20.9%	24.1%	24.5%	25.1%	24.7%	21.7%	23.8%	8.2
実利用者	事業対象者	14	15	15	13	13	12	11	11	12	13	11	11	151
	要支援1	8	8	7	6	4	5	6	6	6	6	5	7	74
	要支援2	1	1	1	1	2	1	2	2	2	2	1	2	18

【通所】 延べ利用者数



【サービスA】 実利用者数



浅羽ケアマネジメントセンター 令和3年度 事業実績報告

今年度も昨年度に引き続きコロナ禍であったため、保険者である袋井市の指針を厳守し、感染症の予防に留意して事業展開をしてきました。

体制

令和3年度事業計画書で示したように、当初5名の介護支援専門員での稼働でしたが、7月に非常勤勤務の職員1名入職、12月正規職員1名入職しました。

12月末をもって非常勤勤務の職員が退職しましたので令和4年1月より6名の稼働となっております。

尚、特定事業所加算Ⅱの算定要件を厳守しており、加算を算定しております。

業務

事業計画目標数 165件

(1) 居宅介護支援実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実績件数	171	165	165	168	170	175	176	178	177	180	182	177	2084
R2年度	154	155	158	171	169	176	174	171	173	171	173	173	2018
R3年初回	5	3	4	8	5	12	5	11	7	6	7	1	74

上記の表の数は実際サービスを利用し国保連に請求した数です

昨年度比 66件増です。

実績件数以外に介護予防の委託がある。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実績件数	21	21	23	24	26	27	31	31	33	27	24	25	313
R2年度	20	22	23	22	23	27	23	25	25	27	26	29	287

昨年度比 26増

利用者受け入れ状況・傾向

利用者の受け入れ状況ですが、依頼はすべてお断りせずに引き受けています。

依頼はあっても支援に繋がらないケースとしましては、家族は利用したいが、本人の拒否があり利用に繋がらないケース、癌末期の方で契約だけで終了となるケース、住宅改修のみで終了となるケース等です。

依頼は、浅羽地域包括支援センターを主としていますが、聖隷袋井市民病院、その他、直接、ご家族より電話での依頼もあります。電話での依頼は近いからと理由もあ

りますが、過去にお身内の方の担当だったのでという方も増えてきております。

急性期病院からの紹介は医療依存度が高く、在宅医・訪問看護等の医療関係機関と連携を図って支援していますが、直ぐに終了となる事が多いです。

回復期リハビリ病院からの紹介においては、住宅改修、福祉用具貸与の利用が必要な方が、多く、リハビリ専門職との連携を図り退院に向けての調整を行い在宅復帰に向けての支援を行っております。

尚、骨折後介護保険を申請して、リハビリ終了後に在宅生活となるため、介護保険更新時にはかなり回復され、自立した生活ができる方が多くあります。

要介護3以上の方については、施設入所してもらいたいと願う家族の方が多い傾向は変わりません。(体調の悪化にて急性期病院に入院され、その後は療養型の病院に入所される場合と特別養護老人ホームに入所になり契約終了となる。) よって、在宅生活されている方は、要介護1～2の方が殆どで全体の約80%強となっております。

認知症の進行により在宅生活が困難になり、グループホームに入所された方は8名でした。

要介護3～5の方の在宅生活継続がなかなか難しいのが現状です。特別養護老人ホームへの入所は4名で老人保健施設への入所が8名でした。その他入院等で終了になったケースが25名でした。

小規模多機能ひなたへの移行は3名でした。

死去され終了となった方は27名でした。

地域との連携・職員資質向上に向けての取り組み

地域内にある事業所と連携を図り、利用者の支援につなげています。

地域にある社会資源を活かした居宅計画書を作成、その方の生活を支援しています。

特に高齢者世帯の場合は支援ネットワーク・シニア支援センター等の利用されている方多いです。

尚、処遇困難なケースでは地域包括支援センターの主任ケアマネに相談し地域ケア会議の開催を行い、地域包括ケアができるようにしています。

(認知高齢者の方、虐待ケース等)

職員資質向上にむけては、随時、必要な研修に参加する予定でしたが、コロナ禍であるため、ほとんどの研修が集合では実施されませんでした。オンラインでの研修に参加ができました。

研修に参加していない職員には、資料等回覧し全員周知できるようにしております。

研修内容として、静岡県介護支援専門員会の研修、袋井市スーパービジョン、介護保険研究会研修等に参加しました。

年度当初、各自研修目標をたて、質の向上に努めてきましたが、研修の未実施もあったので、目標に対しては継続追及としました。

又、毎週金曜日に居宅会議を開催し、処遇困難事例等を全員で協議して、適切な支援につなぐとともに、職員にもう一度自分の実践を振り返る場となるようにしています。

その他

(1) 令和3年度事業計画の重点目標の達成状況

視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）	
利用者様	<u>適切なマネジメントの実施</u> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の尊厳を守る対応ができる ・利用者の生活をよく理解し個別の計画を共につくる ・地域支援の視点を持って関わることができる 	○	適切なマネジメントが行われているか最低でも月1回ご自宅を訪問しモニタリングを実施する
財務	<u>選ばれる事業所となる</u> <ul style="list-style-type: none"> ・法人内外の事業所との連携を図る ・法令遵守する ・特定事業所加算の取得 	○	給付管理件数目標：165 165件は5名の介護支援専門員での目標値です。
業務	<u>利用者の生活をよく理解し個別の計画を共に考えて作り支援を必要とする人の存在を認め適切な対応ができる</u> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者自身の理解を深める ・生活課題の問題解決のために地域への視点を持つ ・利用者だけでなくその周りに暮らす人々とのつながりを大事にする支援 	△ △ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援に資するケアプラン作成 ・アセスメントを地域との接点で把握する ・地域に在る資源や機関と連携を図る ・健全なる給付の実施
人材	<u>専門的な倫理・知識・技術の獲得を目指す</u> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決や生活問題の緩和のため専門的知識や技術を学ぶ ・自分の実践を振り返り、結果を理解評価できる ・目標が習得できるように研修に積極的に参加する 	○ ○ △	<ul style="list-style-type: none"> ・主任ケアマネ法定研修以外に年4回以上参加する ・各自の目標にそった研修には積極的に参加する ・相談援助者として日常的にストレスを浴びるのでソーシャルサポーしていき離職者を減らす

(2) 加算について

特定事業所加算Ⅱの要件を満たし毎月一人400単位加算があります。

入退院時の加算も必要な書類を作成し、加算を取得しています。

(3) 研修計画目標達成について

各自目標をたて、目標に沿った研修に参加する予定でしたが、コロナ禍であるため、集合して行う研修が実施されなかったが、オンラインでの研修に参加ができています。目標達成とまではいかなかった事もあり今後も目標を継続しながら質の向上に努めて参ります。

(1) 居宅介護支援実績

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護度1・2	124	122	123	125	122	126	126	128	126	131	134	134	1,521
要介護度3・4・5	47	43	42	43	48	49	50	50	51	49	48	43	563
実績件数	171	165	165	168	170	175	176	178	177	180	182	177	2,084
初回加算	5	3	4	8	5	12	5	11	7	6	7	1	74
医療連携加算(Ⅰ・Ⅱ)	4	1	1	3	4	4	4	5	1	4	4	3	38
退院加算	1	3	1	3	1	2	2	3	2	1	2	3	24
運営基準減算													0

(2) 月別新規申し込みと契約終了者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
新規	新規相談者	7	6	7	5	12	5	9	10	9	7	2	5	84
	新規契約者	6	6	6	6	12	5	9	11	9	7	3	5	85
	新規委託(予防)	1				1								2
	包括支援から転入			1		1								2
契約終了(入院入所※含小規模)	6	4	2			1	3	3	2	2	3	2	28	
契約終了(死亡)		3	4	1	3	2	2	5	1	3	2	1	27	
契約終了(委託)	1												1	
契約終了(居宅事業所変更)	1												1	
契約終了(要支援)														
契約終了(自立)			1										1	
契約終了 合計	8	7	7	1	3	3	5	8	3	5	5	3	58	

(3) 要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	86	85	84	84	86	93	90	91	90	95	96	94	1,074
要介護2	38	37	39	41	36	33	36	37	36	36	38	40	447
要介護3	21	21	19	19	20	21	22	25	26	26	27	26	273
要介護4	22	19	19	20	22	23	23	20	20	17	16	14	235
要介護5	4	3	4	4	6	5	5	5	5	6	5	3	55
合計	171	165	165	168	170	175	176	178	177	180	182	177	2,084
要介護3. 4. 5(再掲)	47	43	42	43	48	49	50	50	51	49	48	43	563
割合	27%	26%	25%	25%	28%	28%	28%	28%	28%	27%	26%	24%	27%

(4) 要支援別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	8	8	9	10	11	11	14	14	15	11	10	10	131
要支援2	13	13	14	14	15	16	17	17	18	16	14	15	182
合計	21	21	23	24	26	27	31	31	33	27	24	25	313

(5) サービス事業者別計画作成件数

1. 通所介護(複数事業所利用も含む)

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
浅羽デイサービスセンター	75	73	73	79	77	72	75	70	70	72	72	70	878	60.3%
温泉デイ和の湯	14	14	14	12	12	12	12	12	12	12	13	14	153	10.5%
い～な浅羽	11	10	9	9	12	13	11	12	11	11	11	13	133	9.1%
ツクイ袋井	6	6	5	5	4	4	4	4	3	5	5	5	56	3.8%
ユアサポートころふくろい	1	2	2	4	3	4	5	6	6	5	5	5	48	3.3%
レッツリハビリ袋井	3	3	4	4	4	4	4	5	5	4	4	4	48	3.3%
ケアステーションあさひ磐田・福田	4	4	4	4	3	3	3	3	3	2	2	2	37	2.5%
ラクラス福田	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	3	24	1.6%
ラクラス可睡の杜	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	0.8%
ディアコニア	2	1	1	1	1	1	2	2	1	1	2	2	17	1.2%
すこやかデイサービス歩み	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	1.0%
デイサービスみどり	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	0.8%
きらり	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	0.8%
紅紫萩	1	1	1	1	1	1		1	1				8	0.5%
いこいの里大原									1	1			2	0.1%
事業所合計	123	120	119	124	122	119	123	122	120	120	121	122	1,455	

2. 地域密着型通所介護

事業所名	4月	5月	9	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
はまかぜデイサービス	9	9	9	8	8	8	8	7	7	7	8	6	94	54.7%
あかり	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	40	23.3%
サポートハウスころ						2	2	2	2	2	3	3	16	9.3%
デイサービスグリーン	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	7.0%
デイサービスなのはな						1	1	1	1	1	1		6	3.5%
デイサービス和合	1	1	1	1									4	2.3%
事業所合計	14	14	14	13	12	15	15	14	15	15	17	14	172	

3. 訪問介護

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
セントケア富士見	9	8	4	5	4	5	3	4	3	4	4	5	58	22.4%
セントケア袋井			4	4	4	4	5	3	5	5	4	4	42	16.2%
袋井市社会福祉協議会	7	6	6	6	8	9	8	9	8	8	8	6	89	34.4%
アイケア袋井	5	4	4	4	4	4	5	5	3	4	3	3	48	18.5%
ヘルパーステーションゆあらいふ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.6%
紅紫萩ヘルパーステーション				1	1	1	1						4	1.5%
ニチイケアセンター袋井	1	1	1										3	1.2%
ケアサービスまりも		1	2										2	0.8%
訪問介護ステーションみどり										1			1	0.4%
事業者合計	23	21	22	21	22	24	23	22	20	23	20	19	259	

4. 福祉用具貸与

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
ベルメディカルケア浜松	32	28	30	31	32	32	31	31	31	31	32	29	370	28.8%
エコワークス遠州	25	26	24	25	25	28	28	33	35	33	31	29	342	26.6%
介護ショップちゅ〜ぶ	21	20	20	20	24	22	21	23	21	23	22	20	257	20.0%
トーカイ浜松	12	12	12	13	12	11	13	13	13	13	13	13	150	11.7%
らいふくケア	7	7	8	7	8	7	7	7	8	8	8	8	90	7.0%
フランスベッド	4	4	4	4	4	4	5	5	6	6	6	6	58	4.5%
T-STYLE	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	0.9%
協和医科器械浜松						1	1	1	1	1	1	1	7	0.5%
まごころ介護サービス	1	1	1	1									4	0.3%
マストレメディカル						1	1	1					3	0.2%
ダスキン袋井					1								1	0.1%
事業者合計	103	99	100	102	107	107	108	115	116	116	114	107	1286	

令和3年度 浅羽地域包括支援センター 事業実績報告

1. 予防給付ケアプラン関係

区分	ケアプラン作成 (延べ人数)			ケアプラン作成したが未利用 (委託分も含む)	新規作成及び プラン再作成 (委託分も含む)	3月末現在 ケアプラン 委託事業所数
	当センター 作成数	他事業所 委託数	合 計			
要支援1	689	277	956	44	75	15 事業所
要支援2	527	427	954	21	63	
事業対象	175	4	179	8	5	
合計	1391	708	2099	73	143	

<ケアプラン作成したが未利用者の理由> (委託事業所)
 *体調不良によりサービス利用なし。 浅羽ケアマネジメント・村松居宅・ディアコニア居宅・
 *入 院 い〜なケアプラン・トータルケアひかり・ケアプラン袋井・
 *死 亡 社協居宅事業所・ケアハウスくるみ・紅紫萩居宅・和の湯
 おおふじ五幸・西ノ島の郷・ウエルビー・みつはし
 ゆやの里

2. ケアプラン作成のための対応報告

対象者	延人数	延べ回数			
		訪問	来所	電話	その他
要支援・事業対象(延べ)	1969	1231	55	1310	130

対応としては訪問する回数が増えています。

3. 介護サービス別の利用者数 延べ人数 (当該センターに併設している施設利用者)

介護サービス別	通所介護(リハ含む)	訪問介護	訪問入浴	短期入所
利用者数	1045	0	0	14

4. 介護予防支援介護給付費報告

	件数	金額 (円)	前年度件数	前年度金額	件数増減	金額増減
国保連請求	2121	9819571	2260	10222733	△139	△1203162
包括支援センター	1397	6391687	1460	6595528	△63	△203841
他事業所委託	724	3283084	800	3467205	△76	△184121
委託手数料	724	144800	800	160000	△76	△15200

5. 相談事業報告書

区分	一般	要支援者 事業対象	介護認定者	合計	
延べ人数	1350	2033	163	3546	
相談方法 (延べ人数)	訪問	503	1247	30	1780
	来所	63	61	17	141
	電話	1425	1311	166	2902
	その他	106	138	31	275

相談内容 (複数記入)	制度説明	163	37	4	204
	介護方法	0	3	0	3
	権利擁護	48	9	50	107
	高齢者虐待	21	10	3	34
	サービス利用について	669	1728	47	2444
	健康について	708	1245	44	1997
	認知症について	277	80	71	436
	ケアマネについて	79	58	4	141
	生活の事	403	257	52	712
	経済的なこと	64	3	6	73
	家族間の事	86	45	9	140
	その他	115	43	12	170
対応 (複数記入)	情報提供	485	345	51	881
	他機関との調整	595	606	115	1316
	申請代行	38	29	0	67
	状況把握	1149	1876	155	3180
	その他	75	48	12	135

* 家族、民生委員や病院からの相談が入ります。

* 相談内容は、サービス利用について、健康について、生活の事、認知症についての相談が多いです。

* その他に複数の問題を抱えた相談が目立ちます。

6. ケアマネ支援

延べ人数	80名	困難ケース	27回
相談回数(延べ回数)	149回	ケアマネ同行回数	85回

* 問題が複雑化しケアマネの後方支援で関わるケースが増加しました。

7. 処遇困難ケースの支援

対象人数(実)	85
対応回数	27

* 行政及び他機関との連携が今後も必要と感じます。

《把握経路》 ・ 民生委員、地域住民、行政、医療機関

《内容》 ・ 経済困窮、家族問題、地域とのトラブル、ゴミ問題、健康について等

8. PR活動・市の事業参加・講師等

	PR活動		市の事業参加		講師・その他	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
サロン					11	228
楽笑教室					25	460
移動支援部会					9	122
認知症カフェ					27	284
でん伝体操					196	2278
でん伝体操出張指導			5	55		

地域支援事業					1	15
生活支援運営委員会					9	191
第5地区民協					3	140
災害ボランティア器材設置打合せ					2	47
西地区地域福祉推進会議					2	42
浅羽南見守りネットワーク					5	68
笠原地区福祉推進会議					2	67
浅名見守りネットワーク					1	11
茶ちゃ処					1	10
介護予防体操で健康長寿の地域づくりを推進する会					1	8
浅羽東地区自治会長会議					1	12
浅羽北地区自治会長会議					1	22
浅羽西地区自治会長会議					1	20
幸浦地区自治会長会議					1	13
浅羽見守りネットワーク					5	69
南部会議					1	15
認知症サポーター養成講座					2	47
2層定例会					2	38
定例会の打合せ					1	5
運営実施調査の同行					3	18
お元気サポーター養成講座					1	6
浅羽南ふれあいいきいきサロン交流会					1	17
出張保健センター			1	10		
地域密型推進会議					1	8
袋井市介護予防、日常生活支援推進会議			1	23		
ステップアップ研修					3	4
街かどいきいき通信の取材					1	10
支援員交流会					1	25
合計			7	88	321	4300

* コロナウイルスの感染拡大のため、数か月自粛していた会場もありました。その為、自粛中は、高齢者が自宅で出来る体操を掲載した波音の配布を行いました。

9. 研修会・連絡会参加状況

月	日	研修会名	参加者
4	12	S C連絡会	村主
4	21	S C連絡会	竹原
5	11	S C連絡会	竹原・内藤
5	19	認知症推進員連絡会	水間
5	26	相談窓口対応研修会	内藤
5	28	在宅医療介護推進連携会議	村主
6	3	日常生活支援推進会議	竹原・内藤

6	8	ＳＣ連絡会	竹原・内藤
6	9	はつらつ生きがい講座	水間・内藤
6	18	ＳＣ連絡会	竹原・内藤
7	6	在宅医療介護多職種連携	水間
7	14	ＳＣ養成研修	内藤
7	15.16	認知症推進現任研修	水間
7	19.29	運営協議会	村主
7	28	在宅医療介護連携推進会議	村主
8	2	街かどいきいき通信の取材	竹原・内藤
8	23	ＩＣＴ研修	村主・内藤・岡本
8	23.24	地域包括職員基礎研修	内藤
9	1.16	ＩＣＴ研修	村主・内藤・岡本
9	9.17	高齢者虐待現任者研修	村主
9	20	街かどいきいき通信の取材	内藤
9	21	自立支援型地域ケア会議	内藤
9	27	地域座談会	村主
9	27	在宅医療・介護連携推進会議	村主
10	1	ＩＣＴ研修	村主・内藤・岡本
10	6.18	介護予防ケアマネジメント	村主・長谷川・岡本
10	8	スーパービジョン研修	村主・水間・岡本
10	19	街かどいきいき通信の取材	内藤
10	21	自立支援型地域ケア会議	村主・竹原
10	21.28	主任介護支援専門員研修	村主
10	15	高齢者虐待研修	村主・竹原
10	22	成年後見研修	村主・竹原・岡本
10	29	成年後見センター	竹原
11	4	在宅医療介護多職種連携推進会議	水間
11	5	地域包括支援初任者研修	村主
11	11	罪に問われた障がい者、高齢者研修	村主・竹原
11	26	生活支援スキルアップ研修	内藤
11	27	精神保健福祉研修	村主・水間・竹原・岡本
12	7.17	主任介護支援専門員更新研修	村主
12	23	地域共生推進フォーラム	内藤・竹原
1	13	相談支援事業所連絡会	村主・竹原
1	16	ＡＣＰ研修	前嶋・岡本
1	20	自立支援型地域ケア会議	前嶋・岡本
1	22	オンライン研修	村主
2	1	バリアフリーノートの勉強会	前嶋
2	3	こころのノート研修	前嶋
2	3	主任介護支援専門員更新研修	村主
2	14	スーパービジョン研修	村主・長谷川・岡本
2	17	医療・介護連携推進会議	村主

2	17	地域ケア会議	村主・前島・岡本
2	28	運営業務推進会議	村主
3	17	居場所づくりセミナー	竹原
3	18	若年性認知症の人の社会参加	前嶋
3	30	介護予防ケアマネジメント現任者研修	前嶋・石原

新型コロナウイルス感染の拡大防止のため、集合からWEB研修に参加する事が多くなりました。

<令和4年度の取り組み課題>

移動支援の始動に向け支援していきます。

新型コロナウイルス感染予防を図りながら、でん伝体操の継続、サポーターの交流会などを行い、サポーターのモチベーション維持に努めていきます。

認知症サポーター養成講座を地域住民や事業所を対象に開催していきます。

WEB研修等を利用して、多くの研修に参加していきたいと思えます。

今年度も地域ネットワークを広げ、より身近な相談窓口として、活動の幅を広げます。

令和3年度 認知症地域支援推進事業報告

1 上半期(4～9月)の成果等

○認知症カフェの運営

- ・コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず中止した時があり、予定通り開催することができませんでした。
- ・オレンジカフェ一歩は9回開催し、参加者は延べ約70名、協力スタッフが延べ25名でした。
- ・若年性アルツハイマー型認知症の方が、カフェに参加することをとても楽しみしており、リラックスした様子で皆さんと交流を図っています。
- ・袋井市地域包括ケア推進課介護ケア相談係の保健師(認知症地域支援推進員)が、オレンジカフェ一歩を視察。介護支援ボランティアの方々を中心に、とてもよい活動をしており、正直驚きましたとの評価をいただきました。今年度、チームオレンジとして位置づけることになりました。
- ・オレンジカフェいっ福は、4月に4回、5月に1回、計5回のみ開催に留まりました。7月以降は、参加者の都合で中止しています。

○認知症サポーター養成講座の開催

- ・講座回数は1回、参加人数は25名でした。
- ・コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的な開催には至りませんでした。

○認知症の相談

- ・上半期106件の相談のうち、認知症や物忘れに関する相談は23件で全体の22%でした。例年、認知症や物忘れに関する相談は、全相談件数の約20%となっています。

2 下半期(10～3月)の成果等

○認知症カフェの運営

- ・コロナウイルス感染拡大防止のためやむを得ず中止した時があり、予定通り開催することが出来ませんでした。
- ・オレンジカフェ一歩は10/5～3/15までで計17回開催し、参加者は延べ103名、協力スタッフは延べ45名でした。
- ・参加者は若年性アルツハイマー型認知の方、家族の介護経験者、現在家族の介護をしている方など様々な方が参加しています。介護中の方は「オレンジカフェ一歩に来ることが息抜きです。」と話して下さいました。
- ・協力スタッフ4名中3名が静岡県認知症サポーター・チームオレンジ養成講座を受講し、県から正式にチームオレンジとして認めて頂くことが出来ました。研修を通してオレンジカフェ一歩の今後について考えることが出来、更に発展していくことが期待できます。

○認知症サポーター養成講座の開催

- ・開催回数は2回、参加人数は40名でした。その他に2回開催を予定していましたが、コロナウイルス感染拡大防止の為に中止となりました。
- ・コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的な開催には至りませんでした。

○認知症の相談

- ・10月～2月にかけて126件の認知症の方やご家族からの相談が入りました。
- ・民生委員や近所の方からの情報提供があり、はいかいSOS登録や介護保険申請の支援に繋がるがありました。

令和3年度上半期認知症地域支援推進事業報告書

1. 医療・介護等の支援ネットワークの構築に関すること

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
認知症施策推進会議(認知症疾患医療センター・隔月)	/	/	1	/	/	1	2
認知症地域支援推進員連絡会(月1回・随時)、必要な取り組みに関する作業	中止	1	1	1	中止	3	6
はいかいSOSネットワーク事業・見守りネットワーク事業の推進	14	8	15	7	5	3	52
認知症サポーター・キャラバンメイトの活動支援及び認知症サポーター養成講座の開催	/	2	/	2	2	3	9

2. 認知症対応力向上のための支援に関すること

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
認知症カフェの立ち上げ・運営及びその支援	8	6	中止	5	中止	中止	19
多職種協働による研修会の企画・実施	/	/	/	/	/	/	/

3. 相談支援・支援体制構築に関すること

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
認知症の人やその家族からの相談支援	26	8	18	25	35	16	128
「認知症初期集中支援チーム」との連携	/	/	/	/	/	/	/

4. その他

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
県等が開催する研修・連絡会等への参加	/	2	/	4	/	/	6
その他(介護予防事業研修・介護予防セミナーの参加など)	/	/	/	/	/	/	/

令和3年度 下半期認知症地域支援推進事業報告書

1. 医療・介護等の支援ネットワークの構築に関すること

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症施策推進会議(認知症疾患医療センター・隔月)	/	/	1	/	/	1	2
認知症地域支援推進員連絡会(月1回・随時)	1	1	1	1	/	1	5
はいかいSOSネットワーク事業・見守りネットワーク事業の推進	/	/	2	1	7	/	10
認知症サポーター・キャラバンメイトの活動支援及び認知症サポーター養成講座の開催	/	11	/	2	2	/	15

2. 認知症対応力向上のための支援に関すること

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症カフェの立ち上げ・運営及びその支援	4	7	3	17	13	6	50
多職種協働による研修会の企画・実施	/	/	/	/	/	/	0

3. 相談支援・支援体制構築に関すること

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症の人やその家族からの相談支援	37	18	18	24	29	29	155
「認知症初期集中支援チーム」との連携	/	/	/	/	/	/	0

4. その他

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県等が開催する研修・連絡会等への参加	/	/	2	1	1	/	4
その他(介護予防事業研修・介護予防セミナーの参加など)	/	1	/	/	/	/	1

令和3年度 オレンジカフェ報告書

一步

開催日・回数	参加者(名)	協カスタッフ(名)	包括職員(名)	合計(名)	
4. 6(火)	8	3	1	12	
4. 13(火)	10	2	1	13	
4. 20(火)	8	3	1	12	
4. 27(火)	8	3	1	12	
4月	4回	34	11	4	49
5. 4(火)	ゴールデンウィークのためお休み				
5. 11(火)	7	3	1	11	
5. 18(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
5. 25(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
5月	1回	7	3	1	11
6. 1(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
6. 8(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
6. 15(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
6. 22(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
6. 29(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
6月					
7. 6(火)	8	3	1	12	
7. 13(火)	8	2	1	11	
7. 20(火)	8	3	1	12	
7. 27(火)	4	3	1	8	
7月	4回	28	11	4	43
8. 3(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
8. 10(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
8. 17(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
8. 24(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
8. 31(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
8月					
9. 7(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
9. 14(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
9. 21(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
9. 28(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
9月					
上半期計	9回	69	25	9	103
10. 5(火)	8	2	1	11	
10. 12(火)	9	3	1	13	
10. 19(火)	6	3	1	10	
10. 26(火)	7	3	1	11	
10月	4回	30	11	4	45
11. 2(火)	9	3	1	13	
11. 9(火)	6	3	1	10	
11. 16(火)	7	3	1	11	
11. 23(火)	スタッフさん都合によりお休み				
11. 30(火)	7	2	2	11	
11月	4回	29	11	5	45
12. 7(火)	5	3	1	9	
12. 14(火)	7	3	1	11	
12. 21(火)	8	3	1	12	
12. 28(火)	年末のためお休み				
12月	4回	20	9	3	32
1. 4(火)	7	3	2	12	
1. 11(火)	6	3	2	11	
1. 18(火)	6	3	2	11	
1. 25(火)	コロナウイルス拡大によりお休み				
1月	3回	19	9	6	34
2. 1(火)	コロナウイルス拡大によりお休み				
2. 8(火)	コロナウイルス拡大によりお休み				
2. 15(火)	コロナウイルス拡大によりお休み				
2. 22(火)	コロナウイルス拡大によりお休み				
2月	0回				
3. 1(火)	8	2	1	11	
3. 8(火)	コロナウイルス拡大によりお休み				
3. 15(火)	7	3	1	11	
3. 22(火)	コロナウイルス拡大によりお休み				
3. 29(火)	4	3	1	8	
3月	3回	19	8	3	30
下半期計	18回	117	48	21	186
年間合計		186	73	30	289

いっ福

開催日・回数	参加者(名)	協カスタッフ(名)	包括職員(名)	合計(名)	
4. 1(木)	4	1	1	6	
4. 8(木)	4	1	1	6	
4. 15(木)	5	1	1	7	
4. 22(木)	4	1	1	6	
4. 29(木)	笠原コミュニティセンターお休み				
4月	4回	17	4	4	25
5. 6(木)	4	1	1	6	
5. 13(木)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
5. 18(木)					
5. 25(木)					
5月	1回	4	1	1	6
6. 3(木)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
6. 10(木)					
6. 17(木)					
6. 24(木)					
6月					
上半期計	5回	21	5	5	31

※7月以降は、参加者の都合により中止。

生活支援体制整備事業報告

1 地域における体制整備に向けての、上半期(4～9月)の成果・課題

(成果)

- ・でん伝体操の継続支援。現在、29会場で実施。9月は緊急事態宣言の影響により16会場が中止した。再開時には、今後のことも踏まえ各会場の状況把握も含め、自宅でもできる簡単な運動を掲載した波音の配布を行った。
- ・松原研修センターにて、でん伝体操立位偏開始に伴い支援をした。
- ・各圏域の第2層生活支援コーディネーターで行う広報、「街かどいきいき通信」の取材・作成を行った。7月は浅羽・笠原地区担当となり浅羽防災センターのでん伝体操を掲載した。
- ・浅羽、浅羽南見守りネットワークの会議(隔月)に参加し、見守り必要な人の情報交換を行う。
- ・生活支援ネットワークの会議(隔月)に参加し、状況把握に努める。
- ・生活支援ネットワーク移動支援部会の会議(毎月)に参加し、状況把握に努め始動に向けて取り組んでいる。
- ・浅羽・笠原地区2層協議体定例会にて、「フレイルとは」と題して協議体メンバーでフレイルについて学び、コロナ禍での対応方法や自身で取り組めそうなこと、自身の立場で取り組めそうなことについて考えた。
- ・コロナ前と現在で生活様式がどのように変わったか、住民に対してアンケートを実施。2回目の2層協議体定例会で活用する。

(課題)

- ・担い手育成について不十分。
- ・各地区の現状把握が不十分。SCとして介入できていない部分が多々ある。
- ・でん伝参加者の減少が進んでいる。

2 地域における体制整備に向けての、下半期(10～3月)の成果・課題

【成果】

10月より笠原地区で活動している居場所「茶ちゃ処」の活動場所が移転することに伴い、助成金獲得のための支援をした。助成金は獲得でき、台所の修繕費に使用し、現在新しい場所で活動している。

毎月行う移動支援部会の会議の参加し、企画案が完成に近づき、令和4年7月～9月の3か月間実証実験を行う予定となった。

生活支援ネットワークの笠原地区、浅羽北地区の支援員交流会にて、認知症の方に対する対応方法を教えてほしいと依頼があり、資料を作成し発表した。

現在行われているでん伝体操31会場へ波音の配布等、継続的な支援を行った。

2層協議体でフレイルについて考え、最終的に2層協議体メンバーで住民に対して「フレイル」と浅羽・笠原地区で活動している「居場所や通いの場」の広報を行い、協議体メンバーで情報発信しながら情報共有ができる体制づくりをしていくこととなった。

【課題】

コロナウイルスの感染拡大において、でん伝体操や居場所が中止となってしまうそのまま活動を終了した場所が1会場あり。人数が少ない場所においては、サポーター・参加者共にモチベーションを維持することが難しい状態にあるため、再開と同時にリハ職出張指導の紹介や体力測定等、定期的に訪問し、活動を継続できるよう支援していく。

でん伝体操においては全体的に参加者が減少している。波音にでん伝体操の告知を入れる等、住民へ周知していく。

令和3年度でん伝体操実績(延べ)

開催場所	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
浅羽北 コミュニティセン	回数	5	4	4	3	4	4	5	4	4	4	3	4	48
	人員	48	30	32	26	30	35	38	34	20	28	25	30	376
浅羽西 コミュニティセン	回数	4	3	5	4	3	2	4	3	4	4	3	5	44
	人員	16	17	23	18	13	5	22	16	18	21	16	26	211
浅羽東 コミュニティセン	回数	4	1	0	4	2	/	4	3	4	3	/	2	27
	人員	72	20	0	84	24	/	99	67	96	71	/	42	575
幸浦 コミュニティセン	回数	5	4	4	5	4	5	3	4	4	4	4	5	51
	人員	49	34	35	48	31	39	47	57	56	49	42	62	549
笠原 コミュニティセン	回数	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	5	48
	人員	21	23	32	25	18	29	20	46	54	54	48	31	401
諸井公会堂	回数	5	2	/	/	/	/	/	3	4	1	/	/	15
	人員	86	36	/	/	/	/	/	54	68	18	/	/	262
山の手公会堂	回数	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	4	51
	人員	49	34	35	48	31	39	31	35	34	36	28	35	435
浅羽防災センター	回数	4	5	4	4	3	/	4	5	4	3	/	2	38
	人員	102	126	103	92	89	/	98	117	95	60	/	43	925
馬場集会場	回数	9	9	8	9	7	8	8	9	8	8	8	9	100
	人員	81	71	65	75	60	71	65	80	60	65	51	66	810
浅羽南集会場	回数	4	4	5	4	4	5	4	4	5	4	4	5	52
	人員	39	39	54	42	39	49	41	41	52	42	44	60	542
弥太井集会場	回数	5	4	4	5	2	1	4	4	5	3	/	5	42
	人員	33	31	29	37	15	8	31	28	34	19	/	27	292
浅名研修センター	回数	4	4	4	4	1	/	4	8	7	5	/	/	41
	人員	91	98	79	69	14	/	87	136	126	91	/	/	791
豊住公会堂	回数	4	5	4	5	2	/	4	4	4	4	/	/	36
	人員	64	88	67	75	28	/	56	56	61	24	/	/	519
長溝公会堂	回数	4	4	2	4	3	/	4	5	4	3	/	2	35
	人員	94	82	42	81	53	/	101	120	92	72	/	43	780
一色公会堂	回数	4	4	5	4	5	/	/	/	/	/	/	/	22
	人員	20	17	24	20	21	/	/	/	/	/	/	/	102
中公民館	回数	5	4	4	5	2	/	4	4	4	4	2	3	41
	人員	52	41	44	40	16	/	42	41	37	37	18	27	395
富里中公民館	回数	4	3	5	4	3	/	4	4	4	2	/	4	37
	人員	49	35	55	43	24	/	36	38	35	17	/	32	364
下富公会堂	回数	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	5	52
	人員	59	52	54	69	47	60	53	46	54	54	48	57	653
西ヶ崎公会堂	回数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0
	人員	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0
新堀公会堂	回数	2	/	/	/	/	/	/	2	2	/	/	/	6
	人員	38	/	/	/	/	/	/	33	32	/	/	/	103
梅山公会堂	回数	/	/	/	/	/	/	4	5	3	/	/	/	12
	人員	/	/	/	/	/	/	68	72	47	/	/	/	187
松原研修センター	回数	4	5	4	5	4	3	5	4	4	4	4	4	50
	人員	55	62	45	55	31	27	45	34	29	29	18	27	457
初越公会堂	回数	2	2	2	2	1	/	1	2	2	1	/	1	16
	人員	22	26	24	19	9	/	19	18	19	13	/	12	181
東同笠公会堂	回数	4	4	/	/	/	/	/	4	5	3	/	/	20
	人員	48	48	/	/	/	/	/	50	48	30	/	/	224
湊西公会堂	回数	3	3	5	3	2	/	4	4	4	1	/	/	29
	人員	20	15	27	15	10	/	21	21	19	4	/	/	152
大野研修センター	回数	4	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	5	52
	人員	53	42	63	43	47	31	40	57	41	39	40	53	549

中新田公会堂	回数													0
	人員													0
五十岡公会堂	回数	2	2	2	1	1		1	2	2	1	2	2	18
	人員	16	9	12	5	3		8	12	13	7	12	12	109
西区公会堂	回数	5	3		5	3		4	4	4	3		5	36
	人員	71	32		66	34		60	56	63	50		60	492
上区公会堂	回数	4	4	4	4	3		4	4	3				30
	人員	50	43	31	46	24		61	56	38				349
東区公会堂	回数													0
	人員													0
下区公会堂	回数	3	3	3	2			3	3	2	2		1	22
	人員	21	21	21	13			17	22	11	13		6	145
笠原老人福祉 センター	回数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	35
	人員	22	19	16	14	18	20	41	35	33	23	29	40	310
三輪公会堂	回数	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	5	51
	人員	64	52	71	52	58	72	58	55	47	51	45	56	681
合計	回数	124	109	103	111	82	54	105	122	119	89	53	86	1157
	人員	1,746	1,243	1,083	1,220	787	485	1,305	1,533	1,432	1,017	464	847	12,921

ひなた 令和3年度 事業報告

総括

2年目のコロナ禍ではあったものの、毎月の平均収入625万と、昨年に引き続き好調な売り上げを維持出来た。利用待機者が10名を超える月があるなど、小規模の需要も高まっていると感じる。年度当初からGHひなたへ8名の利用者様が移動されたが、登録者25名を下回る事無く営業を続ける事が出来、目標を達成する結果となった。

業務としては2つの大きな変更があった。1つ目は食事業者の変更。クックチル方式となり、質が下がらないか気がかりであったが、味については利用者様からの評価も高く安堵している。発注等苦勞する点も有るが、行事食の提供やプレートランチなど、食事に楽しみを添える事も出来ている。2つ目はケアカルテの導入。初めは機械になれる所からのスタートであったが、職員の対応力も高く、順調に移行が進んでいる。記録時間の短縮など業務改善にも繋がっている。PCやモバイルに慣れ、電子化された記録の有効活用が次の目標である。

11月には袋井市の実地指導を受けたが大きな指摘事項も無く、日々の点検や記録をきちんと整理しておく事の大切さを感じた。

マイナス面として2点。1つは職員不足。10月に正職1名、3月にフルパート1名が退職となったが、人員補充が全く進まなかった。職員一人一人の負担も大きく、利用者様の登録者数を増やせない状況が続いている。職員確保を急ぐ中、辞めない職場環境作りにも配慮が必要。2つ目は3月に事業所内で新型コロナウイルス感染が起きてしまった事。幸い職員からではなかったが、5名迄感染が拡がり5日間通常営業をストップするなど、各方面に大きな影響を与えてしまった。安心安全に利用出来る施設作りを目指し、感染対策、BCP作りを進めて行きたい。

- 利用者
- ・開設後の延べ実利用者数は217名(令和3年度新規15名)となった。
 - ・利用者様の平均介護度 年間平均 2.21 昨年度 2.08
 - ・登録定員に対する稼働率は 88.3% (昨年は87.3%)であった。
 - ・短期利用は無かった。生活保護受給利用者様の利用がある。

- 財務
- ・月の売り上げ目標 570万円に対し、月平均は625万円であった。昨年の月平均は620万円であった事を考えると、5万円程増収となった。
 - ・月次売上 最高685万円 最低510万円 2月、3月と入院が重なり登録者数が減少したが、その他は600万円以上をキープ出来た。
 - ・年間の収支としては プラス 549万円であった。

- 職員
- ・9月から半日(4時間)パート1名を採用。12月末に正規職員1名、3月末にフルパート職員1名が退職となった。
 - ・管理者がGHと兼務の形となっている。GH職員との協力体制を形にしていきたい。
 - ・現状2名の職員を募集しているが、応募が乏しく補充が進まない。

- 事業所
- ・4月より食事業者がグリーンハウスからフードデリへ変更となった。クックチル方式となり、冷凍真空パックの副菜をスチーマーで温め提供している。
 - ・ケアカルテの導入を進めた。記録、ご家族への連絡表など現場サイドでの運用も進め、業務改善に繋がっている。
 - ・3月、施設内で新型コロナウイルス感染が発生。5名迄感染が拡大し5日間通常営業を中止した。行政や各方面とも協力して終息を目指した。日常の感染対策の見直しを講じた。

- 地域
- ・運営推進会議を年1回開催した。5回はコロナウイルス感染拡大により中止とした。
 - ・コロナ禍で地域との関わりは殆どとれていない。
 - ・車内からの降りない形でのドライブ、マスクをつけての散歩など、感染対策に配慮しながら外出する機会を設けた。
 - ・訪問やお迎え時など、外部の方と接する際には積極的に挨拶等行うよう心掛けた。

ひなた 令和3年4月 ～ 令和4年3月 報告

1 事業所

事業所名 ひなた
 サービス種類 小規模多機能型居宅介護
 (袋井市指定 第2297300036号)
 事業所住所 袋井市浅羽84-7
 利用登録定員 29名 (通い18名/日 宿泊 9名/日)
 介護理念 「ともに笑って ともに歩いて」

2 利用者の状況

(1) 登録利用者

年・月	利用登録人員		支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	平均介護度	延登録実員
令和3年4月末	+3	25	男 7	0	0	1	1	1	4	2.38	208
	-4		女 18	1	2	7	1	3	3		
5月末	+4	25	男 8	0	0	2	1	1	4	2.26	212
	-4		女 17	1	2	6	4	0	3		
6月末	+1	26	男 8	0	0	2	1	1	4	2.28	213
	0		女 18	1	2	7	3	0	4		
7月末	0	26	男 8	0	0	2	1	1	4	2.32	213
	0		女 18	1	2	6	4	0	4		
8月末	+1	26	男 8	0	0	2	1	2	3	2.28	214
	-1		女 18	1	2	6	4	0	4		
9月末	0	26	男 8	0	0	2	1	2	3	2.28	214
	0		女 18	1	2	6	4	0	4		
10月末	0	26	男 8	0	0	2	1	2	3	2.28	214
	0		女 18	1	2	6	4	0	4		
11月末	+3	28	男 9	0	0	2	2	2	3	2.10	217
	-1		女 19	2	2	7	4	0	3		
12月末	0	26	男 8	0	0	2	2	1	2	2.16	217
	-2		女 18	1	2	7	4	0	3		
令和4年1月末	+1	26	男 8	0	0	2	2	2	2	1.94	218
	-1		女 18	1	2	7	4	0	3		
2月末	0	25	男 7	0	0	2	2	2	0	2.06	218
	-1		女 18	1	2	7	4	0	3		
3月末	0	23	男 6	0	0	2	2	1	0	2.02	218
	-2		女 17	1	2	7	3	0	3		

(2) 利用者平均年齢

R4.3.31

男	80歳～87歳	83.5	83.4
女	77歳～91歳	83.4	

(3)利用者の住所地

R4.3.31

諸井	浅羽	浅名	豊住	浅羽一色	富里	浅岡	中	西ヶ崎
0/17	2/19	1/10	2/6	0/2	1/6	2/8	1/3	0/2
長溝	梅山	松原	太郎助	東同笠	大野	湊	岡崎	山崎
1/2	2/15	0/11	0/2	1/5	0/7	3/12	0/8	0/13
新屋	川井	高尾	横井	田町	下山梨	神長	広岡	栄町
0/1	0/1	1/3	0/1	0/1	0/1	0/2	0/1	0/1
清水町	久能	小川町	睦町	松袋井	青木町	新池	国本	袋井
0/1	0/1	0/1	1/1	0/1	1/1	1/2	1/2	0/1
豊沢	木原	砂本町	泉町	鷺巣	方丈	中新田	西同笠	
0/2	0/2	0/2	0/1	0/1	2/3	0/1	0/3	

(4)利用者の利用開始時世帯状況

R4.3.31

	一人暮らし	老老世帯	同居				
			子	子の子	兄弟姉妹	他親戚	他人等
全利用者	58	26	125	1	2	2	0
現利用者	9	3	11	0	0	0	0

(5)利用解除の直接理由

R4.3.31

	病院入院	療養型入院	特養入所	老健入所	GH入所	その他の施設入所	他在宅サービス	サービス利用なし
本年度	4	0	1	0	9	0	1	0
全 計	94	3	44	9	36	4	11	8

	死亡	転居
本年度	1	0
全 計	14	1

3 サービスの提供状況

年・月	対象 日数	サービス回数		1日平均数		利用者1人あたりのサービス提供数		
			日中人数	日中人数	夜間人数	月	日	週
令和3年 4月	787	通	246	436	14.53	31.31	1.13	7.91
		通泊	173					
		泊	17	8.83				
		訪問	265					
5月	784	通	250	417	13.45	29.93	1.11	7.77
		通泊	148					
		泊	19	9.16				
		訪問	284					
6月	777	通	253	394	13.13	30.89	1.03	7.21
		通泊	124					
		泊	17	8.65				
		訪問	268					
7月	805	通	253	404	13.03	34.69	1.12	7.84
		通泊	134					
		泊	17	11.19				
		訪問	347					
8月	828	通	261	414	13.35	36.54	1.15	8.05
		通泊	127					
		泊	26	12.35				
		訪問	383					
9月	780	通	281	402	13.40	32.12	1.07	7.49
		通泊	104					
		泊	17	10.4				
		訪問	312					
10月	796	通	295	420	13.55	31.69	1.04	7.28
		通泊	108					
		泊	17	9.0				
		訪問	279					
11月	808	通	278	426	14.2	28.59	1.03	7.21
		通泊	131					
		泊	17	8.5				
		訪問	255					
12月	801	通	265	431	13.90	31.43	1.10	7.70
		通泊	148					
		泊	18	9.13				
		訪問	283					
令和4年 1月	800	通	236	420	13.55	31.89	1.08	7.56
		通泊	165					
		泊	19	8.29				
		訪問	257					
2月	689	通	260	378	13.5	28.19	1.06	7.42
		通泊	102					
		泊	16	8.46				
		訪問	237					
3月	711	通	199	326	10.52	27.71	0.94	6.58
		通泊	114					
		泊	13	6.84				
		訪問	212					

4 職員の配置状況

職種	基準等	専従	兼務
管理者	・常勤専従、支障なければ兼務可 ・経験、研修修了		(常勤) 1
計画担当	・専従、支障なければ兼務可 ・研修修了	(常勤) 1	(常勤)
介護従事者	・常勤換算法で通いの利用者3人に対し 1人以上、訪問要員常勤換算法で2人 以上 ・夜間2人以上、うち1人は宿直勤務可 ・1人以上は常勤 ・1人以上が看護、准看護師	(常勤) 5 (非常勤) 7	(常勤) 1 (非常勤)

*介護福祉士の数 9名 (別紙:介護福祉士の割合50%以上)

本年度の異動					
採用・法人内異動			退職・法人内異動		
	4/1～	新規採用		9/27～	法人内異動
	9/1～	新規採用		12月31日	退職
	10/4～	法人内異動		3月31日	退職

5 サービスの内容(利用者の介護)

通い	利用者の身体介護(入浴、食事、おやつ、排泄、口腔清拭、静養、整容など) 余暇指導(散歩、ドライブ、ゲーム、体操、歌唱、手芸、ドリルなど) 受診介助 バイタル測定 希望時間での送迎 季節行事 個別リハビリ 行動見守り
訪問	利用者宅での室内・トイレ清掃、服薬等の確認、食事づくり、買い物、バイタル測定 受診の介助 通い準備 排泄等の介助 洗濯物整理等 着替え・整容介助 薬のセット 自宅周辺の散歩
泊まり	夜間の身体介護 行動の見守り

6 行事および地域との関係

(1) 行事および地域交流

月	日	ひなた行事	日	地域との交流・ふれあい
4	初旬 21 22	桜お花見(送迎時車内より) ここみ理容 "		宝寿 運営推進会議 中止
5	5 下旬	菖蒲湯 福田漁港ドライブ		運営推進会議 中止
6	13 17	ここみ理容 "		宝寿 運営推進会議 中止
7	7 14	七夕飾り ここみ		運営推進会議 中止
8	19	ここみ理容		宝寿 運営推進会議 中止
9	30	ここみ理容		運営推進会議 中止
10	14	ここみ理容		宝寿 運営推進会議 中止
11	7 18 19 21 23 25	防災訓練 芋ほり " 油山寺紅葉ドライブ " お楽しみおやつ(蒸し芋)	27	第64回運営推進会議
12	15 16 24	ここみ理容 " クリスマス会		宝寿 運営推進会議 中止
1	初旬	初詣ドライブ		運営推進会議 中止
2	3 9 10 11	節分 豆まきレク ここみ理容 " "	中旬	宝寿 運営推進会議 中止 まちじゅうひな祭りプロジェクト参加 袋井市よりひな人形レンタル
3	3	ひな祭り ちらし寿司 ひな人形展示		運営推進会議 中止

(2) ボランティア、面会等の受け入れ交流

利用者ご家族の面会、利用者知人の面会、慰問活動の受け入れ(ご家族、慰問団体、個人)
袋井市介護支援ボランティア、芝刈りボランティア、花苗植え替えボランティア

(3) 運営推進会議の開催

回	通算	開催日	参加人数	内容
1	61	令和3年5月15日	中止	
2	62	令和3年7月17日	中止	
3	63	令和3年9月18日	中止	
4	64	令和3年11月27日	8名	ひなたの状況報告 ・ 意見交換
5	65	令和4年1月15日	中止	
6	66	令和4年3月19日	中止	

*グループホーム宝寿さんの推進会議今年度開催なし。

7 防災

月1度の防災点検、防災意識を高めるための防災訓練は年2回実施。
訓練のほかに設備・備品を整える必要が大きい。

*防災設備点検:業者による防災設備の点検

*防災点検:事業所での自主点検(月1回)

*防災訓練:事業所での防災訓練・避難訓練(年2回)

9/19台風対応

11/7総合訓練

8 事例・事故報告・苦情対応

事例報告書 84件:

転倒 9 転落 3 不履行 6 内服不十分 14 私物・持ち物3 ずり落ち 3 業務不注意 6
業務確認・点検不足 6 運転事故 4 介護中外傷発生 6 外傷発見 1 個人情報 6
利用者の認知症行動 5 エスケープ 1 利用者間トラブル1 破損・故障 5 備品紛失
打撲 1 食形態間違い 1 送迎忘れ・間違い 1 個人備品紛失・破損 2

苦情対応 0件: 事故報告 1件:

ヒヤリ・ハット 96件: ニコリ・ホット 24件:

9 身体拘束廃止

静岡県に「身体拘束ゼロ宣言」を届け出ている(平成24年6月)、その後「再宣言」の指導があり、平成28年8月に再宣言している。本年再宣言をした。

現状 ミトン手袋使用者1名有り 記録を取りながら改善に向けた方法を検討している

10 事業所内の清潔保持

毎日の清掃、消毒を心掛けて事業所内、対象物の取り扱いに清潔保持に努めている。

利用者において感染症の発生はなかった。

職員の検便(4回/年)、浴槽水の水質検査を(1回/年)を行なっている。

11 自己評価・外部評価

事業所の自己評価に全職員で取り組み、運営推進会議で報告・意見をいただき公表に結びつける。

利用者のご家族から「利用後のアンケート」に答えてもらっている。

12 事業所整備

防災倉庫設置 VPNルーター設置

13 内部研修・研修の機会

内部研修:

6/25 身体拘束について 10/1 虐待防止について 12/21薬の知識・救急講座
1/28 認知症の方に寄り添うケア

外部研修:

8/25 ACPの現場での対応 10/15 養護者による高齢者虐待防止・高齢者虐待対応研修
10/21 薬の基礎知識 10/29 利用者に心地よく介護者に心地良い介護技術講座
12/6 認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー 2/16利用者家族とのより良い関係作り講座
1/12 社会福祉施設・事業所のBCP

14 介護保険・報酬

(保険給付外のサービスについての単価は変動なし)

令和3年4月の改定に伴なった算定を行なっている。

令和元年10月より 特別処遇改善加算が追加となった

- ・サービス提供体制加算 I イ ・総合ケアマネジメント加算
- ・訪問体制強化加算 ・認知症加算、初期加算
- ・処遇改善加算 I (所定単位に10.12%を乗じた単位数)
- ・特別処遇改善加算(所定単位に1.5%を乗じた単位数)
- ・地区別単価(1単位10.17円) を算定している。

グループホームひなた 令和3年度 事業報告

総括

サービス開始となった本年度。小規模ひなたと同じ「共に笑って・共に歩んで」を施設理念に掲げた。片側ユニット9名から利用者様を迎え、7月に入りようやく18名満床へとこぎつける事が出来た。全てが0からのスタートであったが、先ずは衣・食・住、利用者様の安心・安全の生活を第一に、サービスの土台を作る一年と考えた。毎日が手探りで進む中、土台作りの大切さと大変さを実感した。

職員も中々定着せず、半年も経たずして半数近くが辞めてしまった。新人が新人を教えるような状況の中、サービスの内容や質を考える日々が続いた。おもてなしや利用者様個々への対応力はこれからと感じる。下半期に入り、行事や食事レクなど利用者様に楽しんでいただける企画作りに力を入れられるようになった。一方日々の生活に目を向けると、認知症に特化した施設で有りながら、認知症の対応に遅れを感じる場面もある。研修会や勉強会の開催を重ね、利用者様の生活を充実出来るようにしていきたい。一人一人が活躍できる場面作り、日々の生活の中、リハビリや作業を通じてのADL、QOLの維持も大切な目標である。

職員としても接遇、認知症への対応力向上、リスクマネジメントや急変時の対応等、ケアの基本力向上を図っていききたい。感染症対策、防災など各種マニュアル整備と共に「ひなたらしさ」を作っていけるような2年目を目指したい。

利用者	・開設後の延べ実利用者数	24名(3月31日現在)
	・利用者様の平均介護度 年間平均	2.23
	・登録定員に対する稼働率 年間平均	91.2%
	・入院延べ日数	75日
	・短期利用は無かった。生活保護受給利用者様の利用がある。	

財務	・月の売り上げ目標 710万円に対し、月平均は 653万4千円であった。
	・開園初年度という事も有り、4月は片側ユニット9名から営業をスタートした。7月に入り18名満床となった。入院や入退所も有り、満床100%で稼働出来たのは4か月間に留まった。
	・年間の収支としては プラス 187万2千円であった。
	・初期加算、介護職員処遇改善加算、特定介護職員処遇改善加算に加え、医療連携体制加算、サービス提供体制加算を取得している。

職員	・開園当初18名(管理者1名、看護師1名は小規模多機能と兼務)でスタートしたが8名が退職する形となった。特に上半期は落ち着かず、6名の退職があった。5名の中途採用、法人内での人事異動も行いながら、R4年度は16名(管理者は小規模多機能と兼務)でのスタートとなる。
	・研修会への参加、認知症の内部研修などスキルUPに向けた機会を設けている。参加回数の増加、報告会や勉強会の開催に繋げていきたい。

事業所	・開園に伴い、ボールペン1本購入する所から始まった。営業を進めるに連れ、必要な物品を整備していった。入浴用のリフトチェアも開園当初は用意していなかったが、利用者様の状態に合わせ、年度途中から導入した。
	・食事はフードデリによるクックチル方式を採用。スチーマーを使いながら、盛り付けも工夫し(食器は陶器のものや馴染みのものを使い)食事を楽しみの1つとして提供している。
	・日々の生活の中では、グループホームらしく食事の準備や掃除等、利用者様と一緒にを基本とした。

- ・敷地北側に地主様が壇を作って下さり季節のお花や野菜の苗を植えた。利用者様と一緒に成長を見守り収穫を楽しんだ。袋井市の花工場に応募し、お花の苗をいただいた。
- ・季節に合わせた行事を企画、実施した。納涼祭、運動会、クリスマス会、正月にはおせち料理や餅入りの雑煮も提供した。毎月の誕生会に合わせ、おやつレクなども行っている。
- ・感染症対策として、面会の制限や、外出の自粛、施設内での消毒や換気等、クラスターが発生しないよう取り組んでいる。

- 地域
- ・運営推進会議を年1回開催した。5回はコロナウイルス感染拡大により中止とした。
 - ・コロナ禍で地域との関わりは殆どとれていない。
 - ・車内からの降りない形でのドライブ、マスクをつけての散歩など、感染対策に配慮しながら外出する機会を設けた。

グループホームひなた 令和3年4月 ～ 令和4年3月 報告

1 事業所

事業所名 グループホームひなた
 サービス種類 認知症対応型共同生活介護
 (袋井市指定 第2297300101号)
 事業所住所 袋井市浅羽84-9
 入居定員 18名
 介護理念 「ともに笑って ともに歩んで」

2 利用者の状況

(1) 登録利用者

年・月	利用登録人員		支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	平均介護度	延登録実員
令和3年4月末	+9	8	男 3	0	0	2	0	0	1	2.63	9
	-1		女 5	0	0	0	3	2	0		
5月末	+7	14	男 6	0	0	3	1	0	2	2.07	16
	0		女 9	0	0	3	2	3	0		
6月末	+3	16	男 6	0	0	2	2	0	2	2.12	19
	-1		女 10	0	0	3	4	3	0		
7月末	+1	18	男 6	0	0	2	2	0	2	2.09	20
	0		女 12	0	0	4	5	3	0		
8月末	0	18	男 6	0	0	2	2	0	2	2.11	20
	0		女 12	0	0	4	5	2	1		
9月末	0	18	男 6	0	0	3	1	0	2	2.33	20
	0		女 12	0	0	3	4	3	1		
10月末	0	18	男 6	0	0	2	1	0	3	2.33	20
	0		女 12	0	0	3	4	3	1		
11月末	+1	18	男 6	0	0	2	1	0	3	2.33	21
	-1		女 12	0	0	3	5	3	1		
12月末	0	18	男 6	0	0	2	1	0	3	2.33	21
	0		女 12	0	0	3	5	3	1		
1月末	+1	18	男 6	0	0	2	1	0	3	2.33	21
	-1		女 12	0	0	3	5	3	1		
2月末	+1	17	男 4	0	0	1	1	0	2	2.25	22
	-2		女 13	0	0	4	5	3	1		
3月末	+1	18	男 4	0	0	1	2	0	2	2.22	24
	-1		女 13	0	0	4	5	3	1		

(2) 利用者平均年齢

R4.3.31

男	60歳～96歳	85.0	84.2
女	74歳～95歳	84.7	

(3)利用者の住所地

R4.3.31

諸井	浅羽	豊住	富里	浅岡	湊	山崎	豊沢	川井
2/2	2/3	0/1	1/1	0/1	2/2	1/2	1/2	1/1
旭町	神長	上山梨	睦町	泉町	鷺巣	愛野東	高尾	堀越
1/1	1/1	0/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1

(4)利用者の利用開始時世帯状況

R4.3.31

	一人暮らし	老老世帯	同居					
			子	子の子	兄弟姉妹	親	他親戚	他人等
全利用者	7	3	12	0	1	1	0	0
現利用者	7	2	8	0	1	1	0	0

(5)利用解除の直接理由

R3.3.31

	病院入院	療養型入院	特養入所	老健入所	その他の施設入所	死亡		
本年度	0	1	1	2	0	2		
全 計	0	1	1	2	0	2		

3 職員の配置状況

職種	基準等	専従	兼務
管理者	・常勤専従、支障なければ兼務可 ・経験、研修修了		(常勤) 1
計画担当	・専従、支障なければ兼務可 ・1名は研修修了	(常勤)	(常勤) 1 (非常勤) 1
介護従事者	・常勤換算法で通いの利用者3人に対し 1人以上 ・夜間ユニット毎に1名	(常勤) 10 (非常勤) 4	(常勤) (非常勤)

*介護福祉士の数 4名

本年度の異動					
採用・法人内異動			退職・法人内異動		
甲斐智央	7月12日	新規採用	鈴木久美子	5月31日	退職
中原美樹	8月4日	新規採用	金原萌香	7月9日	退職
蒔田立子(NS)	8月17日	新規採用	鈴木名衣子	7月30日	退職
堀内未歩	9月16日	新規採用	山本怜	8月30日	退職
安田泉(派遣)	9月1日	新規採用	堀池洋平	8月31日	退職
岩瀬竜太	9月27日	小規模より異動	伊藤夢美	8月31日	退職
鈴木義昭	2月1日	紫雲より異動	原木邦子	10月4日	小規模へ異動
水間貴子	12月11日	包括より異動	安田泉	2月1日	紫雲へ異動
			北川和子	3月31日	退職
			阿部光子	3月31日	退職

4 行事および地域との関係

(1) 行事および地域交流

月	日	ひなた行事	日	地域との交流・ふれあい
4	初旬 下旬	桜お花見(散歩) こいのぼり見学ドライブ(里山)		宝寿 運営推進会議 中止
5	中旬 27	渚の交流館ドライブ ここみ理容		運営推進会議 中止
6	9 25	誕生会(デザート作り) ここみ理容		宝寿 運営推進会議 中止
7	7 26	七夕飾り ここみ理容		運営推進会議 中止
8	3 11 23 24	おやつレク(ホットケーキ作り) 盆供養 夏祭り ここみ理容		宝寿 運営推進会議 中止
9	20 誕生会 24	敬老会 誕生会 ここみ理容		運営推進会議 中止
10	9 24 25	運動会 おやつレク(ホットケーキ作り) ここみ理容		宝寿 運営推進会議 中止
11	5 15 15	芋ほり ここみ理容 おやつレク(蒸しパン作り)	27	運営推進会議 第4回
12	13 16 21 24 年末	お鍋会(おでん) 誕生会・おやつレク (ケーキにフルーツ、生クリームデコレーション) ここみ理容 クリスマス会 大掃除		宝寿 運営推進会議 中止
1	元旦 1~3 11 21	おせち料理 正月レク(福笑い) 鏡開き(お汁粉) ここみ理容		運営推進会議 中止
2	3 17	節分レク ここみ理容		宝寿 運営推進会議 中止
3	25 30 31	ここみ理容 お花見ドライブ 〃		運営推進会議 中止

令和4年度 グループホームホーム ひなた利用実績報告

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間		
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	日数	点数	
要介護1 (573)	2	56	6	161	6	178	6	168	6	185	6	180	6	186	5	150	5	155	5	155	7	152	5	155	1881	1414512	
要介護2 (641)	4	91	4	110	6	151	7	210	7	217	5	150	5	155	6	173	6	186	6	186	5	140	7	184	1953	1537011	
要介護3 (712)	2	57	3	85	3	90	3	93	2	62	3	90	3	93	3	90	3	93	3	93	3	84	3	93	1023	829653	
要介護4 (780)	1	29	2	62	2	60	2	62	3	93	3	90	3	93	4	120	4	124	4	124	4	107	3	93	1057	874139	
要介護5 (847)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	30	1	31	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	62	52328	
計	9	233	15	418	17	479	18	533	18	557	18	540	18	558	19	534	18	558	18	558	19	483	18	525	5976	4707643	
加 算	医療連携体制I	233		418		479		533		557		540		558		534		558		558		483		525		5976	233064
	サービス提供体制	233		418		479		533		557		540		558		534		558		558		483		525		5976	35856
	初期(30)	233		196		90		66		23		0		0		23		7		0		2		57		697	20910
家賃	233		418		479		533		557		540		558		534		558		558		483		525		5976		
家賃(生保)	0		23		30		31		31		30		31		30		31		31		28		31		327		
食費・水道光熱費	233		418		479		533		557		540		558		534		558		558		483		525		5976		
稼働率	43.15%		74.91%		88.70%		95.52%		99.82%		100.00%		100.00%		98.89%		100.00%		100.00%		95.83%		94.09%		90.96%		
平均介護度	2.25		2.11		2.07		2.09		2.11		2.33		2.33		2.34		2.33		2.33		2.30		2.24		2.24		
新入所数	9		7		3		1		0		0		0		1		0		0		1		2		24		
退所者数	1		0		1		0		0		0		0		1		0		0		2		1		6		
入院人数/日数	1	7	1	15	1	30	1	8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	1	9	75	
空床	307		140		61		25		1		0		0		6		0		0		21		33		594		

令和3年度 ルンビニこども園 実績報告書

1. 各月初日現在年齢別措置児童数 (定員 100名)

年齢 / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0 歳 児	4	7	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	101
1 歳 児	15	16	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17	196
2 歳 児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16	201
1号認定	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	13
3 歳 児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
1号認定	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
4 歳 児	17	17	17	17	18	17	17	17	17	17	17	17	205
5 歳 児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
合 計	93	97	100	100	101	100	100	101	101	101	101	101	1,196

各月初日平均年齢別措置児童数 100人 対定員充足率 100%

保育時間

教育時間	9時00分～14時00分
通常保育	8時30分～16時30分
延長保育	7時00分～19時00分
土曜保育	7時30分～17時30分

19時までの延長保育利用は見られず、ほぼ毎日18時30分頃には降園完了していた。

保育担当者

年齢毎にクラスを編成し、各々に担任保育教諭を配置し保育・教育を展開

3月末保育園児数と保育教諭

歳 児 別	ク ラ ス	園 児 数	保 育 士 数
0 歳 児	ひよこ組	9名	3名
1 歳 児	りす組	17名	3名
2 歳 児	うさぎ組	18名	3名
3 歳 児	きりん組	22名	2名
4 歳 児	ぼんだ組	17名	2名
5 歳 児	ぞう組	18名	2名
給食室	栄養士		2名
	調理師		2名
以上児、未満児クラス	副主幹		1名
事務室	園長・主幹		3名
計		101名	23名

2. 保育内容

保育目標でもある「健やかな心を育てる」ため、年間を4期に分けて年齢別に全体的な計画を園長と主幹保育教諭が協議して定め、中期計画(月案)、短期計画(週案)は全体的な計画に基づいて各担任保育教諭が定め、計画に従って日々の保育・教育を実践した。

- * 自然観察・・・朝顔・夏野菜・チューリップの植栽。プランターでの夏野菜の栽培
園外散歩では道端の草花や虫を見つけ、季節を感じられるように活動した。
- * お年寄りとの交流・・・手作りのカードを「紫雲の園」誕生会にプレゼントした。
- * 鼓隊活動・・・リズム感を養い、互いに協力・連帯する心を養うようにした。
- * 体育指導・・・バランスのとれた体力向上と敏捷性を養うため外部講師を招き実施。
マット、跳び箱、鉄棒、水泳、なわとび、サッカー、ドッチボール等に挑戦。
- * 英語で遊ぼう・・・月1回英単語で遊ぶ時間を作り、英語という言葉の存在を知らせた
- * 園外散歩・・・歩く力を付け、交通ルールを知るため園外に出かけた
- * 食育・・・食事に対する「感謝のこころ」を育てていった
朝礼の際「心育て」と共に「食育」関連の紙芝居を取り入れた
年長児はとうもろこしやゆで卵の皮むき、野菜を使いクッキングを楽しんだ

3. 行 事

養護と教育を両立し、子どもにとって最善の学び、成長となるよう以下の行事を実施した。

4 月	*入園式、進級式（釈尊花まつり） ・春期健康診断 ・朝顔、夏野菜の植栽
5 月	・検尿検査 ・こどもの日の祝い ・にこにこ水泳（4・5歳児） ・おはなしマラソン ・不審者対応避難訓練
6 月	・水遊び ・歯科検診 ・にこにこ水泳（4・5歳児） ・交通安全教室 ・花火教室
7 月	・納涼祭 ・七夕まつり、スイカ割り
8 月	
9 月	・避難訓練（洪水）
10月	*運動会 ・おつきみ会 ・秋期健康診断 ・チューリップの球根植え *保育参加 ・歯科指導
11月	・七・五・三の祝い ・あさば東子ども園との交流
12月	・釈尊成道会 ・おもちつき ・クリスマス会 ・ようこそ図書館へ ・不審者対応避難訓練 *はっぴょう会
1 月	
2 月	・豆まき会 ・涅槃会 ・入園説明会 *0、1歳児親子ふれあいの会
3 月	・ひなまつり ・お別れ会 ・修了式 *保育証書授与式 ・卒園遠足

◎ *印 = 親子参加行事

◎ 毎月・・・避難訓練、身体測定

月2回・・・体育指導（5、4、3、歳児）

月1回・・・英語指導（5、4歳児）茶道指導（5、4歳児 11月より）

4. 給 食

育ち盛りの幼児にとって必要な栄養量を摂取させることは大切な事であるから、献立の作成にあたってはその点に十分留意しながら栄養のバランスを考慮し、朝・夕との関連もあるので献立表の家庭への配布や必要に応じて栄養指導を実施した。又、食物アレルギーの体質の園児に対しては、医師の診断書を提出してもらい、除去食、代替食に努めた。楽しく食事ができるように味付け、彩り等を工夫し、正しく食事する事は生活習慣の重要な部分を占め、園の目標である「感謝の心」を育てるよい機会であるから、食事をいただけることに感謝しながら正しく食事する態度を身につけさせるよう努めた。

保育園給食で人気のあった献立レシピを玄関に常備、自由に持ち帰るようにし、活用されている。又、食事年間指導計画作って、夏野菜（トマト、ピーマン、きゅうり、なす 等）の栽培、収穫をして給食室やクラスで調理して食べた。

調理員は給食管理研修会、県保育士会主催研修会に参加し研修した。

* 年4回、各1週間づつ、歳児別嗜好調査を実施。こども達の嗜好を園全体の職員で把握するよう努めた。

《 一日あたり平均栄養価摂取量 》 令和3年度

	3 歳 未 満 児		3 歳 以 上 児	
	熱 量	蛋 白	熱 量	蛋 白
基 準	4 6 7 kcal	1 7 . 5 g	5 7 2 kcal	2 1 . 4 g
摂 取 量	5 0 8 kcal	1 9 . 7 g	5 8 5 kcal	2 1 . 6 g

《 一日あたり平均給食費 》 令和3年度

3 歳未満児	2 4 7 円	3 歳以上児	2 7 3 円
--------	---------	--------	---------

5. 健康管理

嘱託医(岩本医師)による入所時健康診断、前期・後期健康診断を実施

まきの歯科クリニックによる歯科検診を1回実施

尿検査を実施

身長、体重の測定を毎月実施

乳歯から永久歯に変わる3歳児から6歳児のフッ素洗口を毎日実施。

* 前期健康診断	4月13日	* 後期健康診断	10月 6日
* 歯科検診	6月10日		
* 尿検査	5月26日		

6. 非常災害対策

* 交通安全指導(指導員) 6月4日 * 普通救命講習会 10月20日

* 防火指導(消防署署員) 6月15日

毎月一回火災・地震等想定した防災訓練を実施

洪水を想定した避難訓練を実施

毎朝の遊具点検を実施

電気及びガス等の危険物設備は月一回安全点検表により点検を実施

消防設備については業者に委託して点検を実施

大規模震災への対応として園内すべての家具等に転倒防止処置

非常時用備蓄食品の在庫ノートと3日間分の食事の献立の作成。

7. 感染症の動向

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
水痘													
伝染性膿痂疹 (とびひ)													
手足口病													
突発性発疹			3		1		3						7
伝染性軟属腫 (水いぼ)													
帯状疱疹													
感染性胃腸炎													
ウイルス性胃腸炎				1						2	5		8
アデノウイルス 感染症										1			1
ロタウイルス 感染症													
マイコプラズマ 肺炎													
RSウイルス				8									8
ヘルパンギーナ				1			1						2
咽頭結膜熱 (プール熱)					1								1
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)													
溶連菌感染症													
インフルエンザ (A)													
インフルエンザ (B)													
ヘルペス													
伝染性紅斑 (りんご病)													
コロナウイルス感染症						1						35	36
合計	0	0	3	10	2	1	4	0	0	3	5	35	63

○ 3月にコロナウイルス感染症に感染する子がとても多かった。

8. 【ヒヤリ・ハット】報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子どもの危険行為		1		11	1		1	1					15
環境不備		2		3	1	1		1		1		1	10
保育者の対応				7	2		1						10
不審者													
その他													
合計	0	3	0	21	4	1	2	2	0	1	0	1	35

《子どもの危険行為》

- ・ 登園時、母親が保育室に入った後一人で玄関から飛び出した
- ・ 友だちが背中を押したのでピアノに頭をぶつけそうになった
- ・ トイレのドアを中から勢いよく開けたため外にいた子どもに当たりそうになった
- ・ 大きな楽譜を子どもが運ぼうとした際壁掛け時計に当たり時計が落ちて割れた
- ・ 給食室のガラス窓をノックした
- ・ 乳児の絵本棚に登ろうとした
- ・ タオル掛けに掛かっているタオルをひっぱったのでタオル掛けが倒れそうになった

《環境不備》

- ・ 劣化して軟らかくなったいた木の積み木を噛みちぎった
- ・ マラカスの中身が飛び散ってしまった
- ・ 洗濯ばさみのつまみ部分が破損し飛び散った
- ・ 転倒防止シートが劣化していて棚が倒れそうになった
- ・ 木製机の脚部分の一部が割れて落ちていた。

《保育者の対応》

- ・ 給食を作っている際に使っていた包丁が足下に落ちた
- ・ ベビー棟園庭に出る際一人で階段を下りた
- ・ 人数確認を怠り、一人園に置いて散歩に出掛けてしまった
- ・ 鍵を開けて園から出て行ってしまった

9. 【事故】報告 (82件)

内9件は通院(*)

○ 主な内容

- ・ 保育室で遊んでいて足を滑らせ壁に顔をぶつけた
- ・ 中央公園の回転する遊具に乗っている際足を滑らせ転倒し唇をぶつけ出血した
- ・ ベビー棟園庭から登る階段につまずき頬をぶつけた
- ・ 園庭で鬼ごっこをしていた際劣化していたとたんの穴に手を入れてしまい無理に抜いたのですりきずができた
- ・ 手を滑らせ太鼓橋から落下し鼻と額を擦りむいた
- ・ 自分の頬を引っ掻いた際爪が長かったので傷になった
- ・ 牛乳で濡れた机に手をついた際手が滑って目の下を机にぶつけあざができた
- ・ 登り棒から転落し地面で顔をぶつけ口の中を切った
- ・ 机の下に椅子を入れようとして机の淵に唇をぶつけ出血した
- ・ ガラスブロックに傷が入っていて、気づかず手をこすりつけた際
- ・ お便り帳を入れ間違えた
- ※ 友だちが本棚がに寄りかかって遊んでいた為本棚が倒れ後ろで遊んでいた子どもに当たり後頭部が腫れた(岩本医院)
- ※ スポーツ公園で走って遊んでいた際友だちとぶつかり後頭部を打ち気分が悪くなり嘔吐した(中東遠総合医療センター・うめづ脳神経外科)
- ※ 友だちが手を引っ張り腕を痛めた(岩本医院)
- ※ 立っている友だちのズボンを引っ張ってしまい友だちが倒れた際友だちの指が目に入り赤くなった(栗田眼科)
- ※ ジャンプした際にバランスを崩し、近くにあった玩具に右目を打ち付けてしまい白目部分が赤くなった(栗田眼科)
- ※ 他児に、かぶっていた帽子のゴムを引っ張られ、ゴムが目当たり充血した(栗田眼科・竹内眼科)
- ※ サッシ戸に手をつけていたときに、他児がドアを開けてしまい右手小指をはさみ薄皮がむけ、サッシの跡が付いた(岩本外科)
- ※ マットに倒れ込んだときに左腕を打ち付けた。痛みがひどいよう腕を動かせない状態だった。(岩本外科)
- ※ 里山公園の階段を上ろうとした際右足首をひねり、足首が腫れた。(岩本外科)

10. その他

(1) 職員研修

県社協、県保育士会、県保連、保安協、が主催した研修会に参加

令和3年度は新型コロナの影響もありweb研修にも多く参加

web研修を施設内職員研修として活用

いわた保育士会「新たな時代の保育実践部会」に参加

市主催「子どもの健康と食を考える会」に参加

(2) 職員会議

保育計画、行事の検討と調整

ケース会議、事例検討会議として実施

(3) 保護者との連携及び連絡

家庭との連携ツールとして0・1・2歳児はおたより帳を活用

3・4・5歳児はこどもとのコミュニケーションを語ってもらうため、活動内容について掲示

大きな行事は土曜日、日曜日に計画したが、新型コロナの影響で人数制限を余儀なくされた

6月と10月の保育参加では、お昼の時間を使ってじっくり面談することが出来た

保護者に配布するおたよりはカラー印刷とし写真を掲載

(4) 実習生の受け入れ

保育士養成校の学生を2名、実習生として受け入れた

卒業後に保育士として活躍できる人材となるよう指導

(5) あさば東こども園との交流

就学に向けて意識を高く持てるよう、あさば東こども園の年長児と交流

11. 今後の課題

認定こども園に移行して1年間、保育内容についてはこれまでの実績を活かしながら展開することが出来た。

経営面では、1号認定児童が定員を充たす迄実績として上がらないが、次年度以降も情報発信に努め、確実に1号認定児童の入所獲得に資する

1, 所在地 静岡県袋井市浅羽1248番地

2, 各月初日現在年齢別措置児童数 (定員 90人)

年齢/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0歳児	5	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	102
1歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
3歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	21	21	21	21	244
4歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
5歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
合計	103	106	106	107	107	107	107	107	108	108	108	108	1282

各月初日平均措置児童数 107人

対定員充足率 118%

3, 保育内容

「健やかな心と身体」を育てるために、お釈迦様の教え「仏教」を基本理念として保育し、
【生命尊重】【修繕】【協調】を三本柱とし、『感謝』の心を育てます。

- 運動あそび…子どもたちの運動能力向上を目指し、月に2回、外部講師による指導
- 音楽あそび…月に2回、外部講師による指導。運動会での鼓隊披露や音楽会での合奏、鍵盤ハーモニカの発表を行った。
- 英語指導…月に1回、3～5歳児を対象に外部講師による指導。ゲームや歌を交えて楽しく英語に触れている。
- 茶 道…月に1回、5歳児対象に職員が行っている。「静」の時間を体験することで、集中力を高めている。
- 食 育…食育計画に基づき、夏野菜の栽培、収穫、クッキングを体験。今年は畑でさつまいもを育て、収穫体験も行った。

- 保育時間
 - ・短時間保育 8:30～16:30
 - ・標準時間保育 7:00～18:00
 - ・延長保育 7:00～19:00
 - ・土曜保育 7:00～18:00

4, 行 事

4月	・花まつり ・ようこそ図書館(5) ・こどもの日の祝い
5月	*保護者栄養講座(3) ・アサガオ種まき(2～5) ・保護者保育参加 ・前期健康診断 ・尿検査(2～5) ・さつまいもの苗付け(5)
6月	*保護者保育参加 ・不審者対応訓練 ・プールそうじ(5) ・歯科講座(4～5) ・歯科検診
7月	・花火教室(3～5) ・納涼祭
8月	・七夕まつり(スイカ割り、流しそうめん) ・視力聴力検査(5)
9月	・総合防災訓練(*引き渡し訓練)
10月	・不審者対応訓練 *運動会(4～5) ・後期健康診断 *秋の遠足(5) ・チューリップの球根植え(2～5) ・芋ほり(5)
11月	・社会福祉施設防災訓練 ・七五三のお祝い *大掃除 *お遊戯会(2～5) ・浅北小1年生と交流授業(5) ・浅中生交流学習(3～5)
12月	・ジュビロサッカー教室(5) ・成道会 ・もちつき会 ・クリスマス会
2月	・豆まき会 *入園説明会 *ミニ作品展(自由観覧) ・涅槃会 ・小さな音楽会動画配信(3～5) *大掃除
3月	・ひな祭り ・修了式(2～4) *卒園式 ・お別れ遠足(5) ・お別れ会

- ◎ *印・・・保護者参加行事
- ◎ 毎月・・・誕生会、避難訓練、音楽指導（月2回）、運動遊び（月2回）
英語教室（月1回）、茶道（月1回）

5, 給食

栄養士が食育年間計画をたて、各クラスの保育士と連携をとりながら野菜の栽培をした。感染症に配慮しながらクッキングを体験し、収穫のうれしさや、野菜の大切さを感じ、何でも食べよとする意欲が持てるよう、食育指導をした。

保護者には食に関するアンケートを行い、保護者の要望や課題をとらえ、離乳食・幼児食の展示、給食だより・食育だよりの発行、保育参加時における給食参観、試食等を実施した。

毎月の給食会議では、メニューの検討や子どもの個別対応など、情報交換を密に行った。特に食物アレルギー体質の子どもは、全職員が把握するよう、配膳室に掲示し、職員同士での確認を充分に行った。

《一日当たりの平均栄養摂取量》

	3歳未満児		3歳以上児	
	エネルギー	タンパク質	エネルギー	タンパク質
目標量	465 kcal	18.6 g	574 kcal	22.9 g
摂取量	537 kcal	23.3 g	599 kcal	24.4 g

《一日当たりの平均給食費》

3歳未満児	222円	3歳以上児	253円
-------	------	-------	------

6, 健康管理

袋井市諸井所在の岩本医師を嘱託医とし、定められた前期健康診断、後期健康診断を実施し、又、まきの歯科クリニックによる歯科検診を年1回行った。その他、例年通り、尿検査を実施した。身長体重測定は毎月実地し、成長の記録とするとともに、低身長の指導上の資料としている。

- ・前期健康診断 5月19日
- ・後期健康診断 10月20日
- ・尿検査 5月26日（再検査2名）
- ・歯科検診 6月24日（虫歯のある子 13人）

○ 感染症

《一年間の感染症の動向》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
突発性発疹		2	1	1			3					1	8
咽頭結膜熱（プール熱）			2	1									3
伝染性膿痂疹（とびひ）					2			1					3
流行性耳下腺炎（おたふく）				1		1							2
溶連菌感染症	2	2	3		1								8
RSウイルス感染症			2	14	1								17
ヘルパンギーナ								5	2				7
手足口病			1										1
感染性胃腸炎	4												4
新型コロナウイルス感染症										2	2	1	5
合計	6	4	9	17	4	1	3	6	2	2	2	2	58

7, ヒヤリ・ハッと報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
子どもの危険行為	4	2	1		1	5	3	3		1			20
環境不備	1	1	1	0		2	2	1	3			2	13
保育者の対応	2	2	3	5	4	3	4	1	6			3	33
保護者の対応	1					1	1						3
給食室の不注意	2		1			1					1		5
その他													0
合 計	10	5	6	5	5	12	10	5	9	1	1	5	74

8, 事故報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
園内処置	9	10	21	10	6	8	12	17	12	5	15	11	136
岩本外科			1	1								2	4
まきの歯科													
その他の病院						1							1
保護者が受診			1										1
合 計	9	10	23	11	6	9	12	17	12	5	15	13	142

○ 事故の内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
噛まれ傷	2	3	5	2		2	5	3	5	4	1		32
擦り傷	4	1	8	2	2	2	3	6	2		6	2	38
ひっかき傷	1	2									1		4
切り傷		2	4	1		2		2	1			2	14
打撲	2	1	6	5	4	2	4	4	4	1	6	7	46
脱臼												2	2
その他		1		1		1		2			1		6
合 計	9	10	23	11	6	9	12	17	12	5	15	13	142

○ 事故による受診状況

- ・平均台2台を並べようとして指を挟み切れた。切れたところが化膿し保護者が受診。
- ・階段で転び、段鼻に目の上をぶつけて切れた。傷が深いため受診。
- ・大型遊具でジャンプし、頭部を遊具の一部にぶつけて切れた。出血量が多いため受診。
- ・他児が投げた砂が耳に入り受診。
- ・きつい上靴を立ったまま履こうとして脱臼。
- ・きつい上靴を立ったまま履こうとして脱臼（上記と同じ園児）。

9, 苦情・要望解決

- ・クラスだよりの新入園児名を間違えて記載し、保護者から指摘された。
- ・保育園での午睡、授乳の時間を家庭と同じにしてほしいと要望。
- ・運動会に0歳児も参加させてほしかったと要望。
- ・噛みつきがあり、お迎えの祖母への説明では状況が分からないと、保護者からの問い合わせ。
- ・遅番の時間に便が出ていたことに気付かず降園し、処理しておいてほしかったと要望。

10, 実習生受け入れ、中学生との交流など

- ・10/18～8/22 常葉大学健康栄養学科3年生 1名
- ・11/22～11/27 浜松未来総合専門学校3年生 1名
- ・11/26 浅羽中学校2年生 交流会 36名
- ・3/14～3/26 東海こども専門学校1年生 1名

11, 非常災害対策

- ・月一回 避難訓練（地震・火災・洪水・津波訓練）
- ・9/1 総合防災訓練（浅羽北小避難・引き渡し訓練）
- ・11/2 社会福祉施設防災訓練
- ・不審者対応訓練（6月、10月）

12, 保育担当者

各年齢別にクラスを編成し、それぞれに担任保育士を定めて保育を行う。

*3月末保育園児数と保育士

歳児別	クラス名	園児数	職員数
0歳児	つくし	9 名	3 名
1歳児	ちゅーりっぷ	17 名	4 名
2歳児	れんげ	18 名	4 名
3歳児	すみれ	21 名	2 名
4歳児	ひまわり	21 名	2 名
5歳児	さくら	22 名	1 名
一時保育			1 名
支援センター	すくすく		2 名
給食室	栄養士		1 名
	調理師		2 名
用務			1 名
職員室	園長、主任		2 名
	副主任		2 名
産休・育休			2 名
合計		108 名	29 名

13, 研修会参加状況

- ・浅羽学園研修会…年4回
- ・袋井市インクルーシブ研修会…年3回
- ・いわた保育士会研究部会…定期開催
- ・キャリアアップ研修（オンライン）…5名
幼児教育・障害児保育・保護者支援・食育・保健衛生
- ・キャリアアップ研修（参集型）…4名
乳児保育・障害児保育・食育・マネジメント
- ・オンライン園内研修…全6回
- ・普通救命講習会…3名
- ・法人内歳児部会…年2回（0・3・5歳）
- ・袋井市外国人理解推進研修会
- ・袋井市性同一性障害研修会
- ・袋井市優しい日本語研修会
- ・袋井市幼児期から始める性教育研修会
- ・袋井市子ども支援研修会…年2回
- ・袋井市子どもの健康と食を考える会…年2回
- ・県保育士会総会・研修会等…年6回
- ・県保育連合総会・研修会等…年8回
- ・給食関係研修会…年2回

令和3年度 一時預かり保育事業実績報告書

ルンビニ第二保育園

【現状】

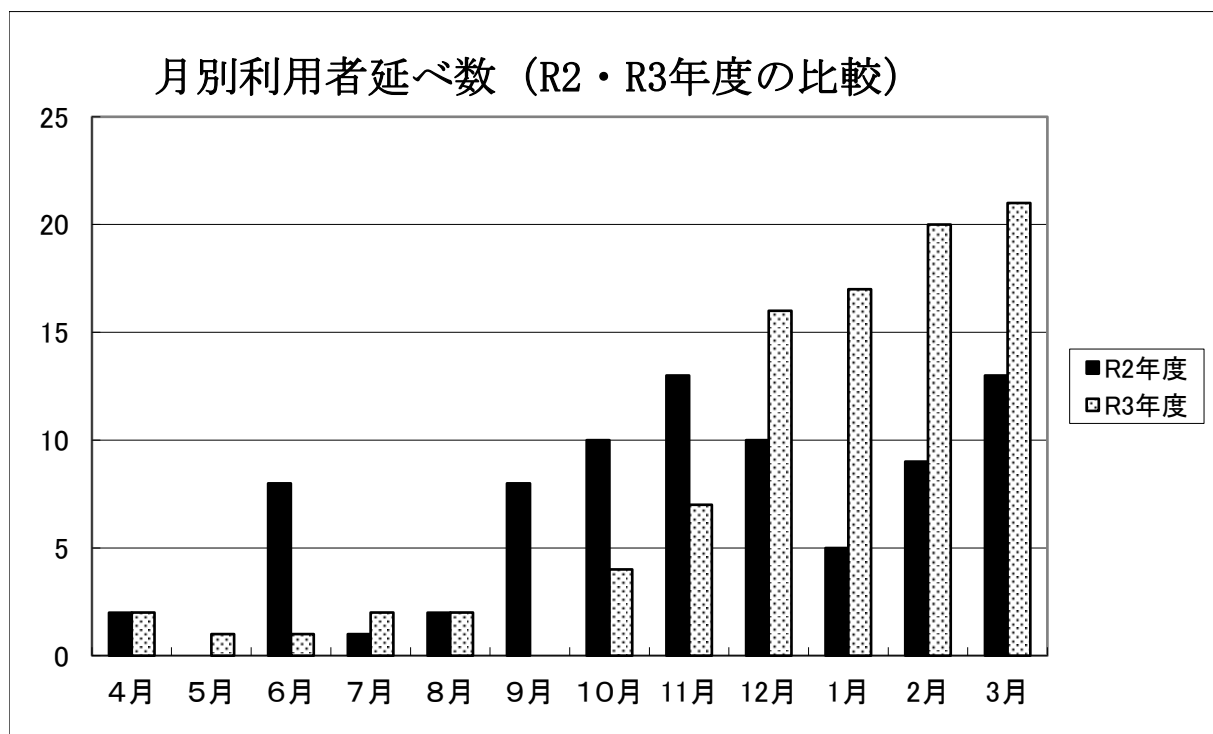
- ・ 静岡県の緊急事態宣言を受け、8月20日～9月30日まで一時保育の利用を停止していた。
- ・ 今年度は新規登録者がとても少なかった。
- ・ 定期利用の方は、コロナ禍で支援センターなどの利用を控えたりして子ども同士の関わりをもつ機会が少なかったので集団生活を経験させてあげたいという思いがあったり、出産で家庭で保育するのが困難だったり、様々な理由から利用していた。
- ・ 定期利用の子ども達は保育者や環境にも慣れ、生活リズムも出来て意欲的に園生活を過ごしていた。排泄がトイレで出来るようになったり、友だちとの関わりが深まっていたりする姿を伝えると保護者はとても喜んでいました。

【今後の取り組み】

- ・ コロナ禍も長くなり、様々な家庭の事情で利用する理由もそれぞれであるので、思いに寄り添いながら安心して預けてもらえるよう保育園での子どもの様子を詳しく丁寧に伝えたり、保育園での感染対策について知らせたりしていく。
- ・ 支援センター（すくすく）の利用者から一時保育の利用に繋がっていくことも多いので、支援センターの利用者に一時保育を紹介する時間を設けてもらったり、支援センターの職員と連携したりしながら利用を促していきたい。
- ・ 来年度もルンビニ第二しんぶんを引き続き配布しながら、年2回一時保育の案内も一緒に配布することで地域に一時預かりを周知してもらおうと共に、保育園での取り組みを伝えていきたい。
（地域・浅羽北幼稚園・浅羽北小学校・浅羽中学校）
また、市役所や各支援センターに置かせてもらっている案内をリニューアルし、他の地域の方に興味を持ってもらったり、周知してもらえるようにしていく。

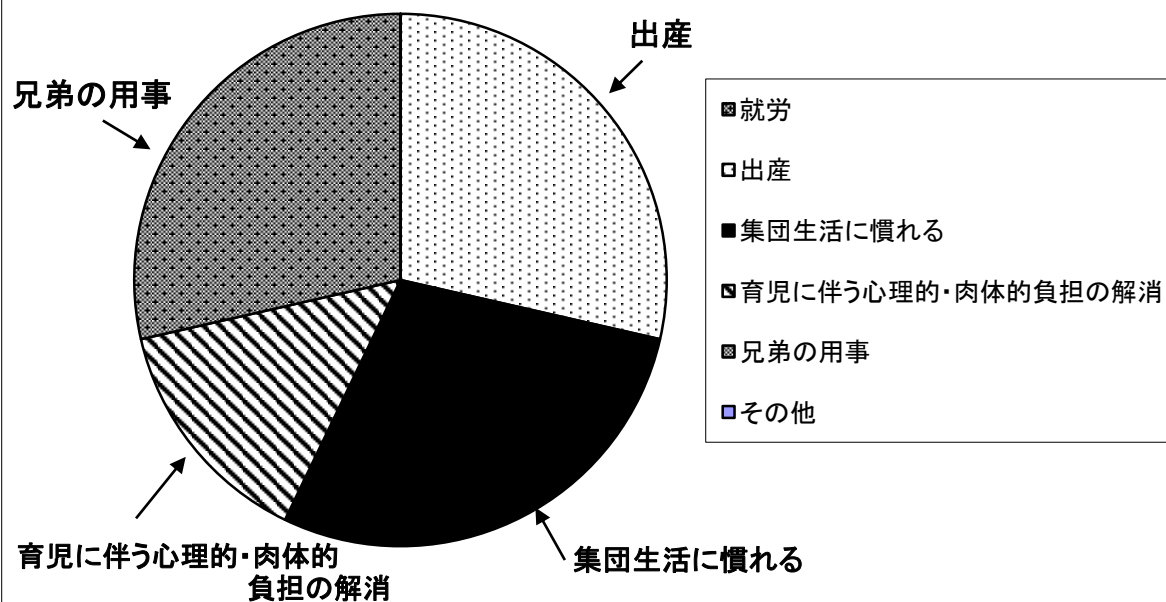
一、月別利用者数（令和2年度との比較）

月	登録数		利用者数		利用者延べ数		利用金額	
	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度
4月	0	0	1	1	2	2	6,300	4,200
5月	1	0	0	2	0	1	0	2,400
6月	0	0	1	1	8	1	21,300	2,100
7月	2	1	1	1	1	2	2,100	4,200
8月	1	0	1	1	2	2	5,400	4,500
9月	3	0	1	0	8	0	23,100	0
10月	0	3	1	1	10	4	30,300	11,100
11月	2	2	1	3	13	7	38,100	19,200
12月	2	0	2	3	10	16	28,800	42,000
1月	3	0	3	3	5	17	10,500	50,100
2月	1	0	4	3	9	20	18,900	58,200
3月	2	1	6	4	13	21	27,600	57,600
合計	17	7	22	23	81	93	212,400	255,600



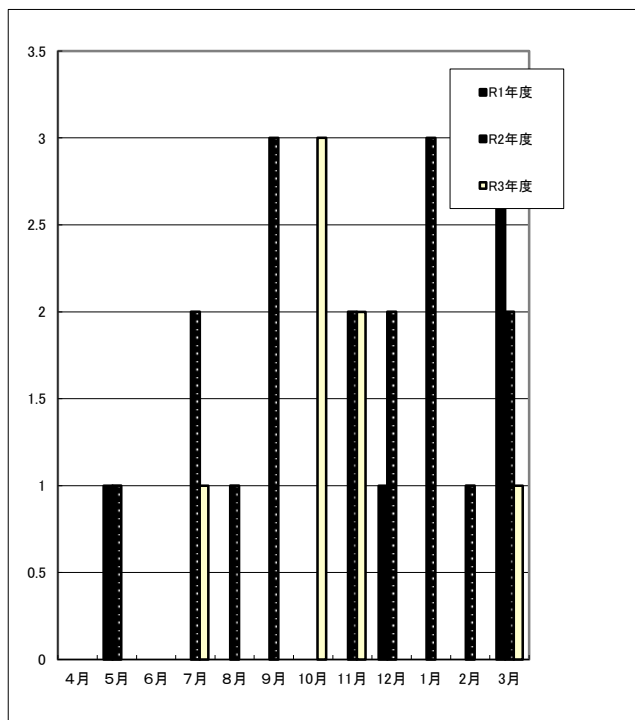
- ・今年度、一年を通して利用者は少なかったが、固定利用者がいたので12月～3月の利用数は延びた。

一時預かり登録理由



登録数：令和元年・2年度・3年度の比較

	R1年度	R2年度	R3年度
4月	0	0	0
5月	1	1	0
6月	0	0	0
7月	0	2	1
8月	0	1	0
9月	0	3	0
10月	0	0	3
11月	0	2	2
12月	1	2	0
1月	0	3	0
2月	0	1	0
3月	3	2	1
合計	5	17	7

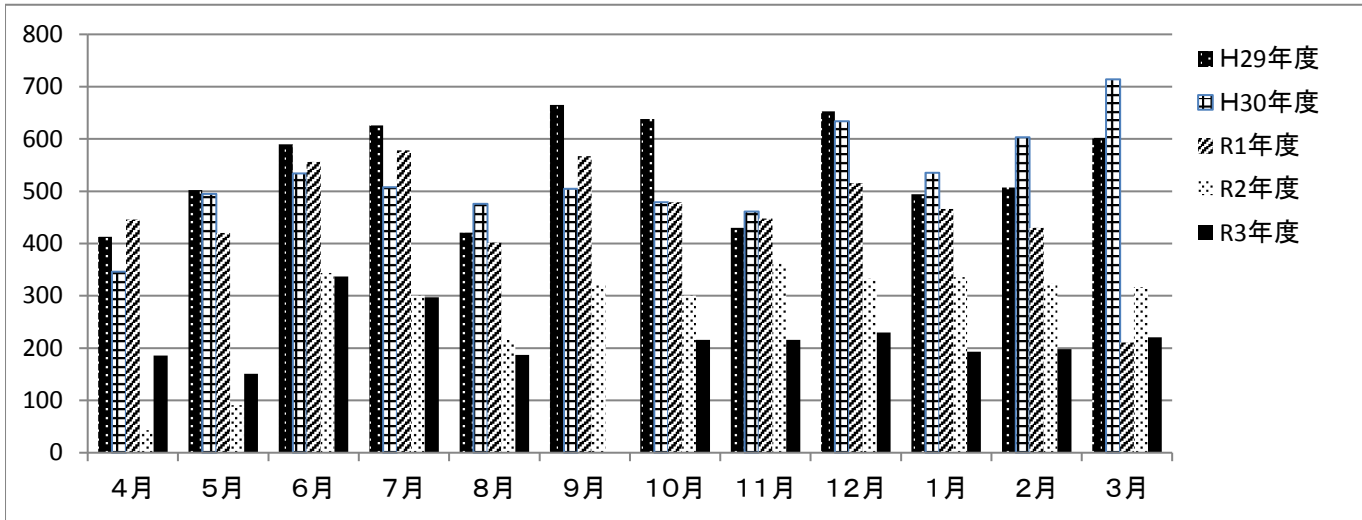


二、令和3年度における一人当たりの給食費の実績

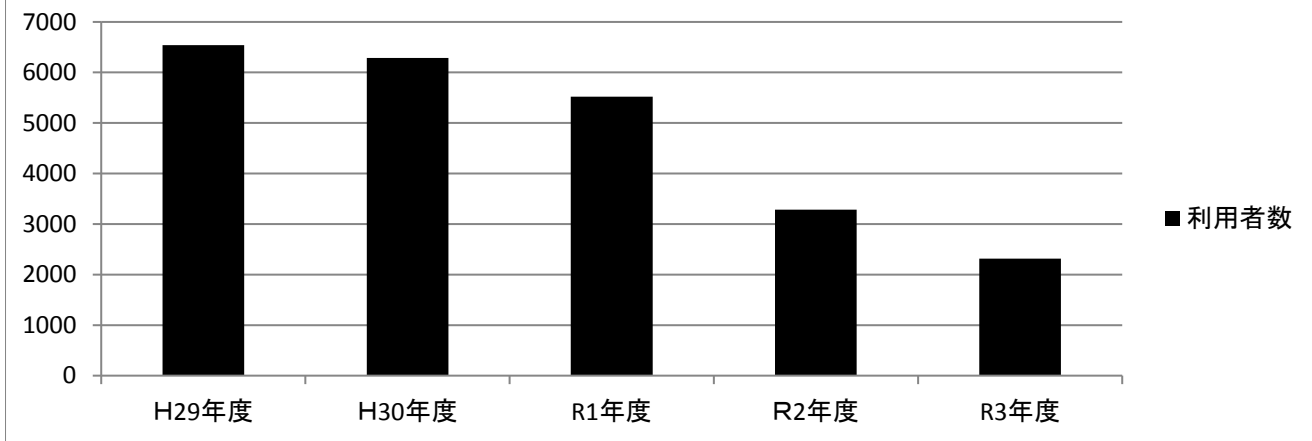
月	利用者延べ人数	予約延べ人数	1日1人当たりの金額	合計金額
4月	2	2	350	700
5月	1	2	161	161
6月	1	2	272	272
7月	2	2	249	498
8月	2	3	206	411
9月	0	0	0	0
10月	4	4	232	927
11月	7	8	293	2,051
12月	16	17	275	4,397
1月	16	17	241	3,851
2月	20	22	265	5,296
3月	23	25	276	6,341
合計	94	104	2,820	24,905

子育て支援センターすくすく 令和3年度事業報告書

H29年度～R3年度の利用者数



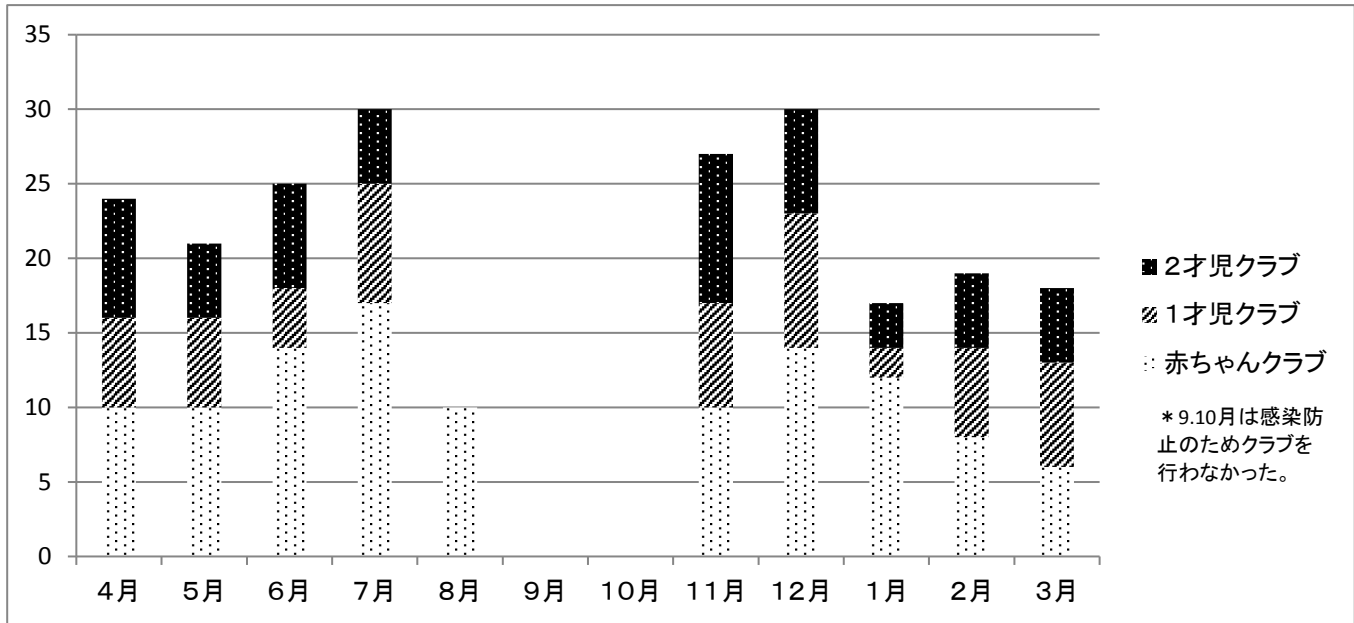
H29年度～R3年度の利用者数



令和3年度 子育て支援センター「すくすく」 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	20	18	22	20	14	0	21	20	20	18	18	19	210
利用者数	186	151	337	297	187	0	216	216	230	193	198	221	2432
1日平均利用者数	9.3	8.4	15.3	14.9	13.4	0	10.3	10.8	11.5	10.7	11	11.6	10.6
赤ちゃんクラブ	10	10	10	17	10	0	0	10	14	12	8	6	107
一歳児クラブ	6	6	6	8	0	0	0	7	9	2	6	7	57
二歳児クラブ	8	5	10	5	0	0	0	10	7	3	5	5	58
おはなし広場	36	25	51	67	0	0	56	44	40	19	51	54	443
お誕生祝い	4	2	2	1	0	0	7	1	5	1	1	1	25
赤ちゃんタイム	21	6	12	11	0	0	6	0	4	0	0	2	62
その他の行事	12	22	44	62	16	0	0	23	45	23	23	26	296
育児相談	9	5	11	9	8	0	15	11	6	8	5	9	96
電話相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
問い合わせ	7	15	22	15	9	2	7	7	17	4	3	4	112

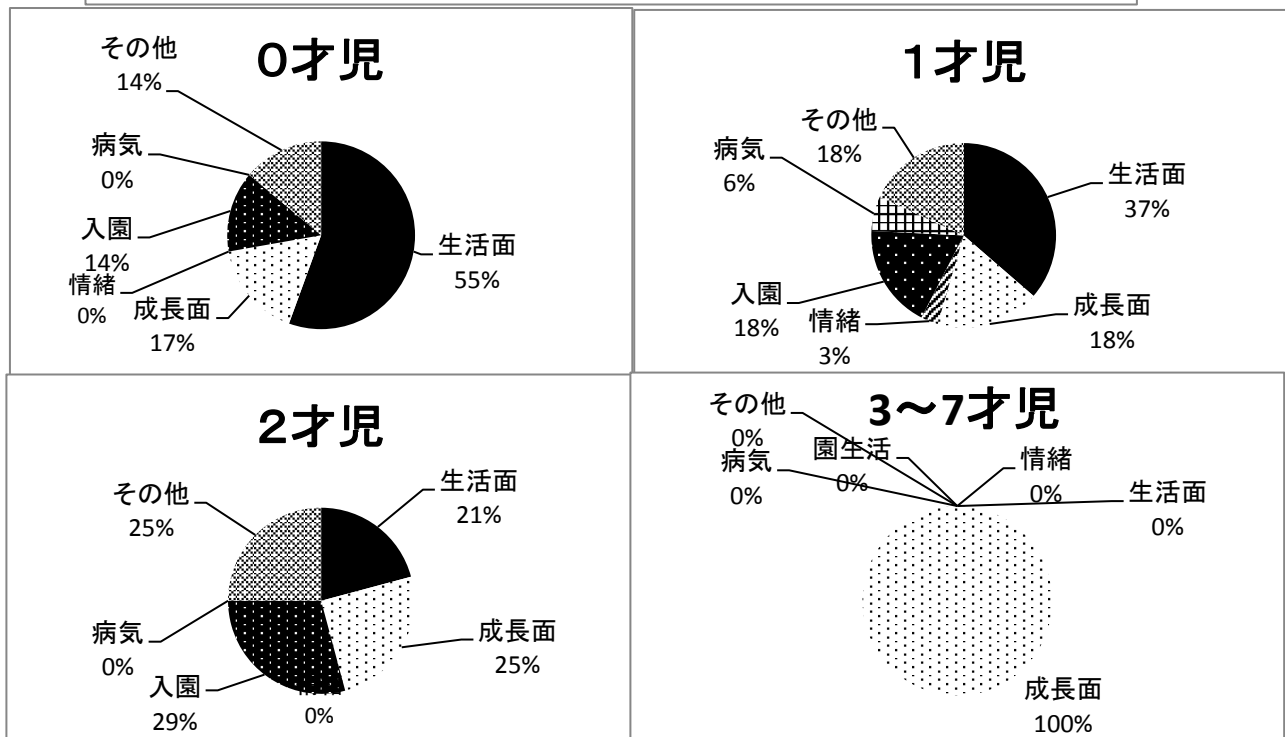
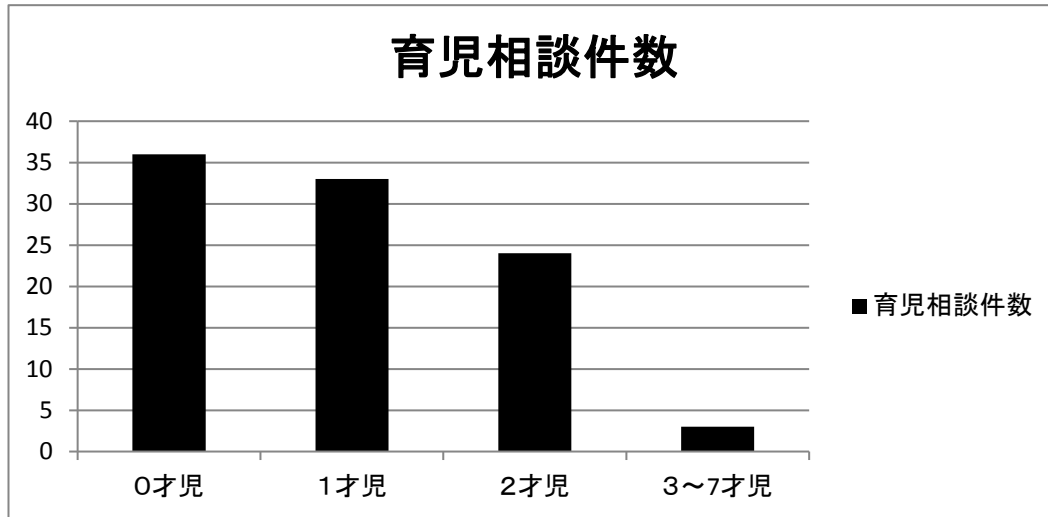
R3年度年齢別クラブ参加者数



年間を通しての考察、今後の取り組みについて

- 今年度も引き続き感染防止策をとりながらの開館となった。入館人数を10組としたが、混雑したり来館者を断ることはほとんどなく開館できた。8月の後半より静岡県に緊急事態宣言が出されたため、急ぎイベントの中止や室内の人数を10人までとして対応した。1月に入り、まん延防止措置が適応されるとそれに伴い来館者が減ったように感じた。保育園児に新型コロナウイルスの陽性者が出たため、市と相談をし、一週間程度情報を公開して開館した。新規の登録者がほぼいなかった。来年度の集客に影響が出るのではないかと心配している。
- 赤ちゃんタイムには決まった方の参加が少なくなり、単発で参加する方が多かった。母親同士の情報交換や母親同士のつながりはあまり感じられなかった。引き続き親子の触れ合いの場となったり、母親同士の情報交換や様々な共感の場となるようにつとめていきたい。
- 0～2歳児全体において保育園入園希望者が多いが、今年度は保育園見学者が少なかった。支援センターに遊びに来つつ、保育園の様子を見ている親子も多く、質疑応答には丁寧に答えるようにした。
- 男性育休を取得する方が少しずつ増えているように感じる。父親と来館した際には、母親との来館時とはまた違った表情をして遊ぶ姿がみられる。

育児相談



育児相談件数、内容

- ・ 育児相談は乳児の相談が多くあった。
0歳児の相談では、日々変化する子どもの生活や成長面に関する相談が多かった。不安な気持ちが少しでも軽減できるよう母親の子育てに対する不安な思いや困っていることに共感しながら、アドバイスの提案も必要に応じて行った。
- ・ 1、2歳児の相談でも生活や成長面に関する相談が多かった。
乳児のころの成長とは異なり、長期にわたって見守っていく内容が主だった。子どもの成長を保護者と一緒に見守りながら、子どもにとって一番よい選択肢を模索していった。母親の話を聞くだけで、気持ちは落ち着くことが多いため傾聴することも多くあった。
- ・ どの年齢にも共通する相談は保育園、幼稚園入園に関するものが多かった。
わかる限りの情報を提供していき、母親の困り感を少しでも払拭できるように支援していった。
- ・ 9月の休館明けには、不安や悩みをため込んだ母親が多く、相談事が多かった。
- ・ 母親自身の悩みや引っ越しに伴う地域柄の話など、相談内容が多岐にわたっていたように感じた。

育児相談内容と対応

クラブ	対象児	内容	対応	その後
赤ちゃんクラブ	4ヶ月 (男児)	5ヶ月から離乳食をはじめようと思っているが、それで良いかどうか。	本児は出生時に小さく生まれていることや吐き戻しも多いため、胃腸に負担がかかりやすい可能性もある。はじめるタイミングは良く見極めた方が良いと話した。	助言通り、はじめるタイミングは遅くしようと思っ ている。7ヶ月頃からはじめ、 順調に進みたくさん食べる ようになったと話してくれた。
	8ヶ月 (男児)	離乳食をあまり食べてくれず困っている。また果物はほとんど食べたことがなく、与え方がわからない。	来館する度に離乳食の悩みを打ち明けてくれた。作っても食べてくれない母親の気持ちをくみ取りながら話をすすめた。レンタル用品の離乳食の本を貸し出し、参考までに見てはどうか伝えた。	保育園の入園が決まり、今後は保育園を頼ることができそうである。
1才児クラブ	1歳7ヶ月 (男児)	左眼の動きに違和感を感じている。どのタイミングで病院を受診したら良いか、また近隣の眼科を教してほしい。	母親から相談を受ける前から気になってはいたが、母親の不安を煽る原因になってはいけないと様子を見ていた。近隣の眼科を数件紹介した。一歳半健診がすぐにあるため、健診時に聞いても良いと伝えた。	近隣の眼科医にかかり、斜視 ぎみだと診断された。総合病 院を紹介してもらい定期的に 受診している。結果がはっき りしたため、安心できたこと を共感しながら母親の話し を傾聴した。
	2歳1ヶ月 (男児)	指しゃぶりをどのタイミングでやめさせていけば良いのか悩んでいる。	本児は聞くことばをよく理解しているため、優しい声かけをしていることからはじめてみてはどうかと伝えた。また遊びに誘ったり、興味のあるものをすすめてみたりと無理のないようにおこなうように話した。	2週間後、少しずつ自分で制限できるようになってきている。一ヶ月半後、指しゃぶりの指に塗る薬を試してみたところ、1回でやめる事ができた。
2才児クラブ	3歳4ヶ月 (女児)	保育園か幼稚園のどちらに入園させようか迷っている。	母親は様々な方面から心配をしていることが多く話をよく聞くようににした。姑に関しては、頼られて嬉しい部分もあると思うと伝えた。	本児は幼稚園、妹は保育園に入園が決まった。祖父母に頼りながら、母親は仕事をする予定である。
	3歳4ヶ月 (男児)	幼稚園を決めて、10月に近隣の市から引っ越しをしてきた。しかし、集合住宅の方とのトラブルが発生し、引っ越しを迫られている。幼稚園も決め直さなければいけなくなり、とても困っている。	集合住宅の方とのトラブルで母親は思い詰め、とても暗い表情だったため話しをよく聞いた。話の内容は答えられる範囲で回答した。袋井市が発行しているマタニティ&赤ちゃんガイドを渡し、通わせたい幼稚園に問い合わせをしてみようかと伝えた。	幼稚園に問い合わせをし、新しい引っ越し先も決まったと母親は言っていた。表情も少し明るくなったように感じた。
	3歳 (男児)	トイレトレーニングがうまくいかず困っている。トレーニングパンツを履いて過ごしてもらいたいが本児が頑なに履こうとせず困っている。	トレーニングパンツを履く事の拒否が激しいため、おむつで過ごし排尿間隔を見計らってトイレに誘うことを試してみようかと伝えた。	4ヵ月経過し、急に綿のパンツを履けるようになった。本児も母親も嬉しそうに報告をしてくれた。

年齢別クラブ、行事の内容

	赤ちゃんクラブ	一歳児クラブ	二歳児クラブ	行事
4月	はじめまして よろしくね <small>支援センターであそんでみよう</small>	こいのぼりをつくってみよう		
5月	おやこ保健室 「離乳食のおはなし」	公園であそぼう		・さつまいもの 苗付け体験
6月	支援センターで使う名 札をつくろう	スポーツ推進委員さんと おやこで運動遊び		
7月	助産師による 「ベビーマッサージ」	消防署見学へ行こう		
8月	助産師による 「ベビーマッサージ」	夏祭り会		・おやこ保健室 「歯磨きケア」
9月	ベビービクス	キッズビクス		
10月	おやこ保健室 「生活リズムについ て」	秋を見つけよう		・さつまいも掘り体験
11月	助産師による 「ベビーマッサージ」	キッズビクス		・おさんぽ
12月	ベビービクス	カレンダーづくり		・クリスマス会
1月	カレンダーづくり	おやこ保健室 「乳児食についてのおはなし」		・お正月あそび
2月	ちいさな豆まき会	豆まき会		・交通安全教室
3月	ひなまつり会	お楽しみ会		・おひな様を見にいこう

※新型コロナウイルス感染防止や緊急事態宣言にともなう休館のため/部分は中止した

母親サークル「スマイルママ」の活動内容

	スマイルママ年間活動	内容	参加組数 (人数)
4月			
5月	・自己紹介 ・活動内容と担当決め	・顔合わせからはじまり、今年度の活動内容と担当を決めた。	4組 (12)
6月	・デンマーク牧場見学 ・リサイクル市	・親子や友達と一緒に動物と触れ合ったり、アイスを食べた楽しんだ。 ・夏物の衣類のリサイクルをした。	11組 (13)
7月			
8月			
9月	・公園あそび	・支援センターの休館に伴い中止となった。	
10月			
11月			
12月	・リサイクル市	・各家庭の子育て用品の不用品をリサイクルした。	4組 (10)
1月	・グループ話し合い	・まん延防止措置のため、中止となった。	
2月	・お別れ会	・まん延防止措置のため、中止となった。	
3月	・活動報告ポスターづくり	・まん延防止措置のため、全員では行わずに今年度と次年度の連絡係で活動した。	2組 (4)

〈スマイルママの1年を振り返って〉

スマイルママは、平成24年度から活動を始め、今年度は10年目となった。メンバーは7名でスタートし、興味のある方の参加でデンマーク牧場へ行った後は9組となった。今年度は5つの企画となった。各担当グループで話し合いから事前準備をし当日を迎えるという流れはスムーズに行っていた。第三子のお母さんや幼稚園教諭経験のお母さんが率先して動いてくれた。デンマーク牧場には一般の方の参加を募り、そこからスマイルママのメンバーに加わる方もいた。リサイクル市にはOBの方からの協力も何件もあり、スマイルママの行事として定着していた。9.2月の活動は新型コロナウイルスのため開催ができず、活動が思うようにできない一年だった。コロナ禍で来館者も少なく、母親同士のつながりを求めている方も年々減ってきているように感じるため、今後のスマイルママの存続について考えていかなければならない。

令和3年度 実績報告

ルンビニあゆみ園

1. 所在地 静岡県袋井市高尾1777-1

2. 令和3年度 入所児童数実績 (定員129名)

年齢 / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0歳児	8	9	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	106
1歳児	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	215
2歳児	18	18	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	214
3歳児	1号	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	2号	24	24	24	25	25	25	25	25	25	25	25	297
4歳児	1号	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	2号	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	275
5歳児	1号	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	2号	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
合計	116	119	117	119	120	120	120	120	120	120	120	120	1,431

各月初日平均年齢別措置児童数 106.3 対定員充足率 92.4%

3～5歳児 上段「1号」は1号認定児(幼稚園部)

下段「2号」は2号認定児(保育園部)

3. 保育内容

法人理念の「大慈愛心(だいじあいしん)」、保育理念の「仏教」を基本に「生命尊重」「修善」「協調」を三本柱とし、「感謝の気持ち」を子どもの心に育てていきます。

ルンビニあゆみ園では、

- ・「子どもの主体性を育む環境づくり」をしています。
- ・「子どもが安心して過ごせる環境づくり」をしています。
- ・「乳児保育担当制」を取り入れています。
- ・「あそび」の中にすべての要素が詰まっていると考えます。
- ・「行事」は子どもが成長するために必要と考えますが、年齢、発達にそぐわない過度な行事はおこないません。0～2歳児は、繰り返される日常こそが、子どもに安心感を与えるため大きな行事はおこないません。
- ・地産地消の食材を使い、温かい手作り「給食、おやつ」。
- ・離乳食、アレルギー対応食もおこなっています。

遊びを中心として、子どもの主体性、想像力を育てる保育をしています。文字や数字などの「認知能力」を育む前に、目標に向かって頑張る力、他の人とうまく関わる力、感情をコントロールする力などIQなどで測れない内面の力「非認知能力」を育むことに力を入れています。

4. 給食

一日当たりの平均栄養価摂取量

	3歳以上児		3歳未満児	
	熱量	蛋白質	熱量	蛋白質
給与目標	519.5 kcal	19.2 g	462.0 kcal	17.4 g
摂取量	557.6 kcal	20.8 g	499.8 kcal	19.2 g

一日当たりの平均給食費

3歳以上児	253.0 円	3歳未満児	198.4 円
-------	---------	-------	---------

野菜の栽培

きゅうり、ズッキーニ、なす、ピーマン、さつまいも、
だいこん、たまねぎ、ねぎなど

クッキング

柏餅、玉ねぎのみそ汁（だし）、お月見団子、
カレー、おはぎ、トウモロコシの皮むき、非常食
お米の炊飯など

5. 健康管理

前期健康診断	4月19日	後期健康診断	10月26日
歯科検診	6月17日	尿検査	5月26日
視力・聴力検査	6月22日	水質検査	8月5日

フッ素洗口 4, 5歳児のみ（4歳児は11月より開始）
園児の身体測定

6. 非常災害対策

毎月1回 避難・消火訓練

引き渡し訓練	4月30日	普通救命講習会	
総合防災訓練	9月7日	1月9日	中止
不審者対応避難訓練	10月5日	2月9日	
社会福祉施設防災訓練	10月29日		

7. 主な行事

4月	*保護者会総会 花まつり 前期健康診断 こどもの日のお祝い *引き渡し訓練
5月	尿検査
6月	歯科検診 *保育参加※中止
7月	花火教室（3～5） たなばた *納涼祭
8月	視力・聴力検査（4～5） お泊り保育（5）※中止
9月	おつきみ
10月	*運動会（5） 後期健康診断 交通安全教室（3～5） *保育参加（4～5） 社会福祉施設防災訓練
11月	*参観・歯科講座（4） *参観・講演会（3） 七五三のお祝い *発表会（4～5）
12月	成道会 クリスマス会 *もちつき会
1月	*保育参加（4～5）
2月	豆まき 涅槃会 *奉仕作業 交通安全教室（5） お別れ遠足（5）
3月	ひなまつり *卒園式（5） 修了式（3～5）

◎ *印・・・保護者参加行事

◎ 毎月・・・避難訓練、身体測定

小規模多機能型居宅介護事業所ひなた訪問（5）※中止

8. 職員配置

令和4年3月1日時点

歳児別	クラス名	園児数	保育教諭数
0歳児	いちご	9	3
1歳児	さくらんぼ	18	4
2歳児	ばなな	18	3
3歳児	ぶどう	28	2
4歳児	みかん	24	2
5歳児	めろん	23	2
給食室	管理栄養士 1	栄養士 1	調理員 2
職員室	園長 1	副園長 1	主幹保育教諭 2
	副主幹保育教諭 1	補助員 1	事務員 1
育休	保育教諭 1		
		園児計 120	職員計 28

職員配置

年度当初

園長1名 副園長1名 主幹保育教諭2名
 副主幹保育教諭1名 保育教諭16名
 管理栄養士1名 栄養士1名 調理員2名 補助員1名
 6月11日 保育教諭1名育休より復職
 7月1日 保育教諭1名産休入り
 8月31日 事務員退職
 9月1日 事務員採用

9. 実習生受け入れ

6月28日～7月2日 静岡英和学院大学短期大学部 2年 1名
 8月30日～9月10日 聖徳大学 4年 1名
 10月18日～10月29日 浜松未来総合専門学校 2年 1名
 10月25日～10月29日 常葉大学 3年 1名

【感染症の動向】 ()内は職員の罹患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
溶連菌感染症			1										1
咽頭結膜熱 (プール熱)		1	2										3
RSウイルス				7									7
ヘルパンギーナ							3	5					8
手足口病								1	1				2
百日咳								1					1
新型コロナウイルス感染症										20 (5)	3 (1)	1 (1)	24
合計	0	1	3	7	0	0	3	8	1	20	3	1	47

新型コロナウイルス感染症による休園等の対応

令和3年5月11日～5月13日 職員陽性による登園自粛依頼
 令和3年8月21日～9月30日 緊急事態宣言による登園自粛依頼
 令和4年1月15日～1月22日 2名以上の陽性者による学級閉鎖(年長児)
 令和4年1月17日～1月22日 2名以上の陽性者による学級閉鎖(年少児)
 令和4年1月19日～1月22日 1名以上の陽性者による学級閉鎖(年中児)
 令和4年1月20日～1月22日 4クラスに陽性者がでたことによる臨時休園
 令和4年1月15日～1月31日 登園自粛依頼
 令和4年2月28日～3月2日 2名以上の陽性者による学級閉鎖(年少児)

【ヒヤリ・ハット】報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子どもの危険行為				2			3		2				7
環境不備													0
保育者の対応			1	1									2
その他													0
合計	0	0	1	3	0	0	3	0	2	0	0	0	9

《子どもの危険行為》

- ・園のはさみで自分の髪の毛を切っていた。
- ・階段の手すりにぶら下がった。
- ・食事中、食べ物をのどに詰まらせた。
- ・ハンドソープを口に入れた。
- ・通用門の扉を開けた。(駐車場に出た)

【事故】報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園内処置	2		2		1	3	3	3	3		1	1	19
岩本外科医院			1									1	2
まきの歯科 クリニック													0
他医療機関							1				1		2
合計	2	0	3	0	1	3	4	3	3	0	2	2	23

喧嘩・嘔みつき・ひっかき 4件

人や物にぶつかるなどの接触 5件

遊具や台からの落下 2件

その他 3件

つまずき、転倒 9件

◎うち医療機関にかかった事故 4件 (降園後に医療機関を受診したものも含む)

- ・友達にぶつかり転倒し、頭部外傷。
- ・つまずき、階段入り口の角に頭部をぶつけ打撲。
- ・押され転倒し、前歯欠損。
- ・散歩中に歩くのを拒み怒って転倒。左頭部外傷。

【研修】 報告

月日	項目	参加職員	実施内容
4/21	インクルーシブ研	副園長	
4/27	県保連総会	園長	ICTを活用した危機管理と業務改善
5/6	外国人児童生徒担当者研	保育教諭	
5/17	県保連西部支部施設長研	園長	ポストコロナ時代の園運営を考える
5/22	オンライン園内研修	保育教諭等	保育者の真の役割とは～人を信じる心を育てる
5/25	県保育士会総会研	園長	心を育てる保育のために考えたいこと
5/31	新型コロナ予防対策研	園長、副園長	
6/1	危機管理研	副園長	危機管理による講話と意見交換
6/4	県保連青年部研	主幹保育教諭	心身の健康を整える
6/13	県栄養士会総会	管理栄養士	日本食塩標準成分表2020年版の概要とその活用について
6/19	オンライン園内研修	保育教諭等	発達障害の子どもを行き詰まらせない保育実践
6/21	性同一性障害研	副園長	性別に違和感を持つ子どものこと
6/25	保育士・保育教諭研修会	保育教諭	乳幼児の発達と保育環境
6/29	子どもの食と健康を考える研修会	管理栄養士	第4次食育推進基本計画と食育の実際
7/6	幼児期から始める性教育研修会	副園長	命の尊さを教え自己肯定感につなげる
7/6~8	キャリアアップ研修	保育教諭	乳児保育
7/9	子ども支援研修会	副園長	子ども理解から始める学習障害に配慮した支援について
7/17	オンライン園内研修	保育教諭等	環境は子どもと保育者を変える
7/21	中堅職員研修会	主幹保育教諭、保育教諭	子どもと向き合う大人のための昆虫教室
7/27	公開保育	主幹保育教諭	たんぼぼ保育園
8/3	南の丘学園研修会	主幹保育教諭	幼児教育について
8/4	男性職員交流研修会	主幹保育教諭、保育教諭	それぞれの園、それぞれのやり方で保育って面白い！
8/5	人権教育研修会	園長	性の多様性に関する研修
9/4	オンライン園内研修	保育教諭等	子どもと保護者への“関わり”を学ぶ
9/13,16	A B A 研修会	副園長	
9/16	やさしい日本語研修会	保育教諭	
10/1	県保育士会リーダーセミナー	副園長	人材育成としての保育実習指導のあり方のかんがえる
10/13~15	キャリアアップ研修	保育教諭	障害児保育
11/5	民間園長研修会	副園長	
11/8,9	県保育士会主幹・主任研	副園長	保育を変えるチーム力の高め方
11/11~13	キャリアアップ研修	保育教諭、管理栄養士	食物・アレルギー
11/13	オンライン園内研修	保育教諭	
10~12	キャリアアップ研修e-ラーニング	保育教諭	乳児保育・幼児保育・障害児保育・保護者・子育て支援・保健衛生・安全対策
11/13	オンライン園内研修	保育教諭	物語、絵本、ファンタジーの遊びが豊かになるために
11/24	南の丘学園研修会	保育教諭	
11/25	保育士・保育教諭研修会	保育教諭	要支援児の保護者に対する支援
11/25	子ども支援研修会	副園長	不安の強い子どもへの理解と対応について
11/30	給食勉強会	管理栄養士	園の給食における栄養管理の留意点
12/8~10	キャリアアップ研修	保育教諭	マネジメント
12/15	施設長研修会	園長	清潔保育やめない？
1/17	インクルーシブ研	副園長	発達が気になる子どもの理解と支援について
1/28	保育研究大会	主幹保育教諭	
2/3	子どもの食と健康を考える会	管理栄養士	発達障害と食支援
2/5	食物アレルギー研	管理栄養士	食物アレルギーとプロバイオティクス
2/8	県保育士会研	保育教諭・管理栄養士	保育内容の一環としての食育
2/9	普通救命講習	保育教諭	
2/12	オンライン園内研修	保育教諭	一人ひとりを大切に育てるために 育児担当制の実践
2/17	給食関係者研	管理栄養士	楽しくおいしい給食のために！食べたいもの好きなものを増やす「食育」
3/4	青年部中部支部研	管理栄養士	コロナ禍の中で考える「価値とリスク」「コミュニケーション+心を守る」

いわた保育士会研究部会
 地域の子育て家庭支援部 定期開催

法人内研修

5歳児部会 3歳児部会 0歳児部会
各部会ともに 6/26、10/23、3/5 年3回開催
3月は中止

オンライン園内研修

5/22.6/19.7/17.9/4.11/13.2/12
10/9.11/20.12/18.1/22

保育部門 管理職会議
毎月開催

職員会議

毎月、職員会議の中で保育を振り返る。職員会議、給食会議の他、0～2歳の会議、3～5歳の会議など細分化しておこなっている。

保護者との連携及び連絡

担当・担任が、連絡ノートや口頭で伝達。毎週、金曜日にその週の様子を写真で掲示。園だよりの発行、保育参加への呼びかけ。施設の保育への理解を促している。ホームページを週2回くらいのペースで更新している。

【苦情・要望等】

歳児	保護者の意見・要望	園としての考え・対応
中	コロナが収束して少しでも行事が日程通りにできたら嬉しい。	今年度は、通常の行事を予定しておりましたが、やはり新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となるものが多くありました。5月に園内で罹患者が出たため、6月の保育参加は中止、納涼祭の縮小。緊急事態宣言の発令により8月後半から9月の行事はすべて中止。1月にも園内での罹患者が複数発生したことにより学級閉鎖からの休園。このような中、行事を実施すれば、何事もなかったとしても様々なご意見が園に寄せられることでしょうか。危機管理、リスクを回避するためにも今年状況では、中止と判断せざるを得ないことにご理解いただきたく願います。
1	行事がない中、保育参加もなくなってしまったのでやってほしい。	
0	行事が全てなくなってしまい親としては園での成長を見る場面がなく悲しかった。保育参加も1時間でもいいのであったら嬉しかった。	
中	年齢、発達にそぐわない過度な行事を減らしていることには共感できるが、適齢の園児には親子参加の行事をもう少し増やしてほしい。これは親目線ではなく、子ども目線の意見。保育参加や一昨年の遠足等、保護者同伴行事の際は子どもがとても喜んでおり、今でも振り返って話してくれる為、子どもの成長にとって大切な経験ではないかと思う。	上記と同じことになりますが、様々な職場に通われている保護者の方々を長時間園内で受け入れることは、現状ではリスクが高いことです。また、11月末のおたよりにも記載しましたが、保護者の中には、仕事が休めず、参観会ですら参加を避けたい方もおります。だからといって、子ども達が楽しみを奪うようなことをしてはいけません。なぜなら我々の仕事は子どもの最善の利益を守る仕事だからです。お子様の視点での意見、とてもうれしく思います。今後も、可能な範囲内で子どもたちが楽しめることを実践していきたいと思えます。
2	保育参加ができなかったので園での普段の様子が見える動画があれば嬉しい。	来年度より、動画配信をおこなっていく予定です。現在、一足早く年長児のみ2月より実施予定です。
中	アプリでのアンケートはいつでも回答できるので楽で助かります。ですが、回答の内容が誰が書いたか分かってしまうより匿名での紙の方がより多くの意見が聞けるようにも思います。	紙媒体での集計は、何日もかけ、かなりの時間と労力を使いおこなってきました。すでに学校や他施設でも、ネットを使用したアンケートは普及しています。アプリでのアンケートでもC、D評価が多い方もおります。お気になさらずお書きいただければ嬉しく思います。
少	日々子どもから園で何をしたのか楽しそうに話をしますが、まだ詳しい内容をしゃべれないので分かりやすくパネル等で何をしたか教室前とかに貼って貰えると嬉しいです。	クラス全体に対しての掲示は、行事以外の日常の保育では、子どもが興味を持った遊びに取り組んでいますので、ひとり一人遊びが違います。また、飽きるまで毎日同じ遊びをやり込み、少しずつ変化をしていきます。そのため一概にその日の出来事を表記するのは難しいかと思えます。また、連絡ノートを採用していないあゆみ園ですが、職員は午後の時間に、日誌の記入、週の反省、来週の計画作り、制作物の準備片付けなどの日々の環境整備、清掃、消毒、会議など正規職員は、休憩時間もとれない状態で仕事をしております。なかなか現状に事務仕事を上乘せるのは難しいと思われま。
長	希望保育の書類に勤務先の証明が必要となっているが、年間休日の証明はすでにだしてあるので不要であると思えます。	私共の仕事は、お盆時期など園を開けておりますが、全員が出勤しているわけではありません。このように営業日＝出勤日ではない職種もあります。また、逆に休日出勤をしなければならない方もあります。ですので、直近に希望保育の出勤状況を確認させていただいております。
少	朝、子どもを預ける時教室の扉前で大人同士（先生と親又は親と親）が話し合いをしないでほしい、後ろで待ってる親がいたり子どもが朝のしたくをしている邪魔になる。	申し訳ございません。できるだけ、朝はスムーズな受け入れを心掛けたいと思えます。
長	ぶどう組からは連絡ノートがないため、帰りに担任の先生とお話できる時間があれば、園での様子をもう少し詳しく聞きたいです。	帰りは、どうしても子どもたちを保育しながらの引き渡しとなります。保護者への対応に時間を取っておりますと、まだ残っている園児の保育に目が届きません。申し訳ございませんがご理解を頂きたいと思えます。
1	給食をもう少し頑張って完食目指して食べさせてほしいです。イヤイヤ言って難しいとは思いますが…。	そうですね。イヤイヤ言っているのに食べさせるのは、虐待ですね。大きくなるにつれ、「お腹減った」「食べたい」という意欲と、食育を通じて食への関心が芽生えるよう保育をしてみたいです。
長	年長児だけで良いので個人面談を実施してほしい。	学校や幼稚園では子どもがいない夏休みを利用して面談をおこなっていますが、一年中、一日中園児がいる施設では、なかなか時間を確保できません。保育参加時にそのような機会が設けられるよう検討していきます。
長	いつもと違うお友達とも遊ぶ環境づくりをして欲しい。	園外の交流保育ということでしょうか。それとも、クラス内の気の合う子以外との接点を持たせるということでしょうか。遊ぶ相手を強制的に分けることは、一学年単クラスの学年ごとのクラス編成ですので、難しいかと思えます。

長	皆で同じことに挑戦する場をもう少し増やし、競い合う場をつくって欲しい。	行事の他に、日常保育でも協力し合わないとの大きなカブラでの制作物は完成しません。役割遊びにしても、〇〇ちゃんが□□をしているから、私は△△をする」と、同じ目標に向かって挑戦する姿が見られます。 競い合う場となると、遊びの中でも見られます。ラキューやマフラー作り、目に見える個人の作品は、憧れや競争心を芽生えさせます。ただ、露骨に競争心をあおるようなことはしません。なぜなら、これから先の長い人生競い合うことばかりです。小学生になれば、テストなど数字で明確化されます。優越感、劣等感は、いずれ嫌というほど味わいます。乳幼児期の今は、それらを乗り越えるための「自分を、他者を信頼する心」を育てることに力を注がせていただきます。
2	おたよりの配布日にアプリでも閲覧できるようにしてほしい。	申し訳ございません。現状では、月末に園長が不在となると、なかなか対応が難しいですが、当日に間に合うように努力してまいります。
中	お便りはペーパーレス化でよいと思います。可能であれば、教室または玄関などにお便り一枚を掲示していただければ、スマホと掲示とで2度確認できて助かります。	今の社会の流れでは、ペーパーレス化は必然です。身の回りを見ても、あるいは職場でも見られるのではないのでしょうか。ただ、まったくそうは思わない方も6%いるのも事実です。ある学校では、必要とされる方のみ紙媒体で配布をしているそうです。今後、ペーパーレス化は検討、実施していきます。 おたよりは、れんらくアプリにて閲覧が可能です。お手持ちのスマホからご確認ください。
中	子ども達にもっと工作を取り組ませて欲しい。(季節を感じられるものなど)。園では自主性を大切にしているようだが、強制的ではなく先生達からこういった工作作りのきっかけを与えることも必要では無いかと思う。	お子さんの個性で、汚れることを嫌う場合は、のり、絵の具などの使用に抵抗があって制作に取り組まない姿もあります。 工作に取り組みたいと思うような、取り組みとして、アンケート実施の時期ですとクリスマスへの関心を高めて制作を導入しています。。みかん組さんでは、年齢の高い子だから使用できる道具や素材もあり、多くの子が取り組んでいました。 休日は、園とは違い大人と子ども一対一でじっくり遊びに取り組めます。ご家庭でも制作を楽しんでみてはいかがでしょうか。
2	平日習い事に行く時間がないので希望する人だけでも保育時間内で体操や音楽、絵画教室ができれば良いと思う。	開園して3年目。あゆみ園の保育方針を希望して入園されている方も増えてきました。申し訳ございませんが、保育方針は簡単に変えられるものではないということをご理解願います。

【子育て支援事業】「あゆみ広場」
週一回の園庭開放 月一回の講座を開催

月	園庭開放利用児童数	講 座	講座利用児童数	計
4	1	太鼓でリズム遊び	10	11
5	1	おはなしの会	中止	1
6	1	食の広場（給食レシピ紹介～副菜編～）	6	7
7	6	離乳食講座	4	10
8	5	入園説明会	中止	5
9	中止	パッククッキング	中止	0
10	5	おはなしの会	5	5
11	6	パッククッキング	3	9
12	14	クリスマス音楽会	11	25
1	3	食の広場（給食レシピ紹介～主菜編～）	中止	3
2	4	親子体操&サーキット	3	7
3	10	食の広場（給食レシピ紹介～おやつ編～）	2	12
			年間利用児童数	95

【修繕等事業報告】

- ・ 駐車場側へのスピーカー増設工事 111,000 円
- ・ 園庭築山改修工事 190,960 円

令和3年度実績報告書

ルンビニ保育室 花びら

1. 所在地 静岡県袋井市浅羽2275番地の1

2. 各月初日現在年齢別措置児童数 (定員12名)

月 歳児	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0	1	1	3	2	3	3	4	4	4	4	4	5	38
1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
2	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
計	10	10	12	11	12	12	13	13	13	13	13	14	146

各月初日平均年齢別措置児童数 12人

対定員充足率 101%

3. 保育内容

ルンビニ保育室 花びらでは「乳児保育担当制」を取り入れています

よく知られている一斉保育。クラス単位で担当が子どもたちを一斉に保育する。赤ちゃんの時から、みんなでご飯を食べ、みんなで排泄をおこない、みんなでお昼寝。しかし、ルンビニ保育室 花びらではそのような保育はしません。自立へ向けてゆっくり歩みを進み始めたばかりで、生活リズムの個人差が大きい乳児に対して、特定の保育者が特定の子どもの育児（食事、排泄、睡眠など基本的な生活への援助）をします。もちろん一人ひとりの発達や生活のリズムに合わせるので、給食やお昼寝、おむつを交換する（排泄に誘う）タイミングが違います。

同じ大人が同じ子どもの日常へ密接に関わるというご家庭では当たり前のことを実践するために、できる限り丁寧に保育し、子どもたちが安心して過ごせ、大人との愛着関係を形成していけるようにしていきたいと考えています。

ルンビニ保育室 花びら 生活のしおりより抜粋

(1) 保育時間

保育短時間 8時30分～16時30分

保育標準時間 7時30分～18時30分

土曜保育 7時30分～17時30分

(2) 行事

4月	花まつり
6月	前期健康診断 歯科検診
7月	七夕
9月	*総合防災・引き渡し訓練
10月	後期健康診断
11月	社会福祉施設防災訓練 七五三のお祝い
12月	クリスマス会
2月	節分あそび *入園説明会
3月	お別れ会

◎ *印・・・保護者参加行事

◎ 毎月・・・避難訓練、身体測定、誕生日のお祝い

(3) 給食

ルンビニ第二保育園参照

(4) 健康管理

袋井市諸井所在の岩本医師を嘱託医とし、定められた入所時健康診断（前期）・後期健康診断を実施し、又、まきの歯科クリニックによる歯科検診を年1回行いました。

前期健康診断	4月13日	後期健康診断	10月6日
歯科検診	6月10日		異常者なし

(5) 災害非常対策

毎月1回	避難・消火訓練	年1回	総合防災・引き渡し訓練
			社会福祉施設防災訓練

(6) 保育担当者

年・月齢、発達段階、生活リズムを考慮し、担当保育士を定めて保育をおこなう。

年度末3月1日時点の保育園児数と保育士

	歳児別園児数	保育士数
0歳児グループ	0歳児5名	2名
1歳児グループ	1歳児4名	1名
2歳児グループ	2歳児5名	1名
保育支援者		1名
室長・副主任・フリー		3名
計	14名	8名

年度当初

室長 1名 副主任代理 1名 保育士 4名（うち非常勤 2名）保育支援者（非常勤） 1名

6月 副主任保育士 1名（育休復帰）

10月 保育士 1名（育休復帰） 保育士 1名（派遣パート 契約終了）

4. 実習受け入れ

0名

5. その他

(1) 職員研修 各種外部研修に参加（リモート研修）

(2) 職員会議

毎週会議の中で保育を振り返る。12月、3月は、合同会議。

(3) 保護者との連携及び連絡

担当が、連絡ノートや口頭で伝達。人数が少ない分、保護者との距離も近く感じる。

園だよりの発行やドキュメンテーションによるお便り配布（保育の見える化）。

6. 感染症の動向

病名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
感染性胃腸炎							1							1
手足口病								1						1
突発性発疹			1											1
RSウイルス				1	3									4
計		1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	7

7. ヒヤリ・ハッと

3件

- ・給食異物混入（配膳前だったため提供していない） 1件
- ・転んだ先にままごとのおぼんがありフチが割れた 1歳児
- ・負傷した猫が園庭にいた（流血あり）

8. 事故報告 15件

処置 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
園内処置		1	1	1	3		1	5		1	2		15
岩本外科													0
計	0	1	1	1	3	0	1	5	0	1	2	0	15

- ・転倒 9件 … つかまり立ち、バランスを崩した等
- ・(物/人) 接触 3件 … よそ見
- ・擦り傷 1件
- ・ひっかけ傷 1件
- ・塗り薬の落とし物 1件 ※職員の薬がポケットから落ちてしまった。

9. 苦情・要望等

- ・なし

10. 修善事業等

- ・なし